建築と社會

13

六月號

第二十一輯　第六號・昭和十三年六月一日

日本建築協會

登録 OHNO SHUTTER PATENTED 商標

日英米特許四〇個・實用新案登錄六〇個併用

大野式防火捲上ヶ戸

〔特許大野式シヤツター〕

主要製品

大野式シヤッター

大野式ルーブルシヤッター

大野式融金付自動閉鎖戸

大野式工場用軸承

大野式轉子入軸筐・戸車

各種防火扉・鋼製建具類

應用特殊機械類設計製作

東京市 大森區 新井宿 七丁目
株式會社不二製作所提携

株式會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地 ・ 電話三田(45)園 三七三七 三七三八 三七八七

取付出張員詰所・大阪市此花區上福島中二・電話福島(45)五八八

會　告

今回本協會常務、評議員八木憲一氏、評議員村井進氏ハ辭退サレマシタノデ定欵第十九條ニ依リ昭和十三年六月一日開會ノ評議員會ニ於テ之ガ補選ニ付協議シマシタ結果定欵第十九條但書ニ依リ本年末改選期迄評議員ノ補選ハ行ハザルコトニ決議ナリマシタ

尚同日常務ノ補選執行致シマシタ結果左ノ通當選致サレマシタ

常務（編輯）　評議員　棚橋諒氏

昭和十三年六月

社團法人　日本建築協會

建築と社會

第21輯　第6號　昭和13年6月發行

六月號

目　次

大阪市地下鐵道新線に就て……伊藤和夫（1）
自治制五十周年を迎へて明日の大堺市へ企圖……加藤善吉（5）
布施市に於ける長屋住宅……川勝健二 松森修太（12）
大阪府下に於ける都市計畫……松井清之助（19）

江南雜記……新名種夫（68）

・時　報・

都市計畫は教育機關計畫をも包括すべきなり……エヌ・エル・エンゲルハート（29）
St. Paul に於ける區劃整理進捗する……ジョージ・エッチ・ヘロルド（32）
Holman 空港に對し St. Paul では公債を發行す……（34）
米國合衆國に於ける空港及着陸場の狀勢……（35）
Louisville 市に於ける河邊地區改良計畫……エッチ・ダブリウ・アレキサンダー（37）
チユリツヒと郊外市町村に關する建設計畫と綠地……カール・ヒツペン・メヤー（40）
鋼使用制限ニ關ルス規則……（48）
防毒資材取締規則……（55）
土木建築に關する鐵鋼使用證明書交付規程並解說……（57）
オリムピツク施設駒澤案……（67）
ブツク・レビユウ……堀口甚吉（74）

・新建築欄・

愛知縣廳舍　白雲樓（金澤）大阪合同運送株式會社　大阪市地下鐵　三和銀行惠美須支店
五峯小學校講堂　超短波無電局（ドイツ）　新形式の飛行機格納庫（イタリー）
テユービンゲン・ネツケル河畔の庭園料理店（ドイツ）．　ブレーメンの自動車工場
ゑハンサ・ロイド・ゴリアードゑ（ドイツ）　シカゴのエスクワイヤ劇場（アメリカ）
ニユーヨークのフオード自動車陳列所（アメリカ）　4室を持つた住宅（アメリカ）
洒落れた飾窗（アメリカ）

會　報……（76）

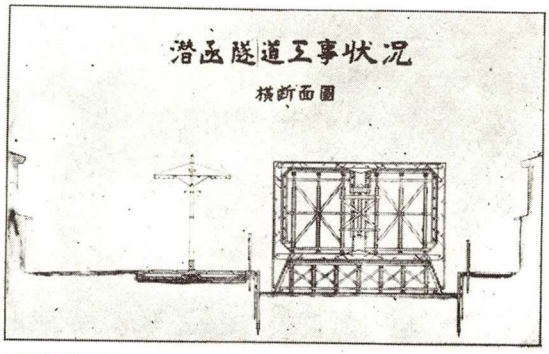
大阪市地下鐵道新線に就て

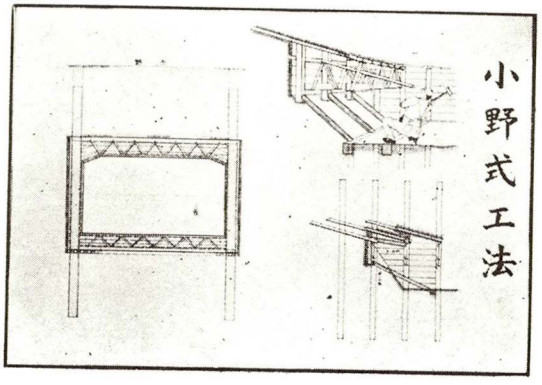
伊藤和夫

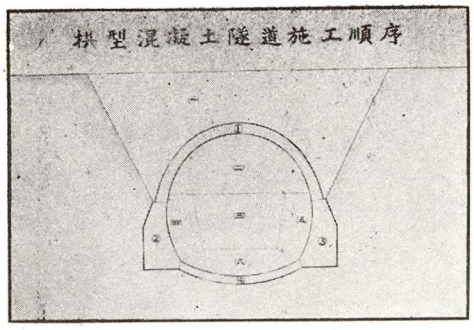
昭和五年大阪市に於て初めて地下鐵道の工事を起してより歳を閲する事八年、此の間昭和八年五月に梅田、心齋橋間を開通し、昭和十年十月には難波まで延長、更に本年四月廿一日に待望の梅田、天王寺間を開通させる運びに至つたものである。從來の梅田、難波間が延長 4.1粁、新線難波、天王寺間が 3.4粁、合計梅田、天王寺間 7.5粁の路線延長である。又從來の梅田、難波間に新しく大國町、動物園前、天王寺を加へて合計八つの停留場が完成された譯である。

梅田より難波に至る區間は難波の御堂筋道路の完成に先立つて工事を進めた關係から凡て鋼矢板を使用せる開掘式工法が用ひられたが、新線區間に於ては鋼杭による開掘式工法の外に、壓氣潛函式、小野式、無鐵筋拱型等の新工法が採用され、又大國町停留場部分に於ては全部路面覆工を施せる等可成り新しい試みがなされて居る。以下簡單に之等特殊工法に就いて述べて見たいと思ふ。

難波元町三丁目より敷津町一丁目に至る 410 米の區間には壓氣潛函工法が用ひられた。此の區間は地盤關係もあるが特に道路幅員も比較的狹く兩側には人家が密集して居るので從來の鋼矢板打込みの騷音によつて沿道の人々に迷惑を掛けない樣にと云ふ試みでもあつた。即ち幅10米長さ29米の潛函14基を下げ之を連結して一貫した隧道としたものである。從來壓氣潛函工法は橋梁や建築物の基礎工事には屢々用ひられて居るが、之を 410 米の延長に連結し而かも融通の効かない軌道を通す事なので潛函相互の位置の喰ひ違ひが心配されたものであるが實際には豫想外に好結果に出來上つた。尚潛函部分には防水劑混入モルタル塗防水を用ひたが試驗的に各潛函毎に異つた防水劑を使用して見た





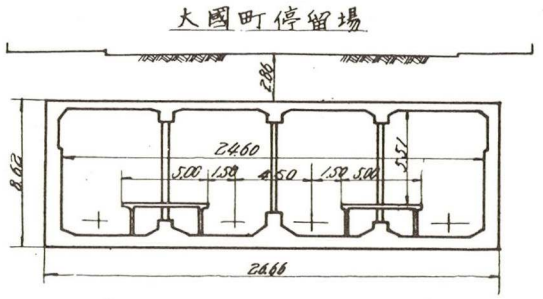


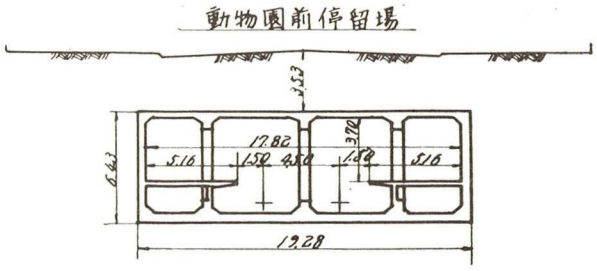
拱型無鐵筋隧道工法

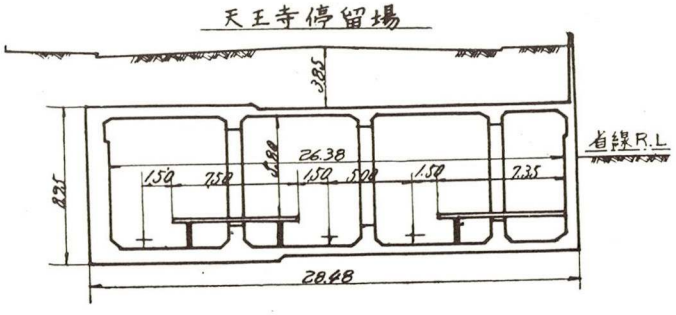
尤も其の内の一基は全然防水無しの物を試み結果に於て防水を施せるものと遜色ない効果を擧げた事は皮肉である。

東四條三丁目には52米の短區間ではあるが小野式工法が用ひられた。之は北海道帝大教授小野博士の考案になるもので試驗的に採用したものである。即ち水射法によつて工型鋼を打ち込み、一ケ所の竪坑より水平拔掘り式に掘り進み、横桁繋材を電氣鎔接し内部より混凝土を充塡せるものである。之によれば土留の鐵杭がそのまゝ隧道軀體の骨組となり、又水平拔掘式なので路面交通に何等の支障を來さないと云ふのが特徴である。防水としては構築完成後グラウチングポンプを使用してセメント注入を行つた。

天王寺停留場の西方旭町に於ては延長80米の間に無鐵筋拱型隧道が用ひられて居る。此の部分は互線を設ける爲中央柱が設けられない事と時局柄鐵筋を使用しない隧道としての試みである。施工順序は圖示の如く初めに開掘によつて穹拱部を完成し直ちに上部土砂の埋戻しを行ひ、其の後拔掘りによつて側部最後に道床の混凝土を打つたものである。鐵鋼不足の現狀に鑑み將來の延長線には此の型が用ひられる事であらう。

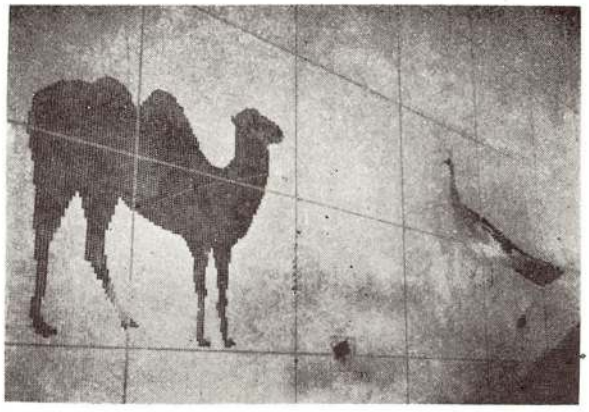






次に新設停留場に就いて述べて見たい。大國町停留場は第一號線（南方——我孫子）と第三號線（大國町—玉出）との分岐點であり、梅田方面から天王寺及び玉出方面へ

の各直通と玉出、大國町間の折返し運轉とを基礎として設計されてある。即ち二本の島型歩廊を並列し西側歩廊には一號線、三號線の北行列車を、東側歩廊には一號線三號線の南行列車及び三號線の折返し列車を着けるやうにしてある此の配置に依れば一號線三號線乘換客の大部分は同一歩廊上に於て乘換へをなし得るのである。尙此の同方向同一歩廊配置を採つた關係から大國町停留場南方に於て三號線が一號線北行路線の下を潜る所謂立體交叉の形を取つて居る。大國町停留場は乘換停留場と云ふ點に重點を置いたので中階出札廣間も比較的狭く、又停留場全體の仕上裝飾等も出來る丈簡明實用向きに設計されて居る。壁面を白タイル一式にした點、柱を鐵骨共のまゝにラツカー吸付とせる點等從來御堂筋の各停留場とは全く趣きの異つたものとなつた。將來郊外地の停留場は大體之に倣つたものとなるであらう。



動物園前停留場乘降場階段壁畵

動物園前停留場は最初高架停留場の豫定であつたものが諸種の事情から地下になつたもので歩廊配置も初めての相對式が用ひられて居る。天王寺動物園に近い關係から壁面仕上げにラスモザイクを用ひ各種の動物模様をモザイクで表はして見た。尙近い將來に於て南海鐵道平野線と地下道による直接連絡が出來る豫定である。



動物園前停留場乘降場壁畵

天王寺停留場は梅田と共に大阪市南北の二大關門で共に國有鐵道を初め各種郊外電車の集合點となつて居る關係から停留場の規模、仕上共に大阪市の裏玄關として將來共支障無き事を目標として設計された。乘降場には一本の島型歩廊と一本の壁附歩廊とを並べ三線配線となつて居る。現在は西中階丈が使用されて居るが、近々に東の中階も完成する豫定である。西中階廣間は東西47米南北34米の大廣間であるが之は現在大阪鐵道と直接地下連絡が完成して居る以外に將來省線天王寺驛の



天王寺停留場乘降場階段

完成を俟つて同驛及び阪和南海兩鐵道とも連絡するやうに計畫されてある。更に阿倍野橋の架替及び平野街道路面の完成の曉には市電南海上町線とも完全な連絡が出來るであらう。現在西中階中央から路面眞中に出て居る二股の出入口は其の爲めの物で、將來市電と南海上町線が此の出入口兩側まで引込まれる計畫になつて居る。乘降場より中階に至る階段には夫々一基宛の二人立エスカレーターが配置されてあるが將來省線驛との連絡口に更に一基增設される豫定である。

從來御堂筋の各停留場は大部分が中央綠樹帶に出入口を出して居たので風雨の吹込を考慮して周圍をプリズム硝子で包んだ形を採つたものであるが、新線に於ては凡て狹い歩道上に出入口がある爲め前面人家の見通しを考慮して吹放しの形とした。唯天王寺停留場の中央出入口丈は道路中央に出るので硝子張りとしてある。

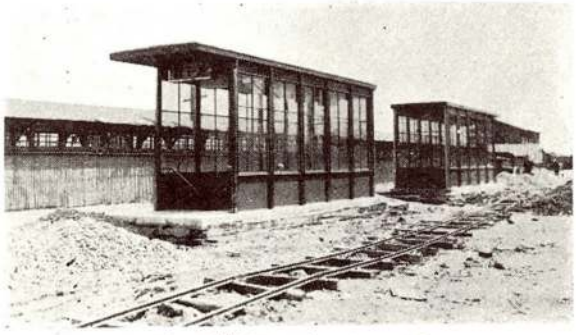


天王寺停留場出入口上屋

以上新線區間に關する概略を述べたのであるが、新線區間の開通によつて大阪南北の兩中心が完全に結ばれ大阪市地下鐵道も之によつて初めて實用的價値を發揮し得るものと云へよう。尙難波、天王寺間の純建設費は約一千五百萬圓であつて之を路線1米當りにして見ると約四千三百九十圓となる。

※　　※

※　　※

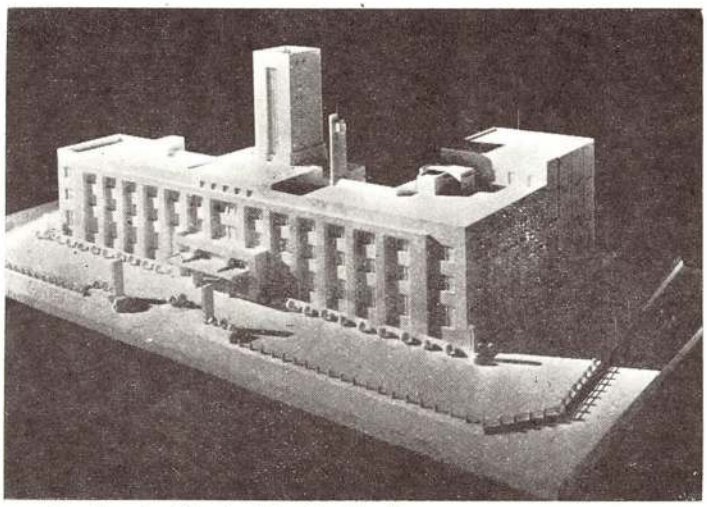


天王寺停留場中央出入口上屋

自治制五十周年を迎へて明日の大堺市へ企圖

——都　市　計　畫　と　建　築　問　題——

加　藤　善　吉



新堺市廳舍模型寫眞

自治制發布せられて五十周年、堺市亦市制實施以來五十年の記念すべき年を迎へて、四十五年間の風雨に見るかげもないまで腐朽した市廳舍も、本年五十萬圓を投じて躍進の意氣横溢する近代思潮を表現べき新市廳舍の起工を見んとして居る市政に關與した人々は顧みて今更ながら追懐無量なるものがあるであらう。吾々は更に先人が營々として築き來つた市政の業蹟に對してうたゝ感謝に堪えないものがある。

この喜ばしく意義ある機會に本誌をかりて、世界的産業都市大阪に隣接して、飛躍の途上にある堺市の都市計畫上の問題及建築的施設に就て述べることは寧ち無益ではあるまい

堺市が夙に往昔文化の地として發達し、次で純然たる自治都市として、よく自由に商權を把握し、南蠻船の往來繁く當時日本に於ける經濟上の中心地であつたことは史乘に明かな事實であるが、德川氏の鎖國政策に依つて市況の不振を招來したが、市制實施以來前後五回に亘つて市域の擴張を斷行し今日に至つて、その廣袤五百三萬五千坪、人口十五萬五千を擁する本邦屈指の大都市として雄飛するに至つた。その間歩み來つた過去に於ては幾多の困難と數々の災害に遭遇したのであるが、就中最も大なる災害は昭和九年九月二十一日突如として起つた關西の大風水害であらう。

この未曾有の風水禍は狂風大厦を倒し海潮市街に溢れ一朝にして實に凄慘な狀態を現出したのである。

爾來之れが復興に邁進して以來、本年を以て四歳を經過し、今次支那事變の非常時局に際會して、或は諸材料の暴騰に、非常時の經濟統制に、或は物資の制限に種々な難關に遭遇したが、既定の都市計畫事業は勿論復興の諸事業を着々として進められ、日に月に近代

都市としての面目を發揮しつゝ躍進を續けてゐる。

殊に最近の神石村の市域編入は將來の堺市工業地域と住居地域に相當の効果を齎らすであらうと思ふ。更に特筆すべきは、目下大阪府に於て六百三十八萬圓の巨費を投じて事業實施中の三寶海岸埋立面積四十七萬坪並に港灣修築であるが、之れが完成の曉に於ては商工業の發達、人口の異常な增加、財政經濟の變化等市政の上に著しい變革を招來することは明かである。

斯くの如く今や堺市は一大飛躍の勇敢な行進曲を演奏しつゝあるが、之れに順應して爲すべき諸般の施設計畫を必要とするのである。その中で都市計畫と建築的施設に關して述べんとするのであるが、その前に一應既定計畫の概要とその進捗の程度を記述する。

堺市が大正十二年逸早くも都市計畫の警鐘が亂打されて以來、市民の深い理解と各方面の協力に依つて、近代都市計畫の基本を爲すべき用途地域は昭和二年に指定を見て、茲に都市建築物の統制と土地使用の根本方針を確立したのであつた。更に風致地區の指定及我が國に於て始めて實施せられた住居地域內の空地制限地區の指定を見た外、街路の構築に運河の新設に、防潮堤の築造に、土地區劃整理事業に總額二千二百四十萬圓の巨費を擁して其の實行に當つて居るのであるが、何分にも堺市の歲出入豫算は二百萬圓を出ないので都市計畫特別稅の全部に亘つて制限滿度徵收しても年額十萬圓に足らぬのである。斯の如き財政のみを以てしては到底前記の大事業を敢行することは容易なことではない。故に堺市の都市計畫は國、府及市が渾然一體となつて事業の遂行に邁進して居るのであつて、街路の如きは二十七線中僅か數線を殘すのみとなり、防潮堤は既に完了し、土地區劃整理も十組合があり、外に都市計畫事業としての元三寶の土地區劃整理も既に地揚工事は終了し目下街路の築造中である。又目下續行中の大阪港との連絡を保つために幅員六十米の運河事業がある。

而して建築の復興事業に於ては畏くも、明治天皇、昭憲皇太后を初め奉り、當時皇太子にわたらせられた大正天皇、其の他の皇族各宮殿下の行幸啓を辱うした由緒ある、東洋一を誇る市立堺水族館も面目を新たにして再現したのを始めとして、小學校の十五校も、市小學校講堂及三寶小學校の復興を除く外凡て完成或は工事中であつて前記二校も設計濟である。圖書館、火葬場は早く竣成し、市民病院も本年七月完成の豫定である。

堺市廳舍は既に設計も完了し既に市街地建築物法に依る府知事の認可を受け、又鐵鋼工作物の許可のもとに着手の運びに至るべきは明かであるが、非常時の鐵鋼使用制限のために全部の完成は其の時期未定であるが、使用鐵鋼の六割餘の許可を受けて近く起工を見るのである。斯くして漸次耐火建築の增加を見ることは都市構築の實質上喜ばしい。以上の如く堺市は都市的施設充實に異常の力を致して居るのであつて、殊に都市計畫事業に至つては人口十五萬內外の都市として全國に類例を見ない大事業を敢行して居るのである。

然しながら都市の發展たるや一日も停止するものでなく、殊に堺市の躍進は更にその勢

を暴しうすべきを以て、之等に順應し、或は呼應して諸般の施設計畫をなし市政の發展振興を期せねばならぬ。

先づ第一に考ふべきは防空施設である。現代の都市は防空を度外視して存在は許されない。從つて現時の都市計畫は防空問題を考慮せざる都市計畫はその存在の意義を有せないとせられるに至つた。都市計畫がこの新しい要求を込めて行はれて始めて都市防空の使命が達せられるのである。既に法規の改正を見た外今次の事變は如實に之れを物語つてゐる

現今何れの國に於ても都市計畫を軍的要求に順應せしめるために適切な計畫が進められてゐる。空襲の被害を受けた英國が1933年 Town and Country Planning Act を發布したのも防空問題を多分に考慮せられた結果である。

防空の都市的施設は種々ある。即ち街路及廣場等の空襲避難上よりの計畫、延いては之れが地方計畫的にも十分考慮せらるべく、或は重要建築物の集中防止、人口密度の調制、或は重要工場の分散計畫等何れも重要視すべき問題であるが、積極的對策は都市の不燃化である。尠くとも現在の我が國の都市、殊に堺市の如き不燃建築物の三四を數ふるに過ぎない木造家屋の都市に空襲せられた場合、其の慘狀や思ひ半ばに過ぎるものがある。實に都市の不燃化は火災は勿論空襲に、避難に、或は防禦にあつてもその根本をなすものである限り、大に之れが奬勵に國家國民は全力を注がねばならぬのである。この觀點に於て堺市の如き一朝事ある場合に市政の混亂をきへ豫想せられる木造腐朽廳舍をして安全な不燃建築物たらしめることは市民は元より國家が進んで慫慂せしむべき問題であらうと思ふのであるが、非常時局に於る國策上鐵鋼使用制限の重壓下にあるのも亦止むを得ないのである。此の點に於ては幸ひ市民病院は商工省令公布以前既に相當工程進んで居つた關係上今や着々工事を進めつゝある。小學校にあつては其の構造方針として校舍は財政の關係上原則として木造二階建とし、講堂は凡て全兒童の收容せらるべき建築面積を有する不燃構造たる鐵骨鐵筋、或は鐵筋「コンクリート」となつたのであるから此點防空施設の一助となり得るであらう。

次は今回の都市計畫區域の擴張に伴ふ街路の計畫と地域、地區の確立である。即ち本年三月鳳町、鴫尾村、百舌鳥村、金岡村、北八下村、布忍村、五箇莊村、天美村を堺都市計畫區域に編入せられ茲に舊區域の二倍以上に達するに至つたのである。市街地建築物法の適用を急いで諸般の調査を遂げ、必要な施設をせねばならぬ。殊に困難なるは堺市內舊街衢の路幅擴張計畫である。堺市に於ける道路は概して幅員狹小、路幅は不定不規則であるから、之等を一定の幅員に擴張整理するの必要がある。本計畫とその實行は如何なる方法に依るべきかは研究を要する問題であつて、今直ちに行ふは巨額の費用を要して堺市財政の許さない所で容易ならざる問題であるが、市街地建築物法に於ける建築線指定權の發動に待つもその一つの方法として考へられる。何れにしても將來遂行すべき施設である。

之れと關聯して考慮すべきは「シビツクセンター」の計畫である「シビツクセンター」

は實に都市の特性を構成する上に重大な關係を有するばかりでなく、その構築の如何は市民生活に著るしい影響を齎すものである。堺市の現在に於ては「シビツクセンター」と見るべき所がない。幸にして這般堺市瓦町にして都市計畫路線の幅員十三間と八間の街角、二千八百坪の地を新市廳舍敷地に決定せられ、鐵筋四階建で高塔頂部まで地上三十五米、延七千百九十二平方米の近代都市を表象する偉大なものである。

本建築が竣工を見てその雄姿を現はした暁に於ては必ずや環境に大きな變化を來すであらうことは想像に難くない。故にこの十六萬市民の大殿堂を中心とする「シビツクセンター」の計畫を有つことは有意義であり又最も必要なことであると思ふ。

又都市の美觀と綠化の問題も堺市として重要なる事柄である。近時都市の整美と云ふことと、綠化の問題が識者の間に盛に論議高唱せられて來て居るが、事實現在の都市から少くとも都市醜を去ることは必要である。もとより都市美なる問題は須らく都市を構成する有ゆる要素に觸れて、それが全體としての統一調和均衡を保つ綜合美を形成してそこに始めて都市美としての眞價を發揮し得るものではあるが、先づ先決問題として廣告看板類の取締から始めねばならぬ。綠化の問題も一面都市美の重要な要素をなすもので、生活環境の改善、體位の向上、防火防空に重大な關係を有つものである。

堺市に於ける樹木の分布狀態は、面積を以ての調査に依れば市全面積の 7「パーセント餘である。歐米の都市は多く10—30「パーセント」位の樹木蔽地面積を有つのが普通である。故にその增加を圖るべく昨年十月一回實施し、更に本年四月第二回を大阪府、大阪市堺市、布施市の共同主催、內務省、厚生省後援のもとに開かれた綠化運動は相當の効果を擧げ、今後五ケ年間の繼續事業として實施せられるので、市民にもその精神が植付けられ兒童も綠化の必要を認識するに至るであらう。

殊に產業都市堺は工業地域の大なるものがあるから、工業地の綠化問題は衞生保健上の見地から重要な事項として取扱ひ、公園の施設と相俟つて無味乾燥な工業地の出現を防がねばならぬ。

次は地域に對する施設であるが、住居地域は堺市にあつては相當幽邃な所が多いが今回の都市計畫區域擴張に依つて更にその範圍を擴大したと見ることが出來る。

工業地域に就ては、堺市が近時天王寺堺線十三間道路國道十六號線の開通に依り原料製品の運搬に好個の條件を具備するに至つて益々產業の躍進に拍車をかけて來たのである。從つてその生產の基礎をなすべき堺市都市計畫工業地域は南方耳原、湊の一帶及神石の一部と三寶の臨海地一帶を合せて 164萬坪であるが、耳原町の工業地域は旣に數個の大工場連擔建設せられ又せられんとして居る。三寶の工業地域中 418. 000坪は事業費百十八萬八千圓を以て堺市執行の三ケ年繼續事業として都市計畫第十三條に依る土地區劃整理をなし道路水路の改廢以外に地區一圓の地揚工事を行ひ直ちに工場建設敷地たり得る準備を整ひ旣に地揚工事も完了し、從來の低濕地は面目を一新して實に整然たる理想的工業地域の出

現を見るに至つた。尙ほその西部の隣接地二十八萬坪も早晩同樣の狀態を呈するに至るべく、これに加へて別途大阪府に於て事業費六百三十八萬圓を投じて面積四十七萬坪の埋立と大工業港の修築を敢行し、之れが大阪港との連絡を保つために幅員六十米の三寶運河を開鑿して大工業地としての施設を完備せしめつゝある。この埋立事業完成後は當然工業地域の指定を見るべく、かくて造成せられる三寶一體の工業地域總面積は實に百六十五萬坪に達し、工業都市を誇る川崎市の埋立工業地域百三十五萬坪を遙かに凌駕し、本邦稀に見る大工業地域となり、堺港修築完成の曉は、一大物資輸送港として重大使命を果すべく非常な期待を有つものである。

この工業地域を眞にその價値を發揮せしむるためには、或る程度住宅商店等の侵入を抑制せしむべき方策を講ずるの必要がある。幸にして今回改正を見た市街地建築物法の專用工業地區の適當な指定を圖ると共に、官民各方面の協力を俟つて合理的發達を企圖せねばならぬ。而して鐵道或は軌道線の引込、工業用水、原動力の低廉な供給、排水施設等工業地域としての必要な施設計畫を要すべきは勿論である。かくして建築物の統制を行ひ工場招致に力めば秩序整然たる工場群立の偉觀を呈するの日も遠き將來ではあるまい。

之れに伴つて必要なるは工業從業員の住宅問題である。工業從業員は一部の人を除いては工場を離れて住み得ない。先年大屋博士の調査に依る大阪市の大工場數百七十の調査に見るに、その大部分は徒歩で十町以內より通勤して居ることが分るので工場と從業員住宅とは分離して考え得ないのである。

又更に緊要な問題は小學校の敷地計畫の問題である。

この問題は何れの都市に於ても最も重要にして財政的にも容易ならざる困難の伴ふものである。年々人口の增加に伴ふ就學兒童の增加は益々小學校の狹隘を來し新設に次ぐに新設の已むない狀況に置かれてゐる。財政の許さない市町村に於ては二部教育の弊害を認めながら尙忍ばねはならぬ現狀である。

市町村は學齡兒童の增加につれて其の好むと好まざるとに論なく、小學校の設備を充實せしめて行かねばならぬ。堺市亦然りであつて、年々の學齡兒童の增加は昭和六年より十一年に至る統計に見れば四百四十人であつて、一學級平均六十人とすれば八學級となり人口の增加に比すれば十一「パーセント」の比率を以て兒童の增加を示してゐる。前記の增加率を以てすれば二年餘に一校の新設を必要とするに至るのである。

前記三寶方面に於ける所要學校數に就て見るに、現在一校を有つのみであるが、かの廣茫たる大地域に建築物の充實した場合を想到して、其の人口と兒童に適應する小學校敷地の計畫を樹立することは當然な措置である。

私の調査に依れば、將來少くとも同方面には少くとも二校を要する。即ち從來堺市の工場發達の趨勢、工場の單位敷地面積、工業地域に於ける住宅、商店、其の他の建築物、道路、公園等の面積割合の算定に依り且つ人口の分布を豫想して大差ないと認め得るのであ

る。其の人口は現在を合して三萬五千人は包擁すると思ふ。

更に現在に於ける小學校分布の實狀よりして東南部は住居地としての發達につれて、人口の激增を見ること明白であるから、東部にも近く一校を增設するの必要を認める。

三寶方面に於ては幸ひ土地區劃整理事業執行中であり又將來施行せらるべきであるから豫め學校敷地を保有し得る、東南部に於て同樣の方法に於て用意するを適切と認める。

次は將來の人口と健全な住居地の問題であるが、今日都市に於ける住宅發達の實狀を見るに、市內は勿論郊外と雖も營利本位の貸家住宅に、無理解な家主は空地を法的制限の極度に縮少し、空氣の流通不良、日光射入の不充分な不衞生極まる住宅の跋扈跳梁を見ることは實に寒心に堪えない。故に住居問題は何時のときに於ても一日も等閑に附し得ない重要な問題である、市町村は宜しく住宅の改善統制に力を致し、或は健康住宅の經營に、或は分讓住宅の施設に低利資金を活用して、市民に範を示すことは時宜に適した處置なりと信するものである。

或は之れを土地區劃整理組合に於て經營するも可、又都市計畫事業として一團地の住宅經營を行ふも可である。この事業の執行者は市町村長に行ふを不可とする場合は行政廳にあらざる財團法人の如きものに特許して施行せしむることもなし得るのである。資金の調達は現下非常時局に於ては困難なるべきも好機に之れが計畫を進めることが必要であらう

筆者は昭和十一年現在布施市に包含せられたが元の小阪町長鈴木義仲氏の依囑を受けて我が國に於ける最初の都市計畫事業として、一團地住宅經營の計畫に當り、住宅數五十棟工費約二十萬圓を以て完成せしめたのであるが、之れが時機に投じて申込數四倍の多きに達したのである。

蓋し住宅の良惡は構造そのものは勿論であるが環境の如何に依るものである。即ち住宅敷地に空地を多く採ることが第一要件である。堺都市計畫區域內に於て堺市の南方南海鐵道濱寺驛の東側區域十萬一千坪の住宅地の一部は、土地所有者の要望を基として、市街地建築物法第十四條ノ二の規定に依る空地々區を指定せられ、敷地內に存すべき空地の最小限度を十分の六と定めて、その地區の快適の保有に資したのである。この指定は全國の嚆矢であつた。今回市街地建築物法が改正せられて、住居專用地區及空地々區及高度地區の制度が開かれたので、當局者は宜しく適當の土地に對して指定の範圍を擴張し、健全な住居地の構成を計畫せらるべきである。

殊に堺市に於ては、既に殆ど人口は飽和の域に達してゐるのみでなく、都市は原則としてその發達につれて人口の分布移動の行はれるを常とするのであるから、今回の都市計畫區域の擴張と相携へて合理的住宅地發展の計畫を樹立するの必要を痛感する。

其他都市計畫事業としてなすべきものに、下水道其他種々あるべきも、一般施設として中央市場の計畫、娛樂場、遊園地の施設擴張、塵芥處理場、不衞生地の改善、交通機關の統制等がある。

建築の問題に於ても、前述の如く風水害に依る復興中、市廳舍新築が最後として更に將來の市勢發展に伴ひ小學校の增設計畫、中等學校の學級增加に伴ふ敷地及校舍の增設、傳染病院の改築問題、屠場改築、稍遲れては公會堂新築の問題も起るであらう。堺市の建築や多事であり、其の財政や多難である。

最後に私が、堺市建築の事業に當つて技術者として常に念頭に置くものは、從來の復興諸建築物は勿論將來の建築と雖も、其の表現は時代思潮を發揮せしめ、構造は堺市財政を考慮して現時建築技術上の最新を求めて無駄を省き堅牢で低廉な工費を以て施工することである。元來建築物の表現は常に他の文化に率先し尖端を行くものであるから、吾々は常に印刷物を通して或は實物に依り最新の知識とその教養に吸々たる所以もそこにある。我が市街地建築物法も建築技術の進運に順應して、常に改正を行ひ社會の情勢に適合せしめ構造方面に於ては可及的無益な構造を排し無駄を除去するに不斷の努力が拂はれてあるを見ても、建築技術が如何に日進月步の甚しいかを窺知し得るであらう。之れを構造上に於て例せば、小學校の講堂が鐵筋「コンクリート」の場合昨日の設計に於て鐵筋の强度が千二百瓩/糎平方が、今日は千四百瓩/糎平方となつて、其の儘ではそこに無駄のある不經濟なものとなり了るのである。一部人士は建築物の意匠表現に於ても一向に考慮することなく不調和不均衡な狀態を見のがして枝葉末節のみ膠泥するの感がある。具眼達識の士は宜しくこの點留意せられたい。

以上私が堺市の過去と現狀を見て、常に考慮しつゝある一端を述べたのであるが、その大部の施設計畫は巨費を要すべく、財政計畫の樹立をなし適當な財源を求めるに非ざれば實行に移し得ないものも多々ある、故にその確立を待つて財政の許す範圍に於て漸進的にその實現を圖り、大堺市への飛躍的の發展を期待して止まぬものである。

布施市に於ける長屋住宅

川勝健二
松森修太

1 序言

布施市内に於ける借家住宅の情況及び傾向と家賃、地代等の關係を調査し、其の都市住宅的性質に關して究明する目的を以て、昨昭和12年下半期に於て大阪府建築課に新築出願したる書類により調査したもので、それ以後引續き調査研究中のものでありますが、一應その型態的調査を完了したので此處に讀者諸氏の御教示を乞ふ次第であります。

尙本調査は布施市内に於ける借家全體の調査をなす事が妥當であるかも知れませんが、時間手數等の關係で抽出を試みました。

（1） 大阪府出願の書類に依つた事は前記した所でありますが、其の内新築のもののみに限つたので舊來の住宅には少しもふれて居りません。

（2） 借家中商店其の他を除き借家住宅に限つたことは、前記の如く出願書類に依つたので新築後の或る時期に於て借家人に依り適當に商店に改造される事もあります。

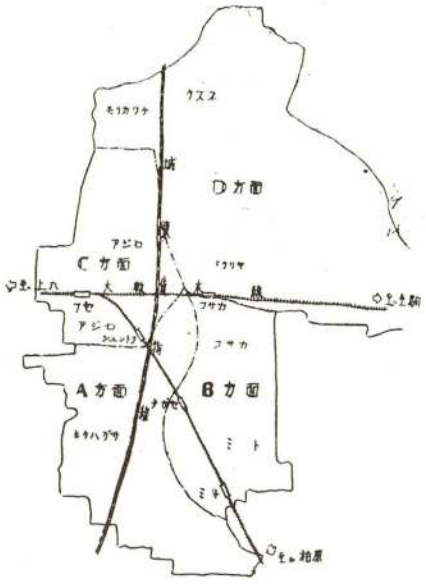
（3） 借家住宅中長屋住宅の調査を主とし、一戸建は只數的調査のみとしました。何故なら一戸建の中には借家と借家ならざるものとあり、その判別は出願書類のみにてなし得ないのみならず都市住宅的傾向は、長屋住宅に於て一戸建のもの以上に顯著であると考へられます。勿論長屋の中にも必ずしも借家でなく、長屋の中の一戸に家主自身が居住する事もある譯です。之等に就いては目下調査中でありますが、それにしても尙且つ都市住宅的又は借家住宅的見地より之れ等小數の混入は、決して調査の結果に不都合を來す樣な事はないと信じられます。

（4） 敷地の關係で例へば三角地等の爲め、可成り不整形なプランが間々見出され、之は間口奥行疊數等の調査の採錄に不正確となる嫌ひがあるので省略しました。然し之の省略した數は全調査戸數の近々1%餘でした。

（5） 調査區域は勿論布施市内で、且つそれを四方面に區分しました。之れは種々豫備調査の結果、之の四方面がそれぞれ可成りの共通した特徴を持つものである事が解つた結果であります。（地圖參照） 以上の條件の下に調査採錄したもので、云はゞ抽出調査であり、其の爲に決して結果が偏つたものとなる懸念はないものと考へます。むしろ蒐錄の煩雜さが少なくなる特點を有するとさへ考へられます。次に前揭地圖に就いて各方面の說明をして置きます。

A方面。大軌本線が布施驛で分れて南へ走る高田線、俊德停留所を中心として其の東西

に跨る地區で町名としては北蛇草、永和、及び大平寺を含む範圍で、之の邊りは大正14年高田線の開通後急激に發展した町で家內工業が目立つて多い所であります。永和は特に最近青バスの開通に依つて目下盛に發展しつゝある所であります。



B方面。小阪町から南高田線、長瀨停留所に達し、尙その西南方一帶を含めたもので、町名としては舊小阪町舊小若江村舊彌刀村舊長瀨村の一部が之れに屬し、今日尙田園趣味の濃厚な地域で、殊に楠根川畔元帝キネ跡を中心とする菱屋西方面は古くより之の近隣稀な良水を出す區域である爲、高級住宅地化して來た所であり、長瀨停留町附近は日大專門部の存在に依つて盛に住家が建築されつゝあり、郊外住宅地の感じのする所であります。之の中の小阪町は古くから都市的發展を經て來た所であり、之の區域中に含めるのは妥當でない様ですが、古から發展してゐただけで新築される住宅は極めて少いため、吾々の調査に於ては大して支障がないので地域の關係上假りに之の中に包含しておきました。

C方面。大體舊布施町を之れに當てる積りでしたが、種々調査の結果その中から南端の大平寺をA方面に編入し、北端の森河內をD方面へ編入しました。之の方面は布施市の中最も古くから發達した所で、德川時代には河內木綿と鐵瓶の產地として有名な處であつた様で、明治中期頃迄は之の附近は盛に綿の栽培が行はれてゐた様です。それ以後種々の手工業品又は輕工業品の生產で榮え今日に及んで居り、人口人家共に布施市の約48%をしめて居ります。尙この方面の一部は大阪都市計畫委員會に依つて、不良住宅地區と目されて居る所がある事も參考迄に記して置きます。そして住宅の質は他の三方面より幾らか劣つてゐる様です。之れに就いては又後に書きます。

D方面。之れは前に書いたC方面から編入された森河內、及び布施市東北方一帶の市街地建築物法一部適用地を之の中に含めたもので、概して前記したB方面の如く未だ野趣豊かな場所でありますが、處々可成り大中工場が存在し、其の他は殆ど田畑と云つて差支へない程ですが、最近大阪から額田方面へ通ずる放射路線の關係と、他の三方面に於ける地代の經濟的關係で盛んに小工場並に借家住宅の建設を見て居ります。

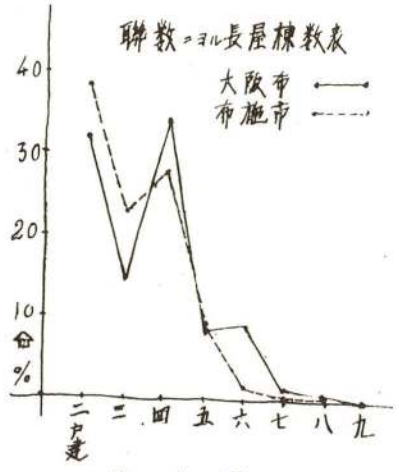
2　大阪市內住宅との比較

大阪市の衞星都市の如く云はれてゐる布施市は、今日一般に考へられてゐるサテライト

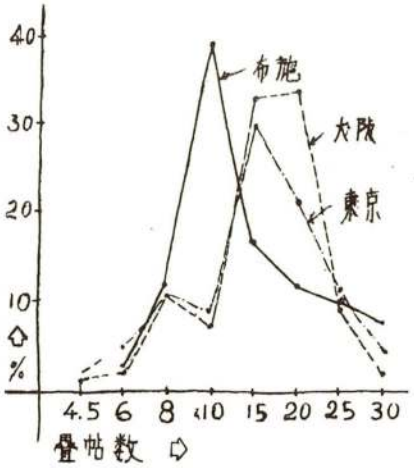
• シテイーとは凡そ縁遠いもので、大阪市と相隣接せる事は勿論その境界は廣くとも一本の道路、狭い所は全く一本の幾何學的線條によつて相接し、其の間に何等特徴ある區界はなく殊に大軌沿線の如きは、起點上本町六丁目から小阪町まで全く人家で埋められ恐らく不用意な人は車窓から大阪市と布施市の區界を指示し得る人は殆ど無いであらう程外觀は大阪市と相接し相似して居りますが、其の兩市に充滿する都市の構成細胞たる住家に就いて仔細に見るとき吾々は非常な相違を見出します。今其の相違點について記して見ます。

1 聯　　數

適當な名稱がないのでこんな字を當てゝみたのですが、長屋一棟中に連つてゐる戸數の事で、普通何戸建と云はれてゐる所の戸の聯續數の意味です。之れは第一圖に見られる様に大阪市に於ては（大阪府建築課調査、昭和11年度）長屋の中四戸建として造られるものが最も多く約35%をしめてゐるのに對して、布施市に於ては二戸建が最も多く約40%をしめてゐる情態であり、勿論之れは兩市ともその市内の方面に依つて異りますが、布施市に於ては%の値は異つても各方面共二戸建の最も秀でてゐる點は吾々調査中意外とした所です。（表參照）尚三戸建が兩市共に目立つて少ないのは、市民に忌まれる慣習のあるためである事は、今更説明を要しない事と思ひます。之の聯數の相違は一見大した事ではない様ですが、空地關係其の他衛生的或は使ひ勝手等を考へ合せると可成り重要な問題であり、二ケ建が四ケ建に種々の點で優る事は勿論であります。次に一戸建の事ですが、大阪府社會課の調査に依ると一戸建は長屋の約4.5%に過ぎませんが、布施市に於ては約40%になつて居り驚くべき相違であります。然し此の一戸建と云つても布施市に於ては所謂懸賞小住宅にでもありそうなものは少なく、約8割は長屋を一戸だけ千切つた様なものに過ぎないものであり、且つ社會課の調査は舊市内の新舊現存住宅に就いてなされたものでありますから、之の比較は當を失してゐるかも知れないと思ひます。只參考迄に記したに過ぎませんけれ共、若し布施市に於て大阪府社會課でなされたと同様の調査をなしたとしても、矢張り大阪市



第　1　圖



第　2　圖

との差は驚異的なものであらう事は想像されます。何故なら布施市が新興都市であるだけに、古い住家程田園調を帯びたゆつくりとした一戸建が多く、新しいもの程長屋が多いと想像する事は決して無理な事ではないのでありますから。

2 階　　數

大阪市内に於ては全體として平屋より二階建の方が多く、市の中心を離れるにしたがつて逆に平家の方が多くなつてゐる様であります。例へば天満署内では二階建は平屋の約三倍であるのに、中本署内では逆に七割となり、これが布施市に於ては更に四割に下つて大阪市内のどの方面よりも平屋の多く建つてゐる事になると思はれます。中二階建は今の所極めて少く、市街地建築物法施行後新築のものは殆ど有りません。之は此の町の習慣として古くから中二階が少い様ですが、之れは既に古くから何か原因があつたのであらうと考へて居ります。

3 疊　　數

之れに就いては幸ひ東京市内並に大阪市内の調査があるので、それに合せて圖表を作成してみたものが第二圖です。此處に於ても又東京や大阪に比して相違が見出されるのであります。之の相違の原因と考へられるものの一つに兩都市の統計と吾々のものとの對象の相違であります。即ち前者は一戸建も含まれて居り、又前記した様な二階建が後者より斷然多い事が擧られます。思ふに前二者のダイヤグラムの曲折點が、平屋と二階屋の區分點に當るのではないかと考へられます。それは布施市に於ては他の兩都市の然かも舊住宅に比し、同じ一戸にして疊數を多くするための平面型の合理化に隔段の進歩が豫想されるからです。若しそうであるとすると之のダイヤグラムから平屋だけに就いて考へると、布施市に於ては他の兩都市より一桁だけつまり三帖だけ疊數が多くなつてゐる事になるわけですが、之の間の事情に關しては他日を期したいと思ひます。

4 結　　語

以上布施市の長屋住宅に就いて大阪市のそれと比較して書いて來ました。勿論細い點になればまだまだあるわけであります。之れ等の事情から想像して、先ず布施市が大阪市に比して地代の低い事や從つて利潤率の良い事などが考へられますが、然しそれだけでは大阪市より一戸建二戸建が非常に多く二階建の非常に少い理由にはならないと考へます。その他こんな事が考へ得られると思ふのです。それは大阪市に比して經濟的に非常に零細な家主或は地主が比較的に多いと云ふ事であります。これに關して東京市内（三田學會小島氏論文、昭和9年 12月號）に於けるものと比較してみたかつたのですが、紙面の都合上割愛する事に致しました。

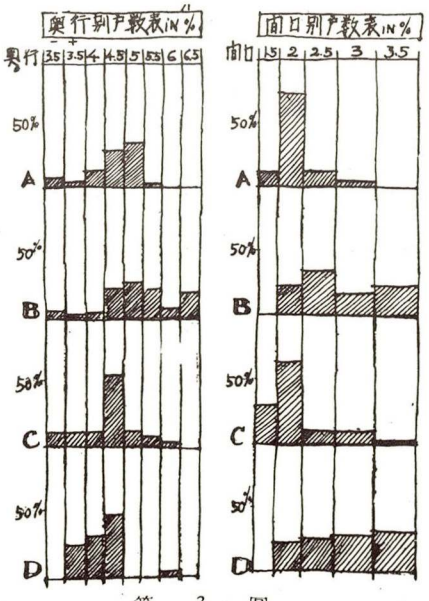
3 平面型に就いて

（1） 間口と奥行

間口と奥行の調査は長屋調査に當つてその質と型態の調査上非常に重要なものでありま

すが、今までに之の統計は筆者等寡聞にして聞かないのであります。そして普通には疊數或は坪數等で調査されてゐます然しこれは不適當の様です。何故なら疊數の同じ家は決して同質或は質の近似を示さない事は、之が疊のない室、即ち浴室洗面所或は床の間の有無炊事場の廣狹を無視した事になるからです。尙又疊數の差が平面型の差を示さない事は、說明を要しない程です。實例に徴してみた所に依つても、一間半間口のものと二間間口のもの、或は二間々口と二間半間口のもので、若し奥行が同じ場合には各々前者は後者より建築費に於て二割前後低いにも拘らず疊數に於ては殆ど變化を見ないのであります。又衞生的觀點から見ても、採光面通風面積等間口の相違が非常な相違を生じて居ります。吾々は此處に於て長屋調査に於ける間口調査を提唱したい次第です。長屋調査に於ける疊數調査よりはまだ坪數調査の方が有効でありますが、實際問題として坪數調査は非常に厄介な爲め、技術者の調査を除いては正確を期し難い缺點があります。此處に於ても間口並に奥行調査は適當であり、且つ幸ひな事に大抵の長屋が疊敷である事も尙一層間違ひの少いものとする便利があるわけであります。勿論それにしても1間の單位が東京間京間の差あり得るわけであり尙之れに「小間中」の板間などの付いたものが偶には有り得るわけで、可成複雜な寸法まで有りますが、吾々が採つた方法に於ては2間々口と云ふ場合、12尺から15尺まで15尺から18尺までを2間半としました。之れで今の場合左程不都合を感じませんでしたが、之の間口幅員の區分に就いては尙今後研究の餘地のある事と思ひます。奥行に就いても同様測尺する事にしました。然し之の際奥行を主屋だけの奥行とし便所等の突出物を除きました。便所の少し長い短かいだけで建物全體の奥行に相違を生じた如く見えるのを嫌つた爲であります。そして前面部の突出は、その先端迄を測尺する事にしました。

斯くして布施市を四方面に分割統計したものが第三圖であります。之の表により各方面に非常な相違のある事が見出されますが、以下之れについて少し詳しく書いて見る事にします。間口に付いてみますとA、C兩方面は可成り相似して居り、共に二間々口のもの最多數で殊にA方面では74%を占めて居ります。けれ共A方面はC方面に比して一間半間口のものが斷然少なくなつて居ります。又奥行に就いてみますとA方面では五間奥行のものが最も多く四、五間のものが之に次で居りますが、C方面では四、五間のものが最も多く56%です。之は二間々口一間半間口を問はず四、五間々口が最も多いためで之れに依つてみてもC方面はA方面より幾らか



第 3 圖

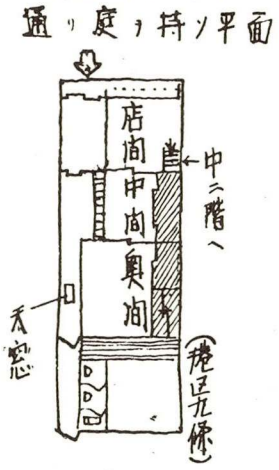
住宅質の悪い事が考へられます。次にB及びD方面でありますが、此處では前記二方面と甚しく異り共に一間半間口のものは皆無であり間口は非常に廣く、殊にD方面の如きは廣い物程多くなり、長屋で三間半間口と云へば一寸想像に難い様なものですが、之れが最も多數を占めて居り非常に高級長屋を思はしめますが、奥行別の表を見ますと非常に淺く最大四、五間から最小三間半で平均四間であります。故に一戸當り建坪にすれば大した差はなく矢張り倭小住宅である事に變りはありません。之れに比すればB方面の方が餘猶のある平面の多い事が想像されます。結局D方面は開發未だ日淺く耕地整理區劃整理等が行はれず舊村道に接して列狀に建築されて行く結果に他ならないのであります。之處に於て矢張り都市的な現象として間口の縮少化と云ふ事が云へる様です。

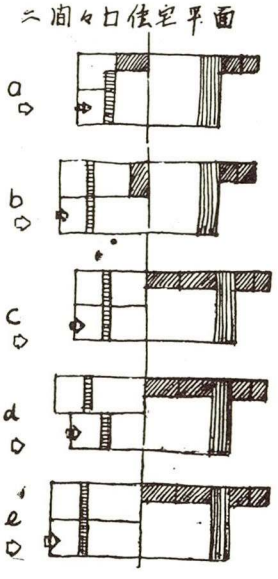
（2） テイピカル・プラン

我國家族制度も維新後の急激なる資本制的發展に伴つて次第に封建制的大家族を次第に縮少し、單一家族へ移つて行き之れと共に都市自身に於ては、都市居住者の中大多數を占める移住者の家族が始めからそうしたものとして出發して來た事、加之最近の生產機構のもたらした所の一般大衆の經濟的均等化は都市住宅、然かもその中の借家住宅は次第にその型式の單純化單一化合理化へと發展し一定の大きさ及一定の型式への沈澱が完成されつゝあるその一つとして、古い町家に見られた所謂通り庭（第四圖參照）と稱される玄關から炊事場物置まで平面を縱斷した土間の消滅（「都市住宅の研究」西山氏　建築學研究12年4月）と今一つはそれに依つて生ずる炊事場位置の移動のため、建物前面からの採光が殆ど不可能なため第四圖に見られる「中の間」の消滅であります。その爲に疊の間が同圖の如く三段になる事なく殆ど總て第五圖の如く二段になつて居ります。此の現象は布施市に限らず大阪全市に於ても見受けられる所であります。

さて最後に布施市に於けるテイピカル・プランでありますが之は前にも書いた如くBD方面に於ては間口の幅員が二、五間以上の廣いものが多いためプランが可成り、自由になり典型と云へるものが有りません。それに對してA、C方面に於ては大多數が二間々口であるためプランの構成に一定の制限を生じ、その爲めに第五圖の如く奥六帖と表玄關及炊事場の組合せ方に依り五種類が考へられます。（之の際奥八帖及其の他に四帖間を使ふ事は一つの實例も無きため省略）そし

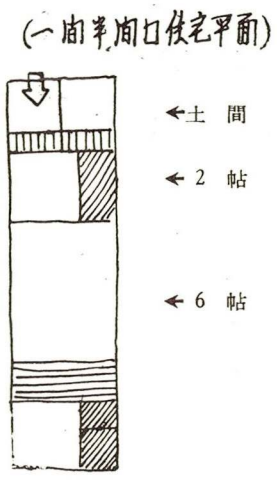
第 4 圖
通り庭の有する平面





第 5 圖

てこの五種の中A方面に於てはd型のもの最も多くc型これに次ぎC方面に於てはc型最も多く他のものは何れも少くこれに次ぐものは一間半間口のものになつて居ります。それは第六圖に示す様なものになつて居ります。此處に至つては、吾々建築行政に携はる者にとつて、之を以て之の方面の典型として發表するにはいさゝか躊躇したい程劣質でありますが、布施市又は大阪市に於ても、便所は裏先栽の片側に設けられるのが普通でありますから，之の際、之の一戸の彩光面積は1坪に滿たないものとなるわけであります。然かも庇の出や便所の突出を考へると、最も向きの良い場合でも、日照狀態は極めて不良となるわけで。之れは二間間口のものと比べると非常な相違であります。然るにも拘らず恐らく間口に依る累年統計が採られたならば斯種のものが可成りの程度に於て漸增しつゝあると云ふ事が示されるであらうと考へます。



第 6 圖

今日國民體位，學童體位等の問題の重大化せる機會かゝる住宅の劣質も又問題で有らねばなりません。之の改良に就いては經濟的，法制的或は技術的幾多の問題が有りませう、けれ共其の前に一應かゝる事態を導く所の諸事情、並に諸原因に就いて究明する事こそ今日吾々に課せられた重大問題であらねばならぬと考へるものであります。

備考 1 東京のものは、東京市役所。東京市住宅調査（昭和6年3月）に依り、大阪のものは、大阪府社會課「實地調査より見たる大阪市内の住宅」（昭和9年3月）に依る。

2 疊帖數は、大阪市のものは、「8帖以下」欄は7..5帖以下、「10帖以下」欄は8乃至9帖、「15帖以下」欄は、10乃至15帖

大阪府下に於ける都市計畫

松井清之助

建築計畫に從事する者の都市計畫に關する理解は極めて必要なるに拘はらず、從來往々等閑に附せられてゐるのは誠に遺憾である。

都市とは如何なるものか都市計畫とは如何なる精神を持つてなされるものか、と言ふ一般的概念は我々市民としても多少は興味を以て一應心得置くべきであるが、之等に關する說明は他にも多く見受けられるを以て、こゝでは之を省略し、直接建築關係者の事務上必要なる具體的事項のみを選びて都市計畫及同事業一覽表として纏めたものである。表中都市計畫及同事業の項目中で決定後の變更、其の他圖面說明等は省略したが詳細は府廳、市役所等に付御照會願へれば幸である。

都市計畫一覽（昭和13年4月1日現在）

大阪都市計畫區域

（都市計畫法適用）　都市計畫法第2條ノ規定ニ依リ大阪市ヲ指定（セラレタルモノト看做ス）大.9.1.1.ヨリ施行大.8.法律第36號

（區域決定）　大阪都市計畫區域決定認可、大.11.4.24、內閣總理大臣公告

（區域內市町村名）　大阪市、三島郡吹田町、千里村、豐能郡庄內村、豐津村、小曾根村、中豐島村、南豐島村、北河內郡守口町、中河內郡巽村、瓜破村、矢田村

（市街地建築物法適用）　○大.9.12.1.ヨリ大阪市ニ適用、大.9.11.17.勅令第540號

○大.13.4.1.ヨリ西成郡、東成郡ノ各全部、三島郡吹田町、千里村、豐能郡庄內村豐津村、小曾根村、中豐島村、南豐島村、北河內郡守口町、中河內郡巽村、瓜破村、矢田村ニ適用

大13.3.13.內務省告示第126號

（備考）○東成郡及西成郡各町村ハ大.14.4.1.ヨリ大阪市ニ編入

○都市計畫及同事業決定中ニハ變更ヲ省略ス以下同ジ

地域、地區（區域）指定變更年月日	都市計畫決定年月日	都市計畫事業決定年月日
○防火地區指定 大.12.10.1.ヨリ施行 大.12.7.13. 內務省告示第227號 ○防火地區追加變更 昭11.4.4.內閣認可	○大阪市區改正設計內閣認可、公告ヲ市長ニ訓令 大.8.12.23. 內務省訓令第857號 大.9.1.21.　右ヲ告示大阪市告示第1號	（第一次事業）（以下各項） ○街路ノ新設及擴張、街路鋪裝工事、路幅整理施行年度割、決定認可 大.10.3.19.內閣總理大臣公告 ○街路ノ新設擴張（阪神國道）並施行年度認可 大.10.7.1.內閣總理大臣公告

昭.11.4.29.ヨリ施行
昭.11.4.9.
内務省告示第188號

○防火地區追加指定
昭.13.3.8.内閣認可
昭.13.4.3.ヨリ施行
昭.13.3.14.
内務省告示第89號

○地域指定
大 14.5.1.ヨリ施行
大.14.4.6.
内務省公示第66號

○地域變更
昭.5.4.19.内閣認可
昭.5.7.1.ヨリ施行
昭.5.6.7.
内務大臣公告

○地域變更
昭.6.10.3.内閣認可
昭.6.11.1.ヨリ施行
昭.6.10.8.
内務大臣公告

○地域變更
昭.7.7.20.内閣認可
昭.7.8.10.ヨリ施行
昭.7.7.27
内務大臣公告

○地域追加變更
昭.11.5.18.内閣認可
昭.11.6.10.ヨリ施行
昭.11.5.21.
内務省告示第325號

○地域追加變更
昭.12.2.23.内閣認可
昭.12.3.18.ヨリ施行
昭.12.2.26
内務省告示第97號

○特別未指定地指定
昭.11.6.10.ヨリ施行
昭.11.6.5.
大阪府告示第591號

○風致地區指定
昭.8.4.10.内閣認可
昭.8.4.17.
内務大臣公告

○高速度交通機關路線決定
認可
大.15.3.29.
内閣總理大臣公告

○街路、運河、下水道、公園、墓地、決定
昭.3.5.29.内閣認可
昭.3.5,31.内務大臣公告

○河川改修（神崎川本線）
決定
昭.7.10.28. 内閣認可
昭.7.11.5.内務大臣公告

○街路（梅田驛前線外）及土地區劃整理〔大阪驛前〕
追加
昭.9.3.31.内閣認可
昭.9.4.21.
内務省告示第228號

○街路（阪神國道、船津橋筋線）追加
昭.11.4.16. 内閣認可
昭.11.5.8.
内務省告示第292號

○街路（曾根崎東西線）土地區劃整理〔大阪驛前第2土地區劃整理〕追加
昭.12.10.7. 内閣認可
昭.12.10.23.
内務省告示第638號

○街路ノ新設擴築、街路鋪裝工事、路幅整理、橋梁改築、施行年度割、決定認可
大.13.11.29.内閣總理大臣公告

（寢屋川附近事業）
○街路ノ新設擴築（寢屋川線）、施行年度割、追加ヲ認可
昭.2.4.11.内閣總理大臣公告

（大阪驛附近整理事業）（以下各項）
○街路ノ新設擴築（御堂筋線外）並施行年度割變更追加決定
昭.3.5.22.内閣認可
昭.3.5.26.内務大臣公告

○街路新設改築（梅田驛前線）、執行年度割、變更（追加）
昭.9.3.31.内閣認可
昭.9.4.21.内務省告示第229號

○土地區劃整理（大阪驛前）ヲ事業トシ三年以内ニ施行ヲ昭.10.4.22.命令
昭.10.4.24.内務省告示第302號

（第2次事業）
○街路ノ新設擴築、運河ノ新設擴築、執行年度割決定、昭.7.10.28. 内閣認可
昭.7.11.14. 内務大臣公告

（第3次事業）
○第3次事業(街路、既定街路鋪裝、橋梁改築、運河)、執行年度割、決定
昭.12.3.2.内閣認可
昭.12.3.10.内務省告示第115號

（高速度交通機關）
○高速度交通機關、施行年度割決定
昭.4.6.14.内閣認可
之ガ執行ヲ大阪市ニ特許
昭.4.12.28.内務大臣公告

（下水道事業）（以下各項）
○下水道、施行年度割、認可
大.11.6.3.内閣總理大臣公告

○第2期下水道事業、施行年度割、決定認可
大.13.5.29. 内閣總理大臣公告

○第3期下水道事業、施行年度割、決定
昭.3.3.28.内閣認可
昭.3.3.31.内務大臣公告

○下水處理事業、執行年度割、決定
昭.6.1.13.内閣認可
昭.6.1.19.内務大臣公告

○美觀地區指定
昭 9.12.7.內閣認可
昭.9.12.18.
內務省告示第610號

○市街地建築物法施行令第11條ノ規定ニ依ル建築物ノ高ノ最低限度ノ區域指定
昭.11.1.13.
大阪府令第5號

○第5期下水道事業、執行年度割、決定
昭.12.3.27.內閣認可
昭.12.3.30.內務省告示第161號

（府知事執行事業）（以下各項）
○街路ノ新設擴築（10放射路線）、施行年度割、追加決定認可
大.15.6.10. 內閣總理大臣公告

○河川改修（神崎川本川）、執行年度割、決定
昭.7.10.28.內閣認可
昭.7.11.5.內務大臣公告

○街路（足代線）、運河（敷津運河）、執行年度割、決定
昭.11.4.16. 內閣認可
昭.11.5. 8. 內務省公示第298號

（街路墓地事業）
○街路（平野瓜破線、曾根濱野田線）、墓地（北墓地、南墓地）、執行年度割、決定
昭.13.3.10. 內閣認可
昭.13.3.19.內務省告示第102號

堺都市計畫區域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第2條ノ規定ニ依リ堺市ヲ指定
大.12.7.1.ヨリ施行、大.12.5.29.勅令第276號

（區域決定）○堺都市計畫區域決定ノ件認可、大.14.2.12. 內閣總理大臣公告
○堺都市計畫區域變更、昭.13.3.22.內務省告示第103號

（區域內市町村名） 堺市、泉北郡濱寺町、五箇莊村、百舌鳥村、錦尾村（八田莊村地內ノ飛地ヲ除ク）、鳳町、南河內郡金岡村、北八下村、中河內郡天美村、布忍村

（市街地建築物法適用）○大.15.10.1.ヨリ堺市ニ適用、大.15.6.8.勅令第154號
○大.15.11.1.ヨリ神石村、濱寺町ニ適用
大.15.10.13.內務省告示第150號

（備考）○昭.13.2.11.神石村ヲ堺市ニ編入
○都市計畫區域變更ハ堺市、濱寺町以外ノ町村ヲ追加セルモノ

地域、地區（區域）指定變更年月日	都市計畫決定年月日	都市計畫事業決定年月日
○地域指定 昭.2.10.27.內閣認可 昭.2.11.15.ヨリ施行 昭.2.11.1. 內務大臣公告 ○地域變更 昭.7.1.27.內閣認可 昭.7.3.1.ヨリ施行	○街路決定認可 大.15.3.29 內閣總理大臣公告 ○土地區劃整理（淺香山町、香ケ岡町外）決定 昭.6.4.10.內閣認可 昭.6.4.16.內務大臣公告	○街路、執行年度割、決定認可 昭.2.1.24.內閣總理大臣公告 ○街路（遠里小野鳳線）、執行年度割、追加變更 昭.9.3.31.內閣認可 昭.9.4.21.內務省告示第227號 （府知事執行事業） ○防潮堤、執行年度割、決定

昭.7.2.1.
内務大臣公告

○地域追加變更
昭.9.12.12.内閣認可
昭.10.1.6.ヨリ施行
昭.9.12.17.
内務省告示第607號

○地域變更
昭12.3.27.内閣認可
昭.12.4.6.
内務省告示第205號

○風致地區指定
昭.7.11.18.内閣認可
昭.7.12.12.
内務大臣公告

○市街地建築物法施行令第14條ノ2ノ規定ニ依ル區域指定
（空地ノ最小限度）
昭.8.6.1.ヨリ施行
昭.8.5.22.
大阪府令第63號

○防潮堤決定
昭.10.3.28. 内閣認可
昭.10.4.11.
内務省告示第222號

○街路（堺驛北公園線外）土地區劃整理（元三寶村）追加
昭.10.3.28. 内閣認可
昭10.4.11.
内務省告示第227號

○街路（大濱古市線）運河（三寶運河）追加
昭.11.4.16. 内閣認可
昭.11.5.8.
内務省告示第293號

昭.10.3.28. 内閣認可
昭.10.4.11.内務省告示第222號

○街路（古川松屋線外）、執行年度割、決定
昭.10.3.28. 内閣認可
昭.10.4.11.内務省告示第228號

○街路（三寶向陽線外）、執行年度割、決定
昭.10.3.28. 内閣認可
昭10.4.11. 内務省告示第226號

○土地區劃整理（元三寶村）ヲ事業トシ3年以内ニ施行ヲ昭.10.4.11. 命令
昭.10.4.13.内務省告示第244號

（府知事執行事業）
○街路（三寶濱寺線）、執行年度割、決定
昭.10.12.3. 内閣認可
昭.10.12.13. 内務省告示第614號

（府知事執行事業）
○街路（大濱古市線、堺驛北公園線）、運河（三寶運河）、執行年度割、決定
昭.11.4.16. 内閣認可
昭.11.5.8. 内務省告示第299號

○街路（三寶向陽線）、執行年度割、決定
昭.12.3.27. 内閣認可
昭.12 3.30.内務省告示第170號

岸和田都市計畫區域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第2條ノ規定ニ依リ岸和田市ヲ指定
昭.3.1.1.ヨリ施行、昭.2.12.14.勅令第356號

（區域決定） 岸和田都市計畫區域決定、昭.5.4.15.内閣認可、昭.5.4.19.内務大臣公告

（區域内市町村名） 岸和田市、泉北郡忠岡村、和泉町ノ1部（大字小田）、泉南郡春木町、佐野町、貝塚町、山直町ノ1部、南掃守村、土生鄕村、有眞香村

（市街地建築物法適用）
○昭.3.4.1.ヨリ岸和田市ニ適用、昭.3.3.14.勅令第28號
○令第31條ノ規定ニ依リ岸和田市ヲ指定、昭.3.4.1.ヨリ施行
昭.3.3.15.内務省令第6號
○昭.10.4.11.ヨリ忠岡村、春木町、貝塚町、北中通村、佐野町ノ各全部及八木村、、山直下村、南掃守村、土生鄕村ノ各1部（府縣道小栗街道東側境界線以西、並ニ同境界線以東40メートルノ區域）ニ適用
昭.10.3.22.内務省告示第145號
○右告示第145號中「貝塚町全部」ヲ「貝塚町（舊木島村ノ區域ヲ除ク）」ニ改ム、
昭.10.5.25.内務省告示第350號

（市街地建築物法適用種別變更） 昭和3年内務省令第6號中「岸和田市」ヲ削リ同市ノ區域ニ對シテハ昭和7年内務省令第1號及第2號各附則ノ各第2項ノ規定ヲ適用セズ

昭.10.3.16. 內務省令第14號

（備　　考）○昭.10.4.15.木島村ヲ貝塚町ニ合併

○昭.10.7.1.山直上、下雨村ヲ合併シ山直町トナル

○昭.12.4.1.北中通村ヲ佐野町ニ合併

○昭.12.2.11. 八木村ヲ春木町ニ合併

○昭.13.3.3.土生郷村ヲ岸和田市ニ編入

地域、地區（區域）指定變更年月日	都市設畫決定年月日	都市計畫事業決定年月日
	○防潮堤決定 昭.10.3.28. 內閣認可 昭.10.4.11. 內務省告示第225號	（府知事執行事業） ○防潮堤、執行年度割、決定 昭.10.3.28內閣認可 昭.10.4.11.內務省告示第225號
	○防潮堤廢止 昭.11.3.30. 內閣認可 昭.11.4.6. 內務省告示第171號	（府知事執行事業） ○防潮堤、執行年度割、廢止 昭.11.3.30. 內閣認可 昭.11.4.6.內務省告示第171號
	○街路（國道16號線）決定 昭.11.4.16. 內閣認可 昭.11.5.8. 內務省告示第294號	（府知事執行事業） ○街路（國道16號線）執行年度割、決定 昭.11.4.16. 內閣認可 昭.11.5.8.內務省告示第300號

豊中都市計畫區域

（都市計畫法適用）　都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ豊中町ヲ指定、昭.8.12.28. 內務省告示第457號

（區域決定）　都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ豊中町ノ區域ヲ以テ豊中都市計畫區域トス

昭和.8.12.28.內務省告示第461號

（區域內市町村名）　豊中市

（市街地建築物法適用）　昭.10.4.11.ヨリ豊中町ニ適用

昭.10.3.22.內務省告示第146號

（備　　考）　昭.11.10.15.ヨリ豊中町、麻田村、櫻井谷村、熊野田村ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ豊中市ヲ置ク

昭.11.10.14.內務省告示第549號

地域、地區（區域）指定變更年月月	都市計畫決定年月日	都市計畫事業決定年月日
○地域指定 昭.11.10.14.內閣認可 昭.11.11.16.ヨリ施行 昭.11.10.27 內務省告示第574號 ○風致地區指定 昭.11.10.14.內閣認可 昭.11.10.27. 內務省告示第574號	街路、公園、地域、風致地區、決定 昭.11.10.14.內閣認可 昭.11.10.27. 內務省告示第574號	

三 鄕 都 市 計 畫 區 域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ三鄕村ヲ指定、昭.8.12.28. 內務省告示第457號

（區 域 決 定） 都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ三鄕村ノ區域ヲ以テ三鄕都市計畫區域トス
昭.8.12.28. 內務省告示第462號

（區域內市町村名） 三鄕町

（市街地建築物法適用） 昭.10.4.11. ヨリ三鄕村ニ適用
昭.10.3.22. 內務省告示第146號

（備 考） 昭.11.12.1. 三鄕村ニ町制實施

布 施 都 市 計 畫 區 域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ布施町、小阪町、彌刀村、長瀨村ヲ指定
昭.8.12.28. 內務省告示第457號

（區 域 決 定）○都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ布施町ノ區域ヲ以テ布施都市計畫區域トス
昭.8.12.28. 內務省告示第463號

○都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ小坂町ノ區域ヲ以テ小坂都市計畫區域トス
昭8.12.28. 內務省告示第464號

○都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ長瀨村ノ區域ヲ以テ長瀨都市計畫區域トス
昭.8.12.28. 內務省告示第465號

○都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ彌刀村ノ區域ヲ以テ彌刀都市計畫區域トス
昭.8.12.28. 內務省告示第466號

（區域內市町村名） 布施市

（市街地建築物法適用） 昭.10.4.11. ヨリ布施町、小坂町、長瀨村、彌刀村ニ適用
昭.10.3.22. 內務省告示第146號

（備 考） 昭.12.4.1. ヨリ布施町、長瀨村、小坂町、楠根町、意岐部村、彌刀村ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ布施市ヲ置ク
昭.12.3.27. 內務省告示第147號

地域、地區（區域）指定變更年月日	都市計畫決定年日日	都市計畫事業決定年月日
○地域指定 昭.12.3.29. 內閣認可 昭.12.4.19. ヨリ施行 昭.12.3.30. 內務省告示第165號 ○風致地區指定 昭.12.3.29. 內閣認可 昭.12.3.30. 內務省告示第165號	○小坂都市計畫（一團地ノ住宅經營）決定 昭.11.3.28. 內閣認可 昭.11.3.31. 內務省告示第145號 ○長瀨都市計畫街路（大阪八尾線）決定 昭.11.4.16. 內閣認可 昭.11.5.8. 內務省告示第296號 ○布施都市計畫（街路、公園、地域、風致地區）決定 昭.12.3.29. 內閣認可 昭.12.3.30. 內務省告示第165號	（小坂都市計畫事業） 一團地ノ住宅經營、執行年度割、決定 昭.11.3.28內閣認可 昭.11.3.31. 內務省告示第145號 （府知事執行事業） 街路（大阪八尾線）、執行年度割、決定 昭.11.4.16. 內閣認可 昭.11.5.8.

○小坂都市計畫（街路、公園、地域、風致地區）決定 昭.12.3.29. 內閣認可 昭.12.3.30. 內務省告示第166號	內務省告示第302號
○彌刀都市計畫（街路、公園、地域）決定 昭.12.3.29. 內閣認可 昭.12.3.30. 內務省告示第168號	
○長瀨都市計畫（街路、公園、地域、風致地區）追加決定 昭.12.3.29. 內閣認可 昭.12.3.30. 內務省告示第169號	

加美都市計畫區域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ加美村ヲ指定
昭.8.12.28. 內務省告示第457號

（區域決定） 都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ加美村ノ區域ヲ以テ加美都市計畫區域トス
昭.8.12.28. 內務省告示第467號

（區域內市町村名） 加美村

（市街地建築物法適用） 昭.10.4.11. ヨリ加美村ニ適用
昭.10.3.22. 內務省告示第146號

地域、地區（區域）指定變更年月日	都市計畫決定年月日	都市計畫事業決定年月日
地域指定 昭.12.3.29. 內閣認可 昭.12.4.19. ヨリ施行 昭.12.3.30. 內務省告示第167號	街路、公園、地域決定 昭.12.3.29. 內閣認可 昭.12.3.30. 內務省告示第167號	

高石都市計畫區域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ高石町ヲ指定
昭.8.12.28. 內務省告示第457號

（區域決定） 都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ高石町ノ區域ヲ以テ高石都市計畫區域トス
昭.8.12.28. 內務省告示第470號

（區域內市町村名） 高石町

（市街地建築物法適用） 昭.10.4.11ヨリ高石町ニ適用
昭.10.3.22. 內務省告示第146號

地域、地區（區域）指定變更年月日	都市計畫決定年月日	都市計畫事業決定年月日
	防潮堤決定 定昭.10.3.28. 內閣認可 昭.10.4.11. 內務省告示第223號	（府知事執行事業） 防潮堤、執行年度割、決定 昭.10.3.28. 內閣認可 昭.10.4.11. 內務省告示第223號

大津都市計畫區域

（都市計畫法適用）　都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ大津町ヲ指定
昭.8.12.28.內務省告示第457號

（區域決定）　都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ大津町ノ區域ヲ以テ大津都市計畫區域トス
昭.8.12.28.內務省告示第471號

（區域內市町村名）　大津町

（市街地建築物法適用）　昭.10.4.11.ヨリ大津町ニ適用
昭.10.3.22.內務省告示第146號

地域、地區（區域）指定變更年月日	都市計畫決定年月日	都市計畫事業決定年月日
	防潮堤決定 昭.10.3.28. 內閣認可 昭.10.4.11. 內務省告示第224號	（府知事執行事業） 防潮堤、執行年度割、決定 昭.10.3.28. 內閣認可 昭.10.4.11.內務省告示第224號

高槻都市計畫區域

（都市計畫法適用）　都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ高槻町ヲ指定
昭.8.12.28.內務省告示第457號

（區域決定）　都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ高槻町ノ區域ヲ以テ高槻都市計畫區域トス
昭.8.12.28.內務省告示第458號

（區域內市町村名）　高槻町

（市街地建築物法適用）　昭.10.4.11.ヨリ高槻町ノ1部（大字高槻、上田部、芥川、郡家、西天川、眞上、下、安満、別所、古曾部、土橋）ニ適用シ其ノ區域ヲ規則第149條ノ2ノ規定ニ依リ指定ス
昭.10.3.22.內務省告示第147號

（市街地建築物法適用種別變更）　○昭.10.5.22.ヨリ高槻ノ1部（右ニ同ジ）ニ規則第144條第2號乃至第4號ノ規定ヲ又左ノ建築物ニ對シ規則第7條乃至第23條、第25條、第26條、第27條第2項、第28條乃至第115條、第135條乃至第142條ノ規定ヲ適用ス
1.規則第143條第1號乃至第4號ノ建築物
2.細則第22條第4號乃至第8號ノ建築物
昭.10.5.22.大阪府令第33號
○高槻町ノ1部（右ニ同ジ）ニ特殊建築物耐火構造規則及特殊建築物規則ヲ適用ス
昭.11.12.18.大阪府令第107號

地域、地區（區域）指定變更年月日	都市計畫決定年月日	都市計畫事業決定年月日
	街路（大阪京都線）決定 昭.11.4.16.內閣認可 昭.11.5.8. 內務省告示第295號	（府知事執行事業） 街路（大阪京都線）、執行年度割、決定 昭.11.4.16.內閣認可 昭.11.5.8.內務省告示第301號

箕面都市計畫區域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ箕面町ヲ指定

昭.8.12.28.內務省告示第457號

（區　域　決　定） 都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ箕面町ノ區域ヲ以テ箕面都市計畫區域トス

昭.8.12.28.內務省告示第460號

（區域內市町村名） 箕面町

（市街地建築物法適用） 昭.10.4.11.ヨリ箕面町ニ適用シ其ノ區域ヲ規則第149條ノ2ノ規定ニ依リ指定ス

昭.10.3.22.內務省告示第148號

（市街地建築物法適用種別變更）○昭.10.5.22.ヨリ箕面町ニ規則第144條第2號乃至第4號ノ規定ヲ、又建築物ノ種類ヲ指定シ全法ヲ適用（高槻町ノ1部ト同文）

昭.10.5.22.大阪府令第33號

○箕面町ニ特殊建築物耐火構造規則及特殊建築用規則ヲ適用ス

昭.11.12.18.大阪府令第107號

池田都市計畫區域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ池田町ヲ指定

昭.8.12.28.內務省告示第457號

（區　域　決　定） 都市計畫法第1項ノ規定ニ依リ池田町ノ區域ヲ以テ池田都市計畫區域トス

昭.8.12.28.內務省告示第459號

（區域內市町村名） 池田町

（市街地建築物法適用） 昭.10.4.11.ヨリ池田町ニ適用シ其ノ區域ヲ規則第149條ノ2ノ規定ニ依リ指定ス

昭.10.3.22.內務省告示第149號

（市街地建築物法適用種別變更）○昭.10.5.22.ヨリ池田町ニ規則第144條第2號乃至第4號ノ規定ヲ、又建築物ノ種類ヲ指定シ全法ヲ適用（高槻町ノ1部ト同文）

昭.10.5.22.大阪府令第33號

○池田町ニ特殊建築物耐火構造規則及特殊建築物規則ヲ適用ス

昭.11.12.18.大阪府令第107號

地域、地區（區域）指定變更年月日	都市計畫決定年月日	都市計畫事業決定年月日
	街路（池田龜岡線）決定 昭.11.4.16.內閣認可 昭.11.5.8. 內務省告示第297號	（府知事執行事業） 街路（池田龜岡線）、執行年度割、決定 昭.11.4.16.內閣認可 昭.11.5.8.內務省告示第303號

長野都市計畫區域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ長野町ヲ指定

昭.8.12.28.內務省告示第457號

（區　域　決　定） 都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ長野町ノ區域ヲ以テ長野都市計畫區域トス

昭.8.12.28.内務省告示第469號

（區域內市町村名） 長野町

（市街地建築物法適用） 昭.10.4.11.ヨリ長野町ニ適用シ其ノ區域ヲ規則第149條ノ2ノ規定ニ依リ指定ス

昭.10.3.22.内務省告示第150號

（市街地建築物法適用種別變更）○昭.10.5.22.ヨリ長野町ニ規則第144條第2號乃至第4號ノ規定ヲ、又建築物ノ種類ヲ指定シ全法ヲ適用（高槻町ノ1部ト同文）

昭.10.5.22.大阪府令第33號

○長野町ニ特殊建築物耐火構造規則及特殊建築物規則ヲ適用ス

昭.11.12.18.大阪府令第107號

柏原都市計畫區域

（都市計畫法適用） 都市計畫法第1條ノ規定ニ依リ柏原町ヲ指定

昭.8.12.28.内務省告示第457號

（區域決定） 都市計畫法第2條第1項ノ規定ニ依リ柏原町ノ區域ヲ以テ柏原都市計畫區域トス

昭.8.12.28.内務省告示第468號

（區域內市町村名） 柏原町

（市街地建築物法適用） 昭.10.4.11.ヨリ柏原町ニ適用シ其ノ區域ヲ規則第149條ノ2ノ規定ニ依リ指定ス

昭.10.3.22.内務省告示第151號

（市街地建築物法適用種別變更）○昭.10.5.22.ヨリ柏原町ニ規則第144條第2號乃至第4號ノ規定ヲ、又建築物ノ種類ヲ指定シ全法ヲ適用ス（高槻町ノ1部ト同文）

昭.10.5.22.大阪府令第33號

○柏原町ニ特殊建築物耐火構造規則及特殊建築物規則ヲ適用ス

昭.11.12.18.大阪府令第107號

都市計畫は教育機關計畫をも包含すべきなり 1)

コロムビア大學　師範部教授　エヌ・エル・エンゲルハート

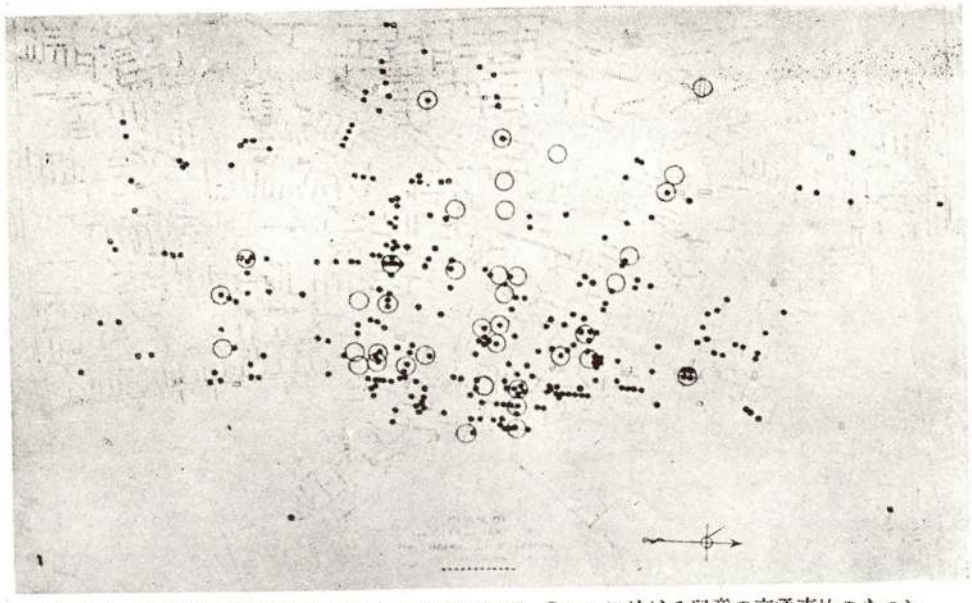
都市計畫家の理想も教育機關計畫家の理想も甚だ似通つて居るのが普通である。即ち兩方共に社會の福利增進に關して要望して居るところのものは都市をして魅力あるものとなす爲め、地形による自然の等高線及自然の美さと云ふものを損ぜずにそれ等自然の魅力をばそのまゝ計畫に取り入れることであつた。そして都市騷音、交通危險及其の他の望ましからざる狀態から解放される事を要望して居るのであつた。彼等は各々個人が幸福を獲ち得るばかりでなく社會、經濟及人智の發達の爲いづれも利益を提供する樣な環境を創設する建設的な都市構築を望んで居るのである。即ち彼等が開發を求めて居るのは、例へば學校、博物館、圖書館、公園及遊園地等を施設し、或は又利用し得る樣な〰やり甲斐のある事務局*の發達を求めて居るのである。殊に公園及遊園地の如きものは市民の大部分に利用され得るものである。彼等は國民の社會的並に智的向上に關する產業及經濟上の相互關係に開發の重點を置いてゐる。是等に活動する人々は永久的にして不朽なる魅力を持ち且つ人間的欲望に對する實用性（Service bility）に就てより高次な社會開發を要望して居るのであるであるから我國の都市計畫家と教育組織との間に、より緊密なる理解がなければならぬ。即ち都市計畫委員會（City planning commission）は學校が何を成しつゝあるか、そして又更に何を成すことを望んで居るか、と云ふことの眞價を學ばねばならないのは勿論であるが、又一方學校當局者に於ては、社會の凡てに相互的關聯を有すかゝる建設計畫の要求するところのものに、充分なる考慮を拂ふ必要がある。

學校計畫を進捗さす爲、都市計畫委員會若くは地域制集團（Zoning group）は更に多く助成機關を準備する筈である。地域制、豫定街路開發計畫案及橋梁の取付又は交通機關の迂廻する高低分離（Grade separations）等に關する地圖は、敎育機關計畫に取つては、無價値な報告を齎すものである又實際、現在並に將來に對して、教育機關と云ふものが何んであり、何處に配置さるべきものであり、そして是等の敷地が一般的社會目的として學校が如何に利用さるべきものであるか、と云ふことに就ての全面的理解なしに、是等の地圖が如何程多く用意さるべきかを思考するのは困難である。

交通危險と災害に關する地圖〰此處に採錄した樣な〰（第1圖參照）が、都市問題研究の一部門としてHartford學校管理局（Hartford school admministration）によつて用意されてある。土地利用圖（Land-use map）は住宅及人口の推移を示す地圖と同樣に、何處の都市でも周期的に作成すべきである。如斯顯著なる事實は、學校建築の要求を進めるところの唯一の建設的根據を形成する助けとなるであらうといふことは全く明確なことである。

1) N. L. Engelhardt; City Planning Should Include School-Plant Planning: American City. March, 1538. P.53.

* Worth-while agency



第1圖　本地圖の點で表はして居るのは Hartford, Conn. に於ける兒童の交通事故のあつた場所である。圓で表して居るところは危險が多くあつた交叉點のところである。學校當局者は是等の事實を兒童の通學に對して最も有利化せんとして居つたのである。此の問題に關する絕えざる研究は校舍の配置と事故の輕減に關する補助として根本的に利用すべきである。勉學時間と同樣に勉學後餘暇利用計畫として各學校近隣にある充分なる面積の遊戲場を用意することは就學兒童の大多數がかゝる事故に捲きこまれることを輕減するのに相當な意義を有するものである。

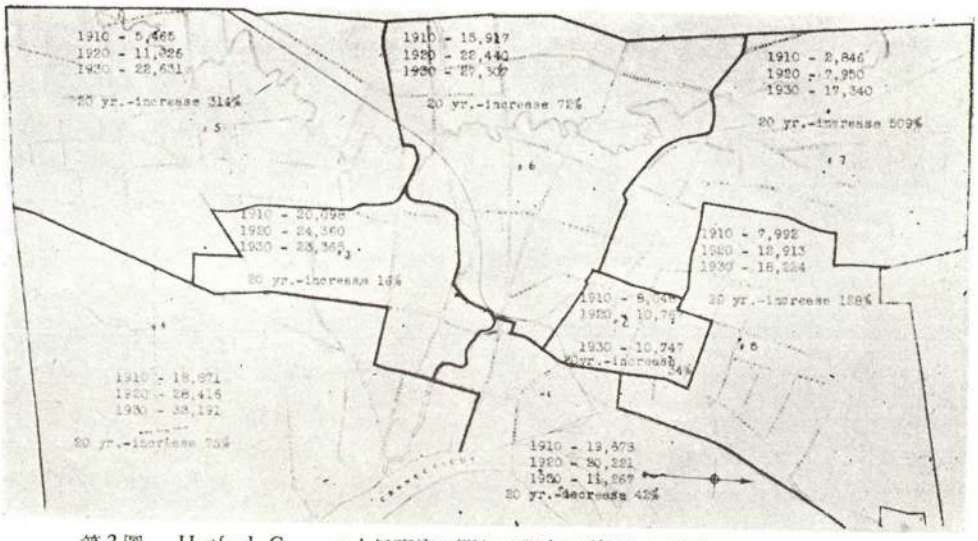
過去に於ける多數の教育機關計畫は根本的に過失であつたといふことが出來る。即ち學校建築は人口の存在するところに配置されてあつたのであるが、其處は人口に對しての住宅計畫がされてない結果として、人口過密を招來し、家庭と云ふものが壞れるとスラムの發生となり、そして都市に多少なりとも永久的な腐爛した場所（Sovespot）を創り出すといふ事になつたのである。都市及學校計畫家も、共に次の原則に就て學校を計畫すべく、はたして望むべからざるものであるかどうかを深重に考慮すべきである。〰人口の集中すべきところに充分な敷地と建物の位置を選定し、そして學校を結局不健康な住宅地に配置するといふことよりむしろ、住宅地として發達して居るところが通學區域となる樣にする事。〰〰此の原則の實行は自治體（Community）の價値を增加することになるであらう。若し不健康地に學校が配置される場合には、先づかゝる土地から老朽した古い稠密して存在して居る住宅は破壞して取り除いてその代りに新しい學校と住宅の再建と云ふことが必要となるのである。勿論如斯方法は、人類生存の必需に關して充分なる計畫及考慮が拂はれてない我々の都市の何處でゝも必要なことであらう。

豫想人口の趨勢

豫想人口（Estimating population）の發達と云ふことは、多くの困難を提供すると雖も、かゝる豫想は將來の計畫を行ふ場合には作成されねばならない。N. L. Engelhardt氏と Fred, Engelhardt 氏とは彼等による著書〻學校建築の豫定計畫〻に於

2) Engelhardt, N. L., and Engelhardt, Fred : "Planning School Building Program," P. 56. Breau of Publications, Teachers College, Columbia University, 1930.

て是等の問題に對して、只單に "增加の影響を與へる" (Booster) 方法に過ぎないと云つて非難して居り、之に就ては人口の變化が反映する經濟的變動の測定法を採用するのがむしろ善いとして次の如き項目を提供して居る。即ち課稅の査定價格、銀行の收支、銀行の預金、建築許可の價値、鐵道乘換人口の變動、郵便の受領、電話局 (Telephone service station) 瓦斯メター、下水施設の擴張、上水のメター及建築許可等の要素は個々別々に分離して取り擧ぐべきものにあらずして、むしろ常に繼續的に相互に關聯せしめて扱はねばならぬ要素である。而して教育局(Board of education)の學校計畫部は是等のデータを包含して變化して行く記錄を絕えず取つておくべきである。



第2圖　Hartford, Conn. の人口研究に關して調査に利用した區域。
是等の區域は様々な豫想人口研究に關して利用された區域から形成されてゐる。
本圖は 1910 から 1930 まで是等區域に於ける人口の變動を示すものである。

社會の根本的要求と理想

學校管理局當局者は確定的な教育政策を採用する事なしに教育機關計畫を發展せしめる事は出來ない。是等の政策は、自治生活の常識及發達の課程と自治教育の抱負等から發展すべきものである而してその根本的原理は、敷地の大さ、其の上に決められた用途、建物の一般的性質、內容の特質及公益への便宜と利用の程度等に影響を與へるであらう。就學人口の絕え間ない研究、等級的及地理學的地區 (Grades and geographic areas) 等は勿論善き學校管理事務局の仕事として記錄されねばならないのであるが、同時に建設さるべき土地の評價に關する事柄をも記錄されねばならぬ。學校の各形式の爲の建築規模に對する政策に關しては充分討論された後決定さるべきものである。財政計畫の詳細に就ては、明確に手許で用意さるべきである。　公立及私立の學校の分布圖 (Dot and spot map) は、教育機關に關する動向を示すのに屢々助けになるものである。學校調査の資料 (School census data) は21歲までの者が集團的に學ぶ研究科 (Post-school) と同樣に豫科をも含めて、適切な地方的解釋を可能ならしむる樣な方法で記錄されねばならない。今日多數の學校組織は小學校の遞減を示して居り、その反對に高等學校への人口は急激なる增加を示して居るのである。そして殊に豫科 (Pre-school) 年齡に於て最も著しいのである。そこで、教育機關計畫として決定さ

れねばならぬ是等の趨勢への意義が發展して來て若し學校建築と云ふものが豫想的要求よりむしろ現實的な事實に對して行はれるとするならば、是等の趨勢に代るべき變化が知られて居らねばならぬと云ふ樣になつて來た。

社會及個人に影響する學校建築の効果

學校を建築するといふことは、さう輕々しく引き受けらるべきものでない。それは納稅者の金による大なる投資を意味するからである。而もその事が十年以上も、多數の個人生活に影響を與へるものであり、而もその特質は、教育計畫の特殊性を決定して居るものであらう。此の點を考へる時工事進行中の建物は、嬲て自治生活と社會の發展に無言の影響を與へるであらうと云ふ事は出來る。多くの場合、自治體にありては、學校建築とそれに伴つて行はれる諸計畫とは、熱心なる新居住者を持ち來たらすものであるが、又その反對に他の自治體に於ては、學校建築とそれに伴つて行はれる事業が、よい事を希望して居る住民と彼等の家族をば放逐して居るところもある。萬全なる方法を徹底的に指導すべき根底のある原則（Under-laying principle）とは人類が智的、社會的及經濟的發達を可能ならしめるであらうところの生活條件に對し與へらるべき稱號である。兒童と云ふものは、眞直に出發すべきものであり、且つ彼等は周圍の發達に對してあらゆる機會が與へられねばならないし、彼等の家族が無關心ではあるが兒童の生活は、內容に於ても、拘負に於ても或は又發達に於ても滿足すべきものであらねばならないのであるから、都市の環境、學校の敷地及學校建築の特質と云ふものは、屢々兒童の幸福と成就の機會を與へたり、破壞したりすることは洵に甚大なものである。

備考　本論文は、1938版〻米國の學校及大學年鑑〻（The American School and University Year book）のなかで、Engelhardt 博士によつて更に抱括的取扱はれて居るもの〻抜萃である。（龜井幸次郎）

St. Paul に於ける區劃整理進捗する[1]

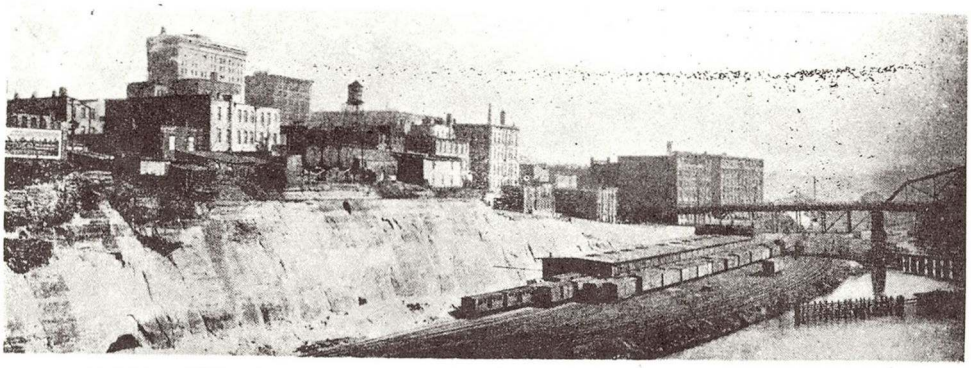
ジョーヂ・エツチ・ヘロルド

St. Paul は漸次區劃整の完成した都市となりつ〻ある。如斯結果は、1919年に組織された都市計畫局の活動によつて正に招來せしものである。1920年には、そのスタツフと顧問との決定を見たのであるが、都市の要求に關する調査研究を進める爲50.000弗の經費を更に計上したのである。

毎年適當な而も甲斐のある計畫が提供されると直ちに認可が下り、そして實行に移されたのである。1928年には16.000.000弗の公債の發行が、要求されて居る改造を促進なすことに關する投標者によつて認可された。而も此の經費が不景氣の場合の緩和費として役立つものであるが、此れがSt. Paul に集まるまでには、州に於ける他の部分より2年も後であつた。

最近市によつて行はれた多くの改良事業の內で現今 Kellogg Boulevard として知られて居るのは、舊第三通りの開發事業であつた。此の第三通りと云ふのは第2通りとleveeを〻道路と河との間に持つ

1) Geoge H. Harrold: Replanning Move Forward in St. Paul: American, City; March, 1938. P. 41.



第1圖　1925年頃の西方より眺めた St. Paul River Front である。

川邊の砂岩より成る崖地を形成して居る頂上に沿ふて走つて居る綠の道路であつた。St. Paul の商業地域は1849年に制定されたもので、それはSt. Louis の商業地域と同樣なものであつた。自動車事故に關しては、小賣商店街[*1]の如き狹い部分と Block area に至る通り（Street to block area）のところでは、その割合29：71にして、かゝる割合は變更さるべきものであつた。今日では、希望して居る割合35：65に漸次接近しつゝあるのである。1870年に到り第三通りは幅員が43呎から57呎に擴張されたのであるが、最後の數年間には、都市計畫の豫定に基いて、再び擴張され 192呎もの幅員を有する樣になり、道路と崖の頂上部までの間にある土地は花壇（Parterre）に改造されたのである。第三通りが卸賣地區のスカートに屬する部分の小賣商店街を持つた綠の通過道として擴張さるべく開發中であつた時、交通整理所[*2]を此の地域の凡ての道路に對して創設仕樣としたのであつた。都市全體の價値（City-wide value）を考へて、此の交通整理所を建設する代りに、兩方まで高架道が 850.000弗で構築され、東部に於ては商業地域から河岸の低い下部のところまで、運輸機關を運ぶべく斜道（Ramp）が構築され、其處で交通系統が敏速に捌かれる樣になつて居るのである。

第三通りと平行に、砂岩の崖を切り取る事は嘗第二通りを蒸汽船乘場まで下げおろすと云ふことである。此の道路を越えて鐵道が敷設される以前まではミネソタと北西領域の發展を刺戟した如何なる荷物でも或は又凡ての食料品とウイスキー等は、いづれも犬橇及牛車などによつて引張り運搬されないものはなかつた。花壇（Parterre）は幅員を決める代りに擴張され、而も此の擴張は第二通りの外端に沿ふて柱の上部のところまで行はれて居る。

評價し得る利益

Kellogg Boulevard は小賣商店街へ道路を分配する作用をなすが故に、小賣商店街は道路に沿ふて土地と建物を收用する經費の爲の課稅(Assessed)が行はれた。此の土地價格は 1.220.000弗にして稅額は Kellogg Boulevard から第四、第五、第六及第七通りに到るに從つて漸次遞減して行き、第七通りの土地所有者達は間口1呎に付10弗を支拂つて居るのである。體位向上（The physical improvements）施設に關する經費は、稅金と公債發行によつて補はれて居つたのである。今日までの Kellogg Boulevard の總改良費は、高架道の分を除き、2.746.000 弗であつた。斜道を持つ西端部は完成したばかりで、此の經費 700.000弗は發行した公債のなかから支拂れた。

[*1] Retail distract　　[*2] Distributor



第2圖　St. Paul River Front に沿ふて破壞作業中の部分
第2通りは左側、第3通りは右側、此の寫眞を撮影した頃は未だ背景となる建物の建築工事は起されてなかつた。

はサーヴスビルヂング即ち The Union Deport 聯邦ビル、市廳舍及裁判所婦人都市倶樂部、電話局、Hill Reference 圖書館、公立圖書館、ミネソタ倶樂部及 St. Paul 公會堂等が建ち並んで居るのである。Union Deport は 1918 年に建築されたものであるが、他の凡てのビルは凡て最近建築されたものである。（龜井幸次郎）

St. Paul に於ける計畫局（Planning Board）は顧問機關(Advisory body)である。設計圖は根本的研究と、行政機關に從つて準備されるのである。事業の認可を得ると、設計圖と仕樣書が主任技師によつて用意され、そして建築工事は彼の監督下にある工事部によつて實行されるのである。

今や St. Paul の後庭は前庭に代つたのである Kellogg Boulevard 沿ひに



第3圖　新設の St. Paul River Front：Kellogg Boulevald の川邊側に沿ふた建物は世界で一番最大な法律書發行會社（Law-book publishing company）を構成し、此の點で分離道路が除かれ、而も駐車規則に從つて一見瓶の首の樣に趣きを添て駐車して居る。最近完成した斜道は寫眞前方左側のものである。

Holman 空港に對し St. Paul では公債を發行す

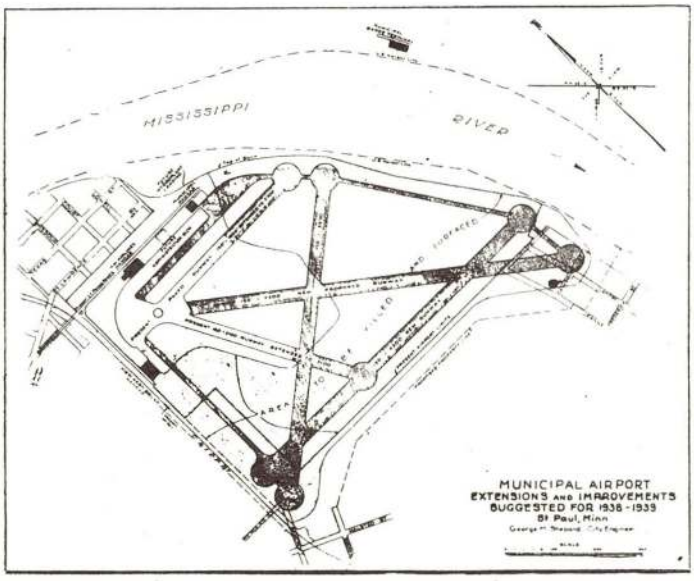
航空機の發達に伴なつて、新しい大型飛行機のための離着陸揚を準備することが出來ないと云ふことから、都市空港が使用不可能になるといふ心配におびやかされて居つたので、ミネソタの St. Paul（St. Paul, Mimm.）市民は、Holman 空港の改良事業に對し、特別建設費に充當するため435.

000弗の公債發行を決議したのである。地方的に決定した此の建設基金に對し、着陸揚改良への聯邦政府の割當總基金 1.394.000弗の内から若干保證割當金として付加へられる譯である。

商工省及逓信當局者は最近 St. Paul 空港を大陸横斷航空郵便ルートから除外し、結局、二都市（Twin City）への大輸送ルートの用途に充てる一航空路に振替へられたのである。そして St. Paul からミネアポリスまでの就航が開始されたのであるが、空港の諸設備としては大型航空機關として好適なものである。

11月16日の選擧前殆んど一ケ月の間、intensive campaign を管理して居つた公債發行支持者達は、他の多くの問題のなかゝら、若しも航空施設が廢止される様になるとするならば、北西への航空郵便中央分配所としての地位を、都市は失ふ危險にさらされて居ると云ふことを指摘して居る。公債發行による 1.829.000弗と聯邦による補助金とは、走行路を延長したり又は擴張したり或は走行路新設の爲めに使用されるであらう。改良事實完成に於ける最長の走行路は 5.300呎と 4.300呎のものであらう。3 つの新設走行路が本事業計畫の一部分として建設されるであらう。

公債發行贊助に關する特別選擧は、改良事業に對して 3から2 の利益を示して居る。總投票數は僅かに 40.000票に過ぎないものであつた。（龜井幸次郎）



米國合衆國に於ける空港及着陸場の狀勢　1938年1月1日現在

州名＼用途別	都市用	商業用	中間着陸場	補助着陸場	海軍	陸軍	雜用	總計	夜間配光裝置のあるもの
アラバス	10	2	7	14	0	3	1	37	11
アラスカ	1	2	0	87	0	0	0	90	2
アリゾナ	10	5	9	19	0	1	0	44	17
アカンサス	12	1	4	8	0	0	1	26	7
カリフオルニア	51	41	19	46	5	4	15	181	63
コロラドウ	12	4	3	14	0	0	0	33	6
コンネクチカット	7	6	1	3	0	0	1	18	7
デラウオア（Delaware）	1	3	0	1	0	1	0	6	3
デストリクトネヴコロンビア	0	1	0	0	1	1	0	3	3

フロリダ	48	14	4	48	5	1	5	125	28
ヂヨヂア	23	3	11	21	0	1	0	59	19
アイダオ（Idaho）	18	0	10	11	0	0	9	48	15
イリノイ	13	30	6	0	0	2	3	54	26
インヂアナ	12	14	3	7	0	2	4	47	20
アイオワ	16	6	3	6	0	0	1	32	10
カンサス	21	5	5	9	0	2	0	42	15
ケンタツキー	7	0	3	7	0	1	0	18	4
ルイヂアナ	12	1	3	10	0	1	3	30	8
メイン	9	7	0	5	0	0	1	22	4
メリーランド	2	8	1	1	1	3	3	19	8
マサチユセツツ	7	19	1	8	1	0	0	36	9
ミチガン	57	12	0	16	1	3	35	124	23
ミネソタ	10	3	3	14	0	1	0	31	9
ミシシツピー	13	0	6	12	1	0	0	32	11
ミゾリー	10	5	13	4	0	0	5	37	19
モンタナ	25	0	13	26	0	0	10	74	18
ネブラスカ	16	3	4	5	0	2	1	31	16
ネバタ	3	3	9	6	1	0	0	22	12
ニユハムシヤー	6	2	0	5	0	0	0	13	3
ニユヂヤシー	5	11	0	1	2	2	1	22	8
ニユメキシコ	5	4	10	12	0	1	3	35	13
ニユヨーク	28	33	4	13	0	4	7	89	27
北カロライナ	12	5	3	6	0	1	0	27	9
北ダコタ	18	3	5	14	0	0	1	41	9
オハヨ	31	34	9	24	0	4	12	114	23
オクラハマ	19	5	7	8	0	1	0	40	22
オレゴン	12	3	9	10	0	0	2	36	16
ペンシルヴエニア	19	57	9	10	1	1	12	109	38
ロードアイランド（Rhode Island）	0	2	0	3	1	0	1	7	1
南カロライナ	10	3	4	7	3	0	2	29	7
南ダコタ	17	2	0	4	0	0	0	23	1
テネツシー	12	1	8	5	0	0	0	26	13
テキサス	54	9	24	24	0	13	1	125	50
ウタ（Utah）	6	1	17	2	0	0	0	26	19
バーモント	7	3	0	1	0	1	0	12	1
バーヂニア	10	10	8	10	2	1	2	43	17
ワシントン	22	7	6	6	1	3	4	49	15
西バーヂニア	10	5	0	8	0	0	1	24	3
ウイス・コンシン	21	16	4	6	0	0	2	49	18
ワイオミング	14	0	10	15	0	0	0	39	13
合計	764	414	283	602	26	61	149	2299	720

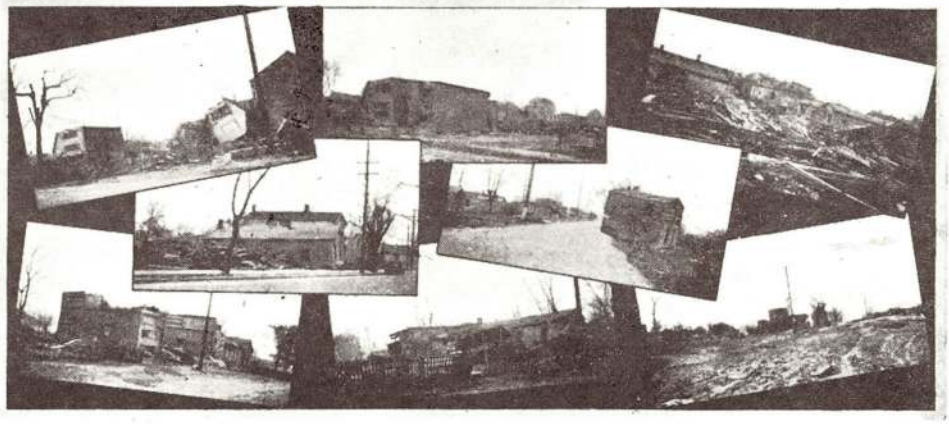
備考　1938年1月、商業航空局（Breau of Air Commerce）の最近の數によれば合衆國に於ける空港並に着陸場は總計 2.299 を數へる。（龜井幸次郎）

* Municipal Arports; Airports in the United States; American City. March, 1938. P. 13.

Louisville市に於ける河邊地區改良計畫 註1

エツチ●ダブリウ●アレキサンダー

延長11哩以上に亘つて Louisville 市街の外周を流れる Ohio 河は、全く此の市にとつて最大の財産であり、同時に最大の負債である。此の河は商業の大動脈であり、上水道の源泉であり、下水の好適な處理場であり、主なる休養慰安の利便を與へるものであるが、同時に人命と財産とにとつて周期的な脅威をも與へるものである。斯の如く、Lovisville 市と Ohio 河との關係は非常に密接なものであるから、市民にとつて河の全面的な利用と享有とが獲得せられるまでに、多くの重大な問題が解決されなければならない事は明かである。此の問題が局地的問題よりももつと大きなものであることは全く明白な事である。即ち、洪水調節、航行、下水處理等の問題は 全 Ohio 河峽谷に亘る全般的な大計畫によつてのみ解決されうるものであつて、其の様な計畫を効果的にする爲には、國家、州及び地方代表者の協力が必要缺くべからざるものである。局地的に考へれば、勿論問題は本質的には、鐵道關係、水運、地域、道路計畫、公共施設等を含む一つの都市計畫である。



第1圖　Louisville 市に於ける、1937年大洪水の跡

蒸氣船[註2]時代にあつては、此の市の商業活動は堤防の近くに集中してゐた。

しかし水路交通の衰退につれて商業は河より後退して、河邊地區の中心部は河岸沿ひの建物や、鐵道敷地や、砂とか石炭會社といふ様な種々雜多な工場群から見捨てられたのである。

Louisville 市の "Ohio 瀧" にあるダムの建設により一部完成をみた全 Ohio 河の運河化工事は、Ohio 河の全長に亘つて幾連もの池を作る結果となつた。Louisville のダムの上流にある池は格別な水邊慰安施設を提供してゐる。殊に河に流入する下水管より上流の方では著しくその利用を增大

註1　H. W. Alexander : "Louisville Plans Riverfront Development" The American City. December. 1937. P. 59.

註2　Steam Boat

せしめてゐる。ダムより下流、市街の西方境界部分では、河のこの部分より上方で下水淨化處理が行はれてゐる爲に、水邊慰安施設は禁止されてゐる。一ケ年以上に亘つて、市は河邊地區の可成の部分の所有權を漸次獲得した。公園局の先見の明ある行爲は、2つの大きな河邊公園を創り出し、且つ現在諸種の用途に供せられてゐる可成の諸權益を獲得する結果となつた。河邊の全長11哩の中殆んど5哩といふものが現在市の所有に屬してゐる。

數年前、Horland Bartholomew 氏の協力を得て都市計畫委員會によつて準備された廣大な河邊地區改良計畫は、强力な工業發展の起つた二、三の地區を除いて、全河邊に亘るこの土地公有權の擴張を用意してゐる。此の計畫は商業地區の向ひ側に中央廣場を創ることや、附隨する河邊公園の開發や、市街の一端から他端へ向つて連なる河邊ドライブウエイの建設等を計畫してゐる。此の後者の計畫は、中央河邊地區を横切つて色々な鐵道敷地に跨り、中央廣場に連接し、現在市の東西部分に延びてゐる廣大な公園道路に連絡する高架道路の建設をも含むものである。此の計畫の準備に際して、河の洪水敷[註3]は住居とか、商業とか、又は或種の工業には適しない場所であるといふ事が認められた。公園とかその他の公共施設に變更することによつて之等の使用目的を漸次消滅させることは推賞すべき事であり、公共の利益にも適ふものであるといふ事が認められて、今や此の方針はこゝ數年來效果を擧げ來つたのである。計畫が樹てられた時に、過去の洪水に關する歷史が研究されて、洪水の循環的な再起は避けられないものであることが認められた。勿論、何人と雖もあの非常な災害を及ぼした1937年の大洪水——あらゆる以前の最高記錄を約10呎も高く破つた——の如きを豫知することは出來ないのではあるが。

河の洪水敷を居住その他の用に利用するといふ事の愚行なる事は、1937年の1月に起つた災害によつて決定的に示されたのであつた。そして直ちに市當局によつて、住居建築や修繕の禁止を命ずる地域法令の改正により、之等の地域を住居用に供する事から免がれしめるべき第一歩が踏み出されたのである。此の運動は、公園にする爲にその權益を獲得するといふ計畫と非常に密接な關係があつたので、不成功に終つた。市がその土地所有者達に賠償をしないで公園計畫用の土地を獲やうと試みてゐるのだとか、或ひは亦、河沿ひの數多くの家々を破壞し去つたあの洪水によつて惹起された困窮につけ込まうとしてゐるのだとか云ふ聲が反對論者達によつて叫ばれた。

計畫された一定範圍の地域内に含まれる全權益に對して支拂はねばならない準備資金の缺乏によつて、計畫の變更が必要となつた。最初の地域は縮少された。そして計畫地域變更に關する一層の考慮は放棄されねばならなかつた。言ふまでもなく、洪水は市の財政を非常に傷めつけてしまつたし、公債發行を議決するに充分な時間さえもなかつた。しかもとにかく何等かの事が直ちに始められなければ、歷史は再び繰返へされて、壞された家々の跡に又新らしい家々が建てられるに決つてゐるのであつた。

市長 Nevill Miller氏の提唱により、一定の公共準備金が役立てられた。即ち、上流の河邊公園として計畫された地域の中に含まれてゐる "Point" といふ名で通つてゐる部分の權益を買收する爲に緊急時の保證により、約50,000弗といふ金額が用ひられることになつた。此の地域の中には546戸の家があつたのであるが、それらの中 308戸は完全に破壞され、162戸は修復出來ない程に壞されて居り、75戸のみが辛うじて修復し得る程度であつた。此の特別な地區は市街の入口に當る部分に

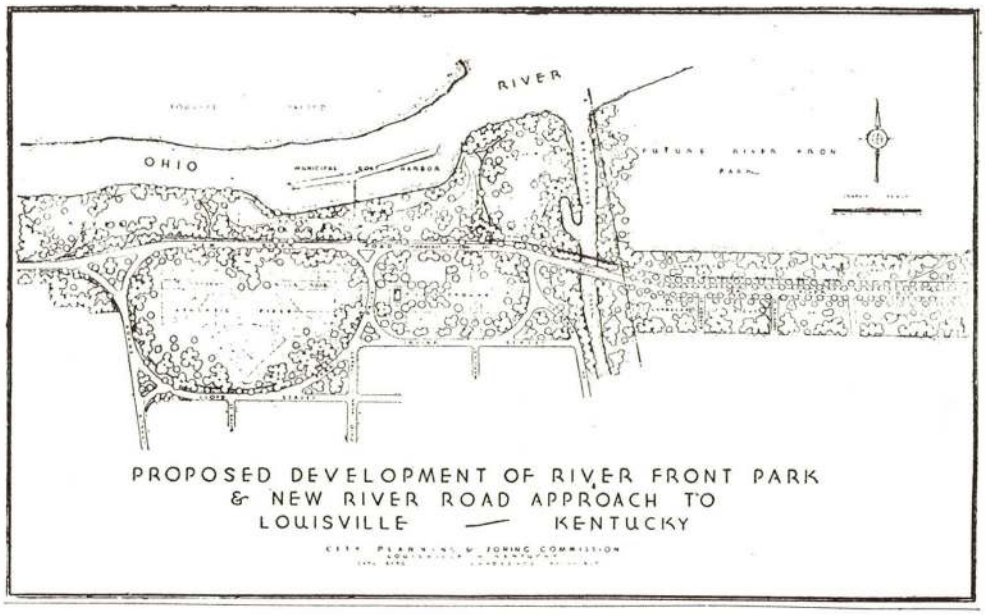
註3　Flood plain of the river

位して居り、Cincinati 市及び東方の諸中間地方からの交通路が市の中心部へ向つて走つてゐるその途上に位してゐるのである。幾年もの間、此の地區は安物のレストランとか、ガソリンスタンドとか、ビール・バーラーとか云つた様な種々雑多な目的を以て開發されて來たのであつた。計畫されたプランは之等の邪魔になる用途のものを抹殺し市街の入口として素晴らしいものを作り、更に市の最北部の人口稠密な部分に對して非常に必要な休養慰安施設を創造するであらう。現在權益買收中の地域は殆んど50エーカーに達し、その大半は10月15日に獲得せられたものである。全權益の獲得に要する總額は、130.000弗に達するであらうと見積られてゐる。此の地域の開發計畫は、事業進捗局部の計畫として作られてゐるのである。

計畫は澤山の困難に遭遇したが、その中でも立退かねばならない地域に古くから住んでゐる二、三の人達の反對が一番主なものであつた。此の反對は、遂に市に對して禁止令に關する訴訟の提起となつたが、市は公園にするといふ目的によつて權益を收用することの合法性に就いて爭つた。

Kentucky 州控訴院も、全面的に市を支持したそれ以下の裁判所の判決を確認した。可成の無免許開墾地があつたので、いくらかの權益に對しては明白な權利を確認する事が困難な場合にしばしば出くわした。

此の開發事業が成功裡に完成することは、恐ろしい災害を及ぼす洪水の起る河沿ひの市街地に於て、河沿ひの洪水敷の中にある權益に對して週期的に起る災害を減少させる爲には、如何なる事が爲されうるかといふ事を、廣く一般に示すのに非常に有効に違ひないと思はれるのである。1936年及び1937年の災害が再び繰返へされることから護る爲に、局地的な洪水防護工事を建設すべく Louisville 市及びその他の Ohio 峽谷の諸都市に於て色々と計畫が進められつゝある。すべての計畫された堤防や護岸壁は、洪水中も河の流れを過度に壓迫しない様に、普通の河床位置から充分な距離をおいて、後退して建設されるだらう。此の事は之等の都市の可成大きな面積の部分を防護なしに捨てゝおくことになる。であるから市が、公園に變更する事やその他の公共目的に使用する爲に、全權益を獲得しなければならないのは、實に此の地域の中の事なのである。（堀内三郎）



第2圖　Louisville 市に於ける河邊地區改良計畫圖

註 4　Works Progress Admnitrastion.

チユリツヒと郊外市町村に關する建設計畫と綠地(註)

カール ヒツペン メヤー

1928年2月號の〝住居狀況と都市計畫に關する國際的報告〟が齎した、所謂〝スイスに於ける都市擴張の建築學的制限〟(Dr, jun, H. Peter, Zürich)なる論說を此處に引用する。W. H.

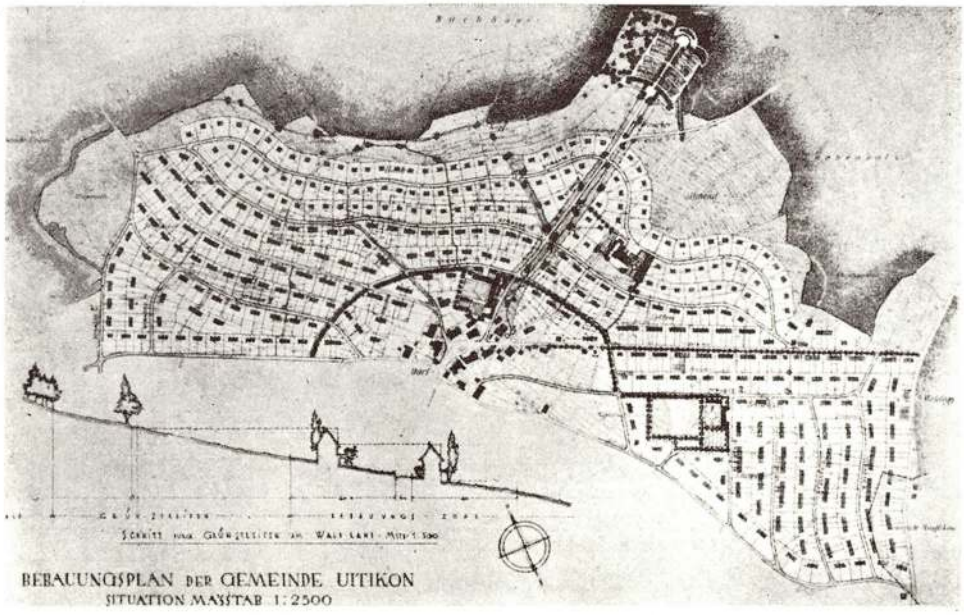
Zürich市未建築區域內の自由に處理し得べき居住地は360haになつてゐる。1893年に11の郊外市町村と、このZürich市との併合が最初に行はれたのであるが、之が相當の成績を修めたので、今日再び郊外市町村の併合問題が切迫した問題となつてゐる。

今日併合に對する反對は猶は相當あるが、1929年3月末に至り、凡ての都市及Zürich州の組合は、Zürich市と11の郊外市町村との併合に關する投票を行はねばならない事になつてゐるが、同時に市とその郊外市町村との組織的開發に關する事柄を決定する必要がある。

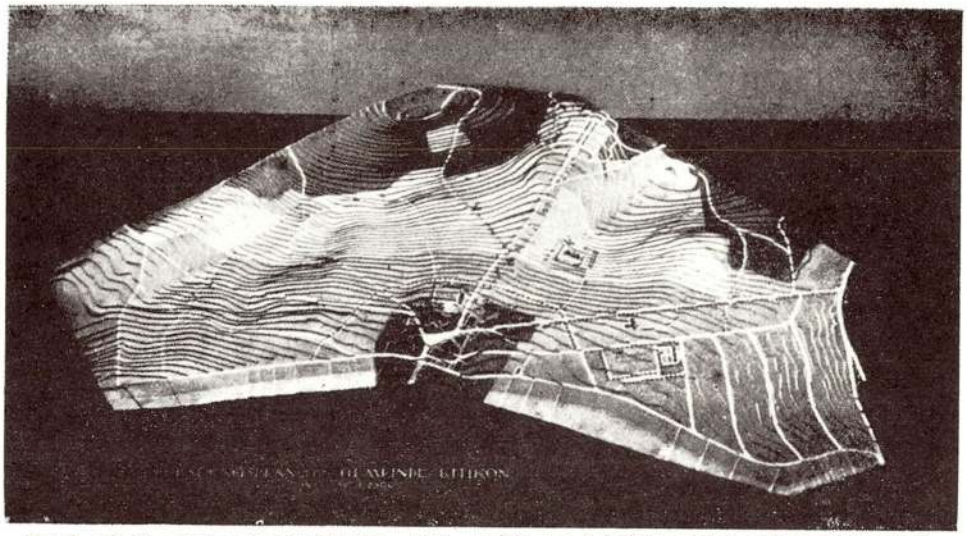
22ケ市町村及Zürich市の建設計畫に關する1918年に終結をつげた國際競爭にも拘らず、單一な綜合計畫を實行する事は今日まで可能ではなかつた市と近接する組合の稍々整理された關係を準備する爲、效果的にして且つ進步的な建築1の迅速なる指導者の提案、即ち郊外市町村組合をして彼等の建設計畫を市の計畫局によつて無料で作成すると云ふ現在の市長Dr. Klöti による提案に對してZürichの市參事會は贊意を表してゐる。

建築1に關する當時の指導者、即ち市參事會員J. Baumann氏からも元氣に奬勵された所の標準決定は良き結果を生じ、市廳と組合行政廳との間に愉快なる關係を生ずるに到つた。それは全計畫を約束されたる發端であり、而もこの點に於いては有意義なものであつた。郊外市町村の建設計畫(Uitikon, Seebach, Höngg, Altstetten, Albisrieden)(第1. 2. 6—13圖參照)の若干を公にする事は可能である。

1928年のスイスの都市建築博覽會に出品された

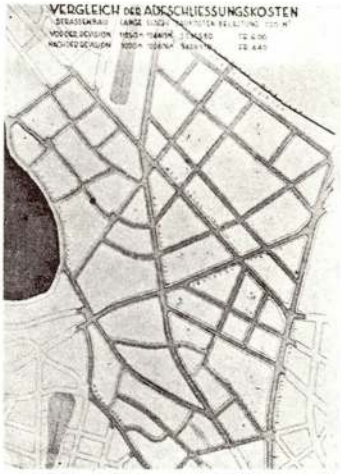


註)Karl Hippenmeyer: Zürich und Vororte ; Bebauungspläne und Grünflächen: Städtebau. Jahlrgang-1929



第1圖、第2圖—Uitikon組合の建設計畫—Uitikonは都心より6.5粁離れてゐる小農民聚落地である。險岨なる區域は計畫から除外されるだらう。そして自由空地を森の中にとり、盆地を、村の中心地と新田園風に作つた墓他との間の緑地帶とする。村の中心地は私に建設され、他の區域は公に建設される。制限高は二階建である。地帶距離は10. 12. 14米で、都市との交通はUetli登山鐵道による

他の材料と同樣に、第11圖の地域計畫から市の西部に關聯せる組合Albisriedenと森の北にある小組合とLimmat河にまで擴がつてゐるAltstettenとの緊密なる關係が明瞭に推定出來るのである

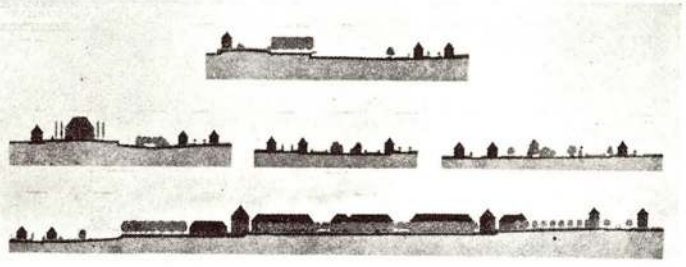


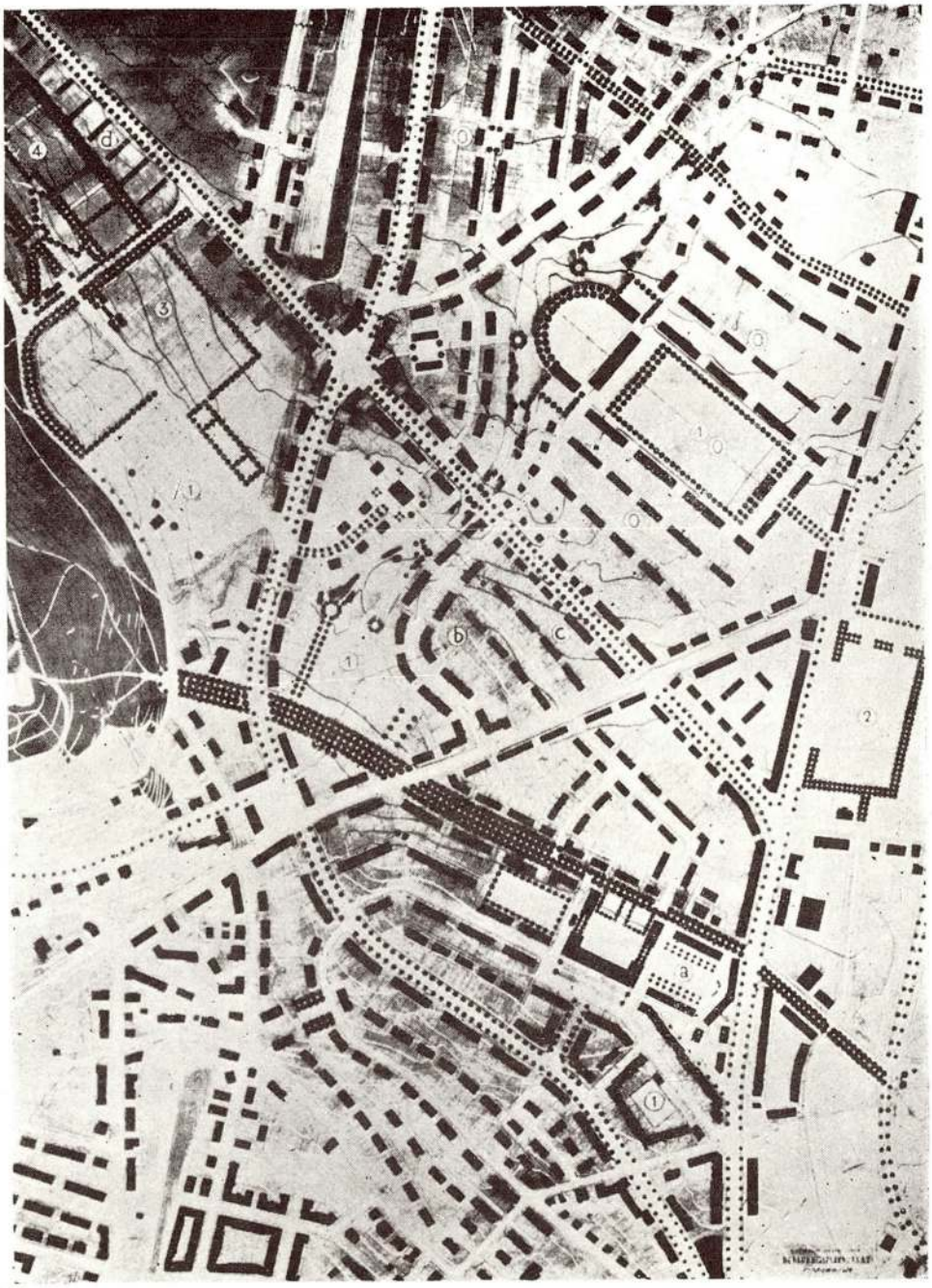
第3圖—Milchbuckの建設計畫—此の古い建設計畫は地形に就て考慮してゐない。第5圖はその新しい計畫を示したものである。

組合住宅によつて充分影響されてゐる所の、最近に於けるZürich市の非常に活潑なる建築活動の結果として、自由に處理し得べき建築地の開拓に對する正當なる法的原則の創定が强制的にされたのである。此の原則は、建築帶規則と建築法則とは別としても、幹線道路の建築線、等高線の制定を主張してゐる、此の原則は先づ市參事會で決定され、負擔を果す事によつて市參事官が承認するのである、市參事會で先づ承認されるのは建設計畫の斷面からであらう。

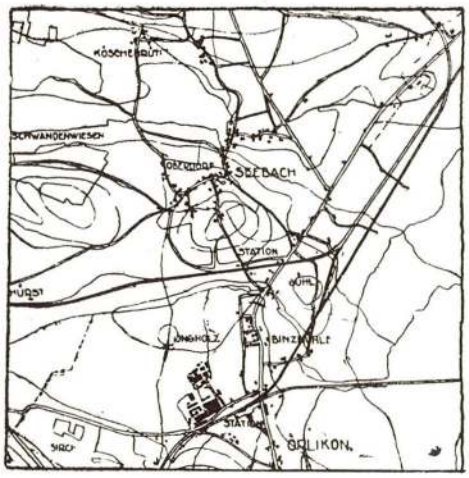
土地所有者は幹線道路の實施に際して、組合に多額の寄附を支拂はねばならない。此の寄附は寄附額が建築費の全額を越さない樣に制限する事を以つて地價の高騰をその半分となす事が出來る。住居計畫の處理に際し、幹線道路間の土地開發が結果として生じて來る。土地所有者は此の制限を越えた干涉法を持つてゐるが、住居地の道路の費用は全く寄附に依存してゐて、市は公共的交通の利害を持つ住居道路に對してのみ若干の助成をなすといふ程度である。又土地への課稅は市の評價

第4圖—Milchbuck建設計畫の斷面

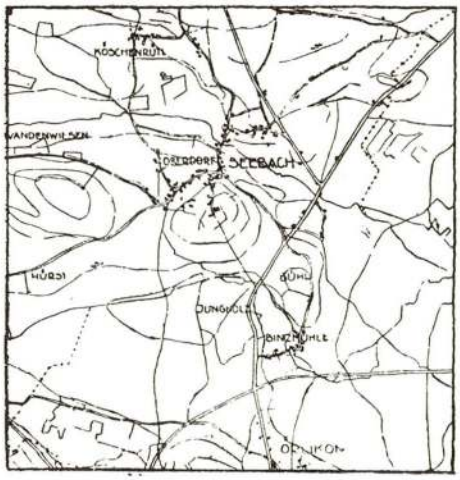




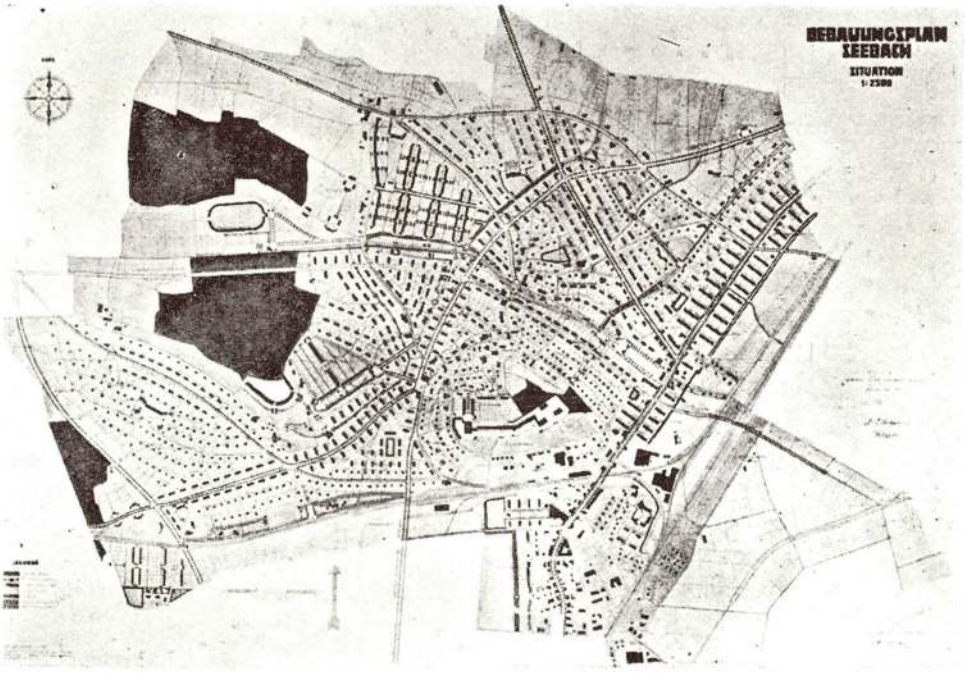
第5圖—Milchbuckの新建設計畫—此の計畫區域はZürich市の中心から約4粁はなれてゐる。南にあるZürich山と北のKäfer山との間の高き鞍部は分水嶺となり、兩山の間の橋の役をしてゐる。新計畫は舊計畫（第3圖）と反對に交通路と住居路とを分離し、綠地と自由空地とを保證してゐる。



第 6 圖

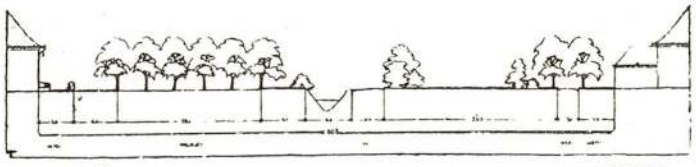


第 7 圖



第 8 圖

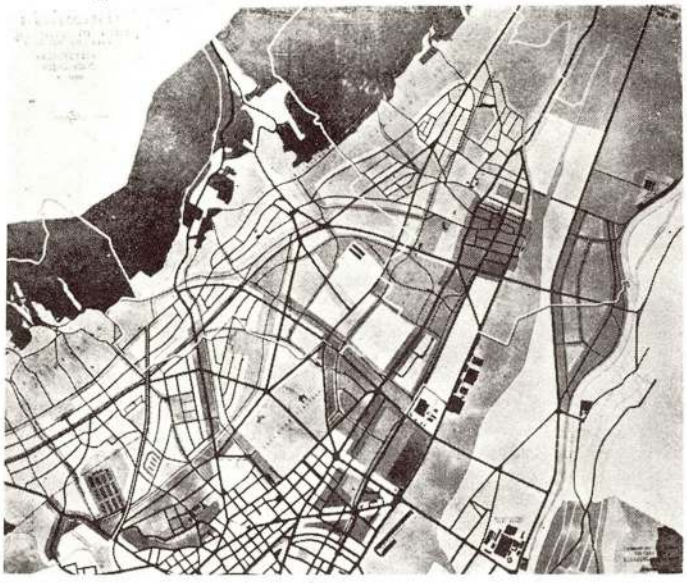
第6圖—第8圖—Sonnen 山上の Seebach—此處に於ては校舍が既に存在してゐる。森の前には展望臺があり、その傍に墓地がある。綠地帶は墓地、運動場、校舍、遊戲場へとつながつてゐて、農耕帶がある。家屋高は2階乃至3階建で家屋の長邊に對しては、家屋間の距離は高い家屋の 2½倍になつてゐて、他の側では10米である。都市との交通は鐵道及市電によつてゐる。

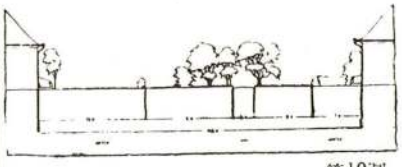


第 11 圖

第 9 圖

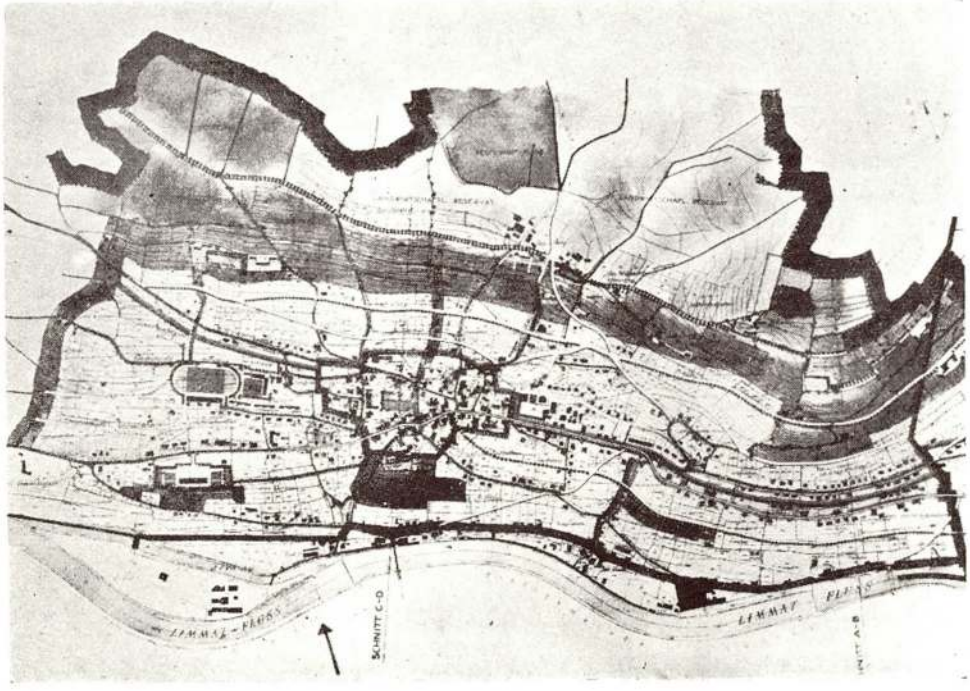
第9圖—第10圖—第6圖—8圖を見よ



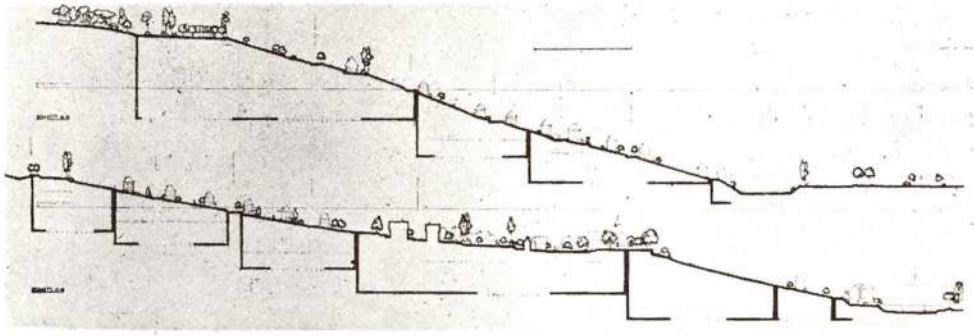


第10圖

第11圖—市の行政區劃3.4及び組合Albisrieden Altstettenの建設計畫—自由空地を森の前にとり、緑地に耕作を行ひ、大庭園を保存してゐる。都市區域に於いては4階建から3階建に引き下げられた。Albisriedenでは2階建、Altstettenでは2.3.4階建となつてゐる。此の地域は商業地域である。都市への交通は鐵道及市電によつてゐる。



第 12 圖



第 1 3 圖

第12圖－13圖—Höngg の建設計畫－高所の丘稜地からの眺望は自由であり、13圖下の斷面に於ける如く、敎會の丘は自由に保存されてゐる。村の中心地では私に建設され、他の區域では公に建設される。建物高は2階建及3階建で、距離は 7. 10. 12米である、Zürich市 とは市電によつて交通してゐる。

委員會によつて見積られる地價に從つて行はれるのである。

州及區委員會に於て各々の利害を保護する爲め負擔法が決定され、それに從つて土地所有者は各自の負擔を行ふのである、そして或る場合には聯邦裁判所による制限を越す事が許されてゐるのである。

道路計畫と評價方法との間の分離——例へば土地價格——が承認處置で有利に達せられ、住居計畫を敏速に實行するため、小部分に於ける區域の分割が望ましいのである。殊に小分割地が種々な多數の地主によつて占められて居る場合に然りである。而も此の方法はZürich市に於ては眞實である事が認められた。

Milchbuck の建設計畫（第3— 5圖參照）は都心から約4粁離れてゐて、Zürich 市の未建地域を包括してをり、そして Limmat 河と Glatt河との分水嶺を形成して居る。尙通過交通路として重要な役割を演じてゐる Zürich 山と Käfer 山との間の軟き樣々な形狀をなした、馬鞍狀の狹隘な路が問題となつてゐる。

現在の計畫（第5圖參照）は約15 ha にして大區域の一部分を示すものであり、第3圖に示す前の計畫は地形についても、又計畫的に交通路と側道とを分離することについても、或は又綠地及自由空地の分布に就ても充分なる考慮が拂はれてない

第4乃至5圖に示す新しい計畫は現在の道路網及既に決定した大運河を持つ幹線道路の建築線に關する許可に就て考慮を拂ふ事によつて影響されて居るものである。第5圖②點の西側にある三角交叉點が即ちその結果である。等高線に沿つて、且つ同圖@點の西側の遠方から見える丘稜地を切斷する代りに廻り道をし、更に二つの交叉道路を連結して、最大 3 %の昇を持つ新幹線道路として Hofwiesen道路が問題になつてゐる。

Hofwieser道路は、現在のSchaffhauer 道路から分岐して北西方向へと第5圖に示す樣下邊に沿つて通り、更に Buchegg 廣場を通過して、北方に進行し、鐵道切通の東を之れに平行に停車場まで進みそして更に郊外市町村組合の Oerlikon の Güter 停車場まで走つてゐる。

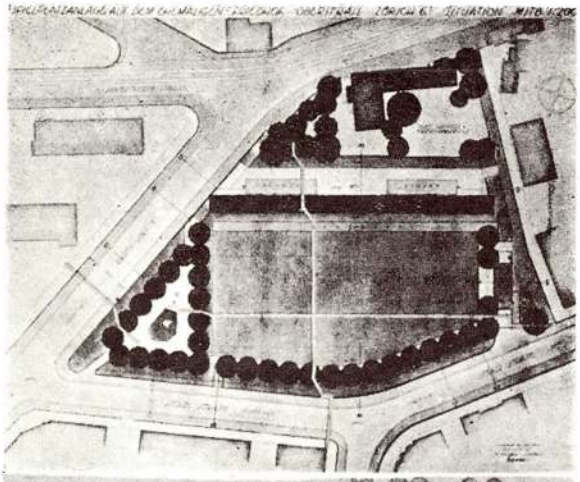
地域を決定する事と、可能なる程度に住居地を計畫する事が明確に豫定されてゐる所である。

又第 5 圖の @點の西側に建築される學校群は Dominante として力强く出現する。之れと全く同樣に顯著な點は、高臺の頂上の 2ha 大の遊園地の西にある學校計畫と Hofwiesen 道路と Wehntaler 道路との角に於ける綠地帶の最も高き場所にある敎會とである。（第4圖參照）。後者は第5圖に示す樣に Schaffhauser 道路から一直線に北西に向つて進行してゐる。

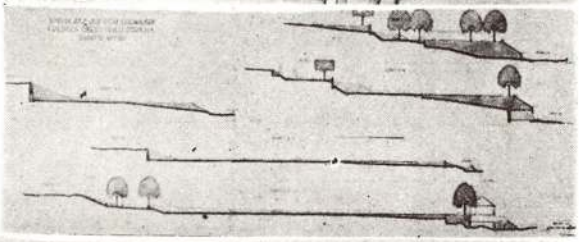
Milchbuck 區域に於ける一般建築の制限高は3階建のものを許して居つたが、改正された建築規則では、建物間の距離10米あるものは建物の高さを尙2階だけ許し、間口45米長のものを建築する事が許されて居て、二つの道路間に於ては二列の家

第14圖—15圖——上部道路——遊戲場は1929年秋の舊墓地と關係あるものである。地形の高低差は三つの臺地を作つてゐる、裝飾建物と土地とを含んだ建設費は 440.000 Frankeである。

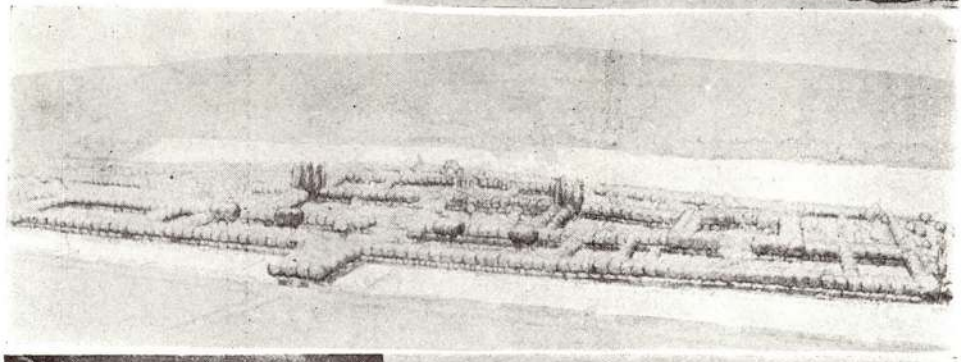
第14圖

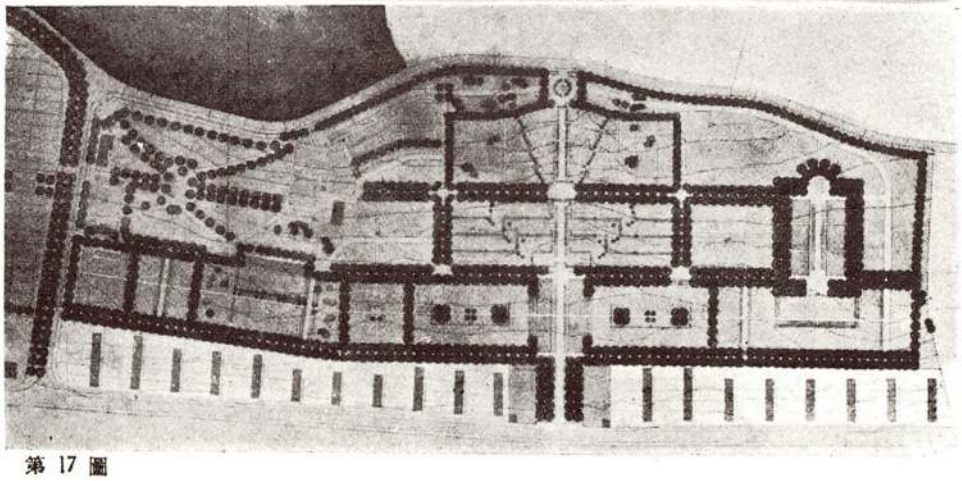


第15圖



第16圖

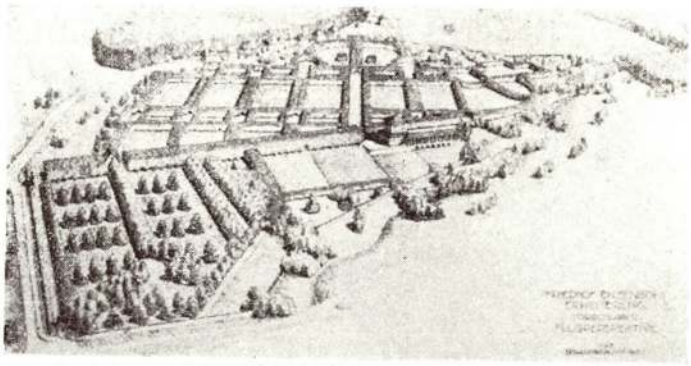




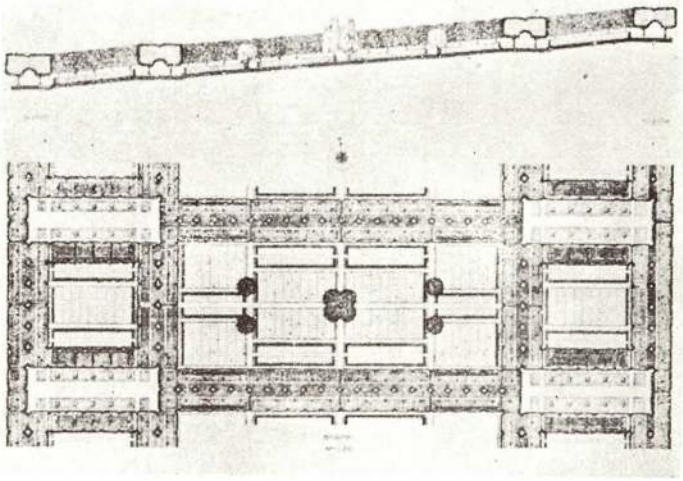
第 17 圖

第16圖—17圖—— Nordheim の墓地——最初の擴張計畫であつて、その擴張全面は今迄の面積を合はせて138000平方米である。

第18圖



第19圖



第18圖—19圖—Engenbühl 墓地——墓地への交通路の下部は急傾斜を利用してゐて、それは石垣によつて分けられてゐる。此の墓地は火葬場の計畫をも含んでゐる。

屋が建ち得る様になつてゐる。此の事は後退建築線の自由なる解釋によつて招來したのである。

市は此の方面に大分割地を所有して居り、而も良く指導された組合に於ける地理を以て廣大な區域の滿足なる建設を保證するといふ狀態にあるのである。此の爲様々な古き建物は秩序ある建設期に入ると自然に消滅するであらう。

然して Milchbuck 區域には豐富なる綠地を保存すべきであらう。

Schaffehauser 道路の東まで一綠地帶となつて延びてゐる4列と2列の並木はKäfer山とZürich山とを結合してゐる。北東方向の盆地に接續して、第5圖の中央に示す様な一綠地帶が組合 Oerlikon によつて豫め準備されてゐる。(第4圖の斷面參照)。此の爲土地は市の所有にかゝるものと Oerlikon 組合の所有にかゝるものとになつてゐる。

圖上に於ける①は遊戲場で②は約 3ha の式場を表はしてゐる。此の市の式場は役者の自由に委管さるべきもので③は連續家族庭園の位置を示してゐる。④は第16—17圖に描かれた Nordheim の墓地を示してゐる。

Hofwiesn 道路には市電が通る事になつてゐて、その市電の建設は年末に着手さる豫定である。

Zürich の人口は今日225.000人であるが、人口の增加に從つて墓地の擴張を必要とする。住民の安息地として都合の好い4個の墓地が現存して居り、小さい方の墓地と猶太人の所有する墓地とは之れに算へられてない。

市は墓地增加の爲、適當な習作をなしてゐるが、第16乃至19圖の Engenbühl と Nordheim とは湖又は Limmat 河の都市側に存在するが、之れは地形と調和させるのは勿論、その特質を高調させることが亦此處でも一つの條件となる。此の意味に於て第18圖の如く、Engenbühl 墓地の上部をねぢ

切る事は地形の變化を考へに入れての事である。であるから墓地が樹木によつて圍繞され、而もそれが生籬によつて分離せしめられ、傾斜地の一方の最高地に墓地の配置を要求してゐるのである。それはきちんとはめ込まれた墓地及び家族墓築造用の大自由空地からの適當なる變更を目標としてゐるのである。

墓地は平均面積6.5平方米を一墓地に與へてをり、Engenbuhl 墓地の擴張は市町村組合の組合領地に干渉してゐる。

Zürich 市は統治に際し收用法を運用する事を考へねばならぬが、それに對して市町村の組合行政廳及土地所有者とが抗議を申し込んで來た。

墓地と遊戲場との計畫が公園管理者 Rotpletz氏及 Zürich市土木技師 Herter氏との協力で發生した近年の最も美しき課題として兩湖畔の岩壁計畫を擧げる事が出來るが、スイスの競爭は之れに對して或る種の豫備的工事を指導したとも云へる、とまれ Zurich市は此の大課題に取つて不足ではないのだ、即道路の改良又は新設、都市廣場の改良、公園の創造、舊市街の整理、停車場等の問題に關する明確なる解答及その他のものの實行が期待されてゐる。そして分割事業の凡ては Zurich市建設計畫局によつて實行される事になつてをり、その建設計畫局は特別な局として Zurich市地下工事行政區劃に亘つて組織されてゐる。(小山　武)

銅使用制限に關する規則

商工省令第十八號
銅使用制限規則左ノ通改正ス
　昭和十三年四月二十三日
　　商工大臣　吉野信次

銅使用制限規則

第一條　本則ニ於テ銅合金トハ黃銅（眞鍮）靑銅砲金、洋銀（洋白）及赤銅ヲ謂フ

第二條　建築物ノ屋根、庇、樋、化粧張、煙突、排氣筒、枠、扉、窓格子、手摺、階段之止又ハ日除金具トシテ銅又ハ銅合金ヲ使用セントスルモノハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ノ許可ヲ受クベシ

第三條　前條ノ許可ヲ受ケントスルモノハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ地方長官（東京府ニアリテハ警視總監）ニ提出スベシ

一、銅又ハ銅合金ノ種類別使用數量（前條ニ規定スル用途別ニ記載スベシ）
二、銅又ハ銅合金ヲ使用セントスル事由
三、建築物ノ位置
四、建築物ノ用途
五、建築物ヲ建築スル場合ニ在リテハ工事著手及竣工ノ豫定時期
六、請負人アルトキハ請負人氏名名稱

第四條　左ニ揭グル物品又ハ其ノ部分品ヲ製造スル場合ニ於テ銅又ハ銅合金ヲ使用セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ但シ輸出品又ハ其ノ部分品ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一、ナイフ、スプーン、コップ、菓子器、盆其ノ他ノ飮食用器具
二、鍋、釜、湯沸、金網、十能其ノ他ノ厨房用器具
三、火鉢、煙管、机、傘立、帽子掛其ノ他ノ家具什器
四、花器、置物、賞盃、額緣、鳥籠其ノ他ノ美術裝飾品
五、ブローチ、フック、釦釦、コハゼ、美錠其ノ他ノ被服附屬金具
六、煙管、シガレットケース、ライター、灰皿煙草盆其ノ他ノ喫煙用器具
七、ハンドバック、コンパクト、鞄、傘、杖其ノ他ノ身廻用品
八、簪、ピン、帶止、鎖、指輪其ノ他ノ裝身具
九、萬年筆、ペン、インクスタンド、文鎭、紙挾其ノ他ノ文房具
十、把手、蝶番、戸車、レール、釘其ノ他ノ建築用附屬金具
十一、玩具
十二、扇風器（工業用ノモノヲ除ク）ストーブ、シャンデリヤ、電氣スタンド、金庫、書類箱及冷藏庫
十三、看板、ネームプレート及廣告用文字
十四、前各號ニ揭ゲザル家庭用金物及雜貨

第五條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ地方長官ニ提

出スベシ

一、製造スル物品ノ名稱及數量

二、銅又ハ銅合金ノ種類別使用數量（新並ニ屑及故ニ區別シテ記載スベシ）

三、使用スル新銅又ハ新銅合金ガ第六條ノ規定ニ依レ許可ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ相手方別購入數量

四、銅又ハ銅合金ヲ使用セントスル事由

第六條　第四條各號ニ揭グル物品又ハ其ノ部分品ニシテ輸出品又ハ其ノ部分品ニ非ザルモノノ原料又ハ材料ヲ製造スル場合ニ於テ銅又ハ銅合金ヲ使用セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第七條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一、製造スル原料又ハ材料ノ名稱及數量

二、銅又ハ銅合金ノ種類別使用數量（新並ニ屑及故ニ區別シテ記載スベシ）

三、製造スル原料又ハ材料ノ用途

四、製造スル原料又ハ材料ノ相手方別販賣數量

第八條　輸品出又ハ其ノ部分品トシテ第四條各號ニ揭グル物品又ハ其ノ部分品ヲ製造セントスル者ハ豫メ左ニ揭グル事項ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

一、製造スル物品ノ名稱及數量

二、銅又ハ銅合金ノ種類別使用數量

三、製造スル物品ノ相手方別販賣數量

第九條　第四條各號ニ揭グル物品又ハ其ノ部分品ニシテ輸出品又ハ其ノ部分品トシテ製造シタルモノヲ讓受ケタル者國內消費ニ充ツル爲之ヲ販賣セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

附　則

本則ハ昭和十三年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條ノ許可ヲ受クベキモノニシテ本則施行ノ際現ニ第二條ニ揭グル用途ニ銅又ハ銅合金ヲ使用中ノモノニハ本則ヲ適用セズ但シ本則施行ノ日ヨリ二週間以內ニ第三條各號ニ揭グル事項ヲ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ届ヅルコトヲ要ス

第四條又ハ第六條ノ許可ヲ受クベキ者ニシテ本則施行ノ際現ニ第四條各號ニ揭グル物品若ハ其ノ部分品又ハ第六條ニ規定スル原料若ハ材料ヲ製造中ノモノニハ本則ヲ適用セズ但シ本則施行ノ日ヨリ二週間以內ニ第五條各號又ハ第七條各號ニ揭グル事項ヲ地方長官ニ届ヅルコトヲ要ス

本則施行ノ際現ニ銅又ハ銅合金ヲ使用シテ第四條各號ニ揭グル物品又ハ其ノ部分品ノ製造ヲ爲スヲ業トスル者ハ昭和十三年五月一日現在ノ當該物品又ハ部分品ノ在庫數量ヲ本則施行ノ日ヨリ二週間以內ニ地方長官ニ届出ヅベシ

銅使用制限規則施行細則

大阪府令第五十九號

昭和十二年十一月大阪府令第百九號銅使用制限規則施工細則左ノ通改正ス

昭和十三年五月六日

大阪府知事　池田　清

銅使用制限規則施行細則

第一條　本則ニ於テハ銅使用制限規則ヲ規則ト稱ス

第二條　規則第二條、規則第四條、規則第六條及規則第九條ノ許可申請書竝ニ規則第八條、規則附則第二項及規則附則第三項ノ届書ハ左記樣式ニ據リ正本ノ外副本二通（規則第四條及規則第九條ノ許可申請書竝ニ規則第八條ノ届書及規則附則第三項ニ依ル規則第四條各號ニ揭グル物品又ハ其ノ部分品ニ關スル届書ニ在リテハ副本ハ一通ニテ足ル）ヲ提出スベシ

第三條　規則第四條各號ニ揭グル物品若ハ其ノ部分品ノ製造ニ使用スル原料若ハ材料ガ規則第六條ノ許可ヲ受ケタルモノ又ハ規則附則第三項ノ届出ヲ爲シタルモノナルトキハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ規則第四條ノ許可申請書ニ添附スベシ

第四條　規則第六條ノ許可ヲ受ケントスル原料又ハ材料ニシテ之ヲ原料又ハ材料トシテ使用セントスル物品又ハ其ノ部分品ニ付規則第四條ノ許可ヲ受ケタルモノナルトキハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ規則第六條ノ許可申請書ニ添附スベシ

第五條　規則第四條各號ニ揭グル物品若ハ其ノ部分品ガ國ノ用ニ供セラルルモノナルトキ又ハ規則第六條ニ揭グル原料若ハ材料ガ國ノ用ニ供セラルル物品若ハ其ノ部分品ニ使用セラルルモノナルトキハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ規則第四條又ハ規則第六條ノ許可申請書ニ添附スベシ

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

銅使用制限規則第二條ニ依ル許可申請書（規則附則第二項ニ依ル届書）

銅又ハ銅合金使用許可願（銅又ハ銅合金使用届）

大阪府知事　　殿

下記之通何々（銅又ハ銅合金ノ種類）ヲ使用致度候間御許可相成度此段相願候也

（下記之通何々（銅又ハ銅合金ノ種類）ヲ使用致候間此段及御届候也）

昭和　年　月　日　　願人（届人）　氏　　名㊞

住　所

規則第二條ニ掲グル用途 ／ 銅又ハ銅合金ノ種類						計
計						

銅又ハ銅合金ヲ使用セントスル事由									
建築物ノ位置				建築物ノ用途					
建築工事	著手豫定時期（著手年月日）		竣工豫定時期（竣工年月日）		銅又ハ銅合金取付工事	著手豫定時期（著手年月日）		竣工豫定時期（竣工年月日）	
建築工事請負人	氏　名		住　所		銅又ハ銅合金取付工事請負人	氏　名		住　所	
備　考									

注意 1 枠、扉、窓格子、手摺、階段之止及日除金具ハ購入先、購入約定年月日、受納年月日ヲ備考欄ニ記入スベシ

2 許可申請書又ハ届書ハ正副三通ヲ提出スベシ

3 建築物トハ高層建物、工場、倉庫、店舗、學校、集會場、演藝場、旅館、病院、市場、屠場、火葬場、住宅、別荘等及之等ニ附隨スル門、障塀等ノ外鳥居、記念門、記念塔、假設建築物（博覽會建築物、飾門、飾塔等）ヲ指稱ス

屋根ハ巴、鬼、袖瓦、慰斗瓦等ヲ含ムモノトス

樋ハ蛇腹樋、谷樋、流樋、鮫鰊等ヲ含ムモノトス

枠トハ窓枠、出入口枠額縁ヲ指稱ス

扉トハ扉及其ノ附屬裝飾ヲ包含スルモ錠前、把手、蝶番、上ゲ落シハ之ヲ含マザルモノトス

日除金具トハ捲揚日除、幌日除、引分日除及片引日除等ノ金具ヲ指稱スルモ虫車又ハ環ハ之ヲ含マザルモノトス

第二號樣式

銅使用制限規則第四條ニ依ル許可申請書（規則第八條又ハ規則附則第三項ニ依ル届書）
銅又ハ銅合金使用許可願（銅又ハ銅合金使用届）

大阪府知事　　殿

下記之通何々（銅又ハ銅合金ノ種類）ヲ使用致度候間御許可相成度此段相願候也
（下記之通何々（銅又ハ銅合金ノ種類）ヲ使用致候間此段及御届候也）

昭和　年　月　日　　願人（届人）　氏　　名㊞
住所

製造スル物品					使用スル銅又ハ銅合金 新旧ニ屑及故ニ區別シテ記載ス		
名稱	個數	製造著手豫定時期（著手年月日）	用途	販賣先	種類	重量	購入先
銅又ハ銅合金ヲ使用セントスル事由							
備考							

注意 1 製造スル物品ガ國ノ用ニ供セラルル場合ニ於テハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附スベシ
2 使用スル銅又ハ銅合金ガ規則第六條ノ許可ヲ受ケタルモノナルトキハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附スベシ
3 使用スル銅又ハ銅合金ガ規則施行ノ際製造中ノモノナリシトキハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附スベシ
4 許可申請書又ハ届書ハ正副二通ヲ提出スベシ但シ規則第四條ノ許可アリタルコトノ證憑書類交付ヲ希望スル者ハ副本二通ヲ提出スベシ
5 規則第八條ノ届書ニ在リテハ銅又ハ銅合金ヲ使用セントスル事由ハ之ヲ記入スルニ及バズ

第三號樣式

銅使用制限規則第六條ニ依ル許可申請書（規則附則第三項ニ依ル届書）
銅又ハ銅合金使用許可願（銅又ハ銅合金使用届）

大阪府知事　　殿

下記之通何々（銅又ハ銅合金ノ種類）ヲ使用致度候間御許可相成度此段相願候也
（下記之通何々（銅又ハ銅合金ノ種類）ヲ使用致候間此段及御届候也）

昭和　年　月　日　願人（届人）　氏　名㊞

住　所

製造スル原料又ハ材料						使用スル銅又ハ銅合金　新旧ニ屑及故ニ區別シテ記載ス		
名稱	個數	重量	製造着手豫定時期（着手年月日）	用途	販賣先	種類	重量	購入先
備考								

注意 1 製造スル原料又ハ材料ガ國ノ用ニ供セラルル場合ニ於テハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附スベシ

2 製造スル原料又ハ材料ニシテ之ヲ原料又ハ材料トシテ使用セントスル製品又ハ其ノ部分品ニ付規則第四條ノ許可ヲ受ケタルモノナルトキハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ添附スベシ

3 許可申請書又ハ届書ハ正副三通ヲ提出スベシ規則第四條ノ許可申請書ニ添付スル爲許可證又ハ認定證ヲ數通ニ分割スル必要アル場合ニ於テハ副本ノ内一通ヲ販賣先別ニ分チテ提出スベシ

第四號樣式

銅使用制限規則第九條ニ依ル許可申請書

銅又ハ銅合金製品國内販賣許可願

大阪府知事　殿

下記之通何々（銅又ハ銅合金製品名）ヲ販賣致度候間御許可相成度此段相願候也

昭和　年　月　日　願人　氏名　㊞

住　所

名稱	數量	購入年月日	購入先		販賣先	
			氏名	住所	氏名	住所
國内向トシテ販賣セントスル事由						

注意　許可申請書ハ正副二通ヲ提出スベシ

大阪府告示第五百六十四號

昭和十二年十一月大阪府告示第千三百十號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年五月六日　　大阪府知事　池　田　　清

取　扱　要　綱

一、許可又ハ不許可ノ指令ハ左ノ通副本ニ捺印シテ交付ス

大阪府指令經工第　　號

右許可ス

昭和　年　月　日

大阪府知事　池　田　　清

大阪府指令經工第　　號

右許可シ難シ

昭和　年　月　日

大阪府知事　池　田　　清

二、許可證ハ左ノ通副本ニ捺印シテ交付ス

右銅使用制限規則第　　條ノ許可アリタルコトヲ證ス

昭和　年　月　日

大阪府知事　池　田　　清

三、届書ヲ受理シタルトキハ左ノ通副本ニ捺印シ交付ス

右受理ス

昭和　年　月　日

大阪府知事　池　田　　清

四、届書ヲ受理シタル證ハ左ノ通副本ニ捺印シ交付ス

右銅使用制限規則附則第　　項ノ届出ヲ爲シタルコトヲ證ス

昭和　年　月　日

大阪府知事　池　田　　清

五、規則第四條各號ニ揭グル物品又ハ其ノ部分品ノ製造業者ガ規則施行ノ際現ニ有スル銅又ハ銅合金ヲ使用セントスル場合ニ於テハ其ノ許可申請書ニ其ノ旨附記シ當該銅又ハ銅合金ノ全數量ニ付關係事項ヲ記載スベシ

前項ノ許可申請書ハ規則施行ノ日ヨリ一ケ月以内ニ提出スベシ

六、規則第六條ニ規定スル原料又ハ材料ノ製造業者ガ本則施行ノ際現ニ有スル當該原料又ハ材料ニ付テハ規則附則第三項ノ規則施行ノ際現ニ製造中ノ原料又ハ材料ト同樣ニ取扱フ但シ届書ニ其ノ旨附記シ當該原料又ハ材料ノ全數量ニ付關係事項ヲ記載スベシ

七、規則第四條各號ニ揭グル物品又ハ其ノ部分品製造販賣業者（所謂製造問屋）又ハ製造業者ガ當該物品又ハ其ノ部分品ノ製造ニ使用スル原料又ハ材料ヲ自ラ購入シ他ニ委託加工セシムル場合ニ於テハ當該製造問屋及當該製造業者ヨリ第四條ノ許可申請又ハ規則附則第三項ノ届出ヲ爲スコトヲ得

右ノ場合ニ於テハ其ノ受託加工業者名及住所ヲ願書ニ記載シ且受託加工業者別ニ關係事項ヲ記入スベシ

記　載　例

製造スル物品名					使用スル銅又ハ銅合金　新旧ニ屑及故ニ區別シテ記載ス		
名稱	個數	製造著手豫定時期（著手年月日）	用途	販賣先	種類	重量	購入先

依託加工業者		製造する物品
氏名	住所	名稱個數製造着手時期

八、工業組合又ハ同業組合ニ加入セル工業者ハ組合ヲ經由シテ許可申請、又ハ届出ヲ爲スコトヲ得、但シ願人又ハ届人ハ當該工業者トス

九、小工業者ニ於テハ之ト取引關係ニアル問屋業者又ハ製造業者ヲ經由シテ許可申請又ハ届出ヲ爲スコトヲ得、但シ願人又ハ届人ハ當該工業者トス

十、第四條ノ許可證票添付シテ出願シタル第六條ノ許可書ニハ證明書ヲ交付セズ。

十一、現在ストツクヲ有セズ、問屋ノストツクヲ買入レ物品ヲ製造スルモノハ問屋ノ證明ヲ添付スベシ。

十二、第八條ノ届書ニ添付スベキ輸出タルコトヲ證スル書類ニハ左ノ場合ニ於テハ問屋ノ注文書ニ貿易商ノ裏書ヲセシメ提出セシム。

本號執筆者紹介

（五十音順）

伊藤和夫	大阪市技師・大阪市臨時高速度鐵道部建設課建築係長・本協會常務
加藤善吉	堺市技師・堺市土木部技術課
川勝健二	大阪府警察部建築課
新名種夫	大阪市技師・大阪市經理部營繕課設計係長
松井清之助	建築技師・大阪府警察部建築課・本協會常務
松森修太	大阪府警察部建築課

6月號

防毒資材取締規則

内務省令第一號
厚生省令第一號

防毒資材取締規則左ノ通定ム

昭和十三年五月二日

内務大臣　末次信正
厚生大臣　侯爵　木戸幸一

防毒資材取締規則

第一條　本令ニ於テ防毒具ト稱スルハ毒性ノ瓦斯、煙霧、液體、粉塵等ニ對スル防護具ヲ謂フ

防毒具ハ左ノ二種トス

第一種　防毒面（酸素呼吸器ヲ含ム以下之ニ同ジ）防毒衣、防毒手袋、防毒靴、防毒濾筒並ニ防毒面用ノ覆面、呼氣辨及吸收罐

第二種　其ノ他ノ防毒具

本令ニ於テ防毒檢定器ト稱スルハ毒性ノ瓦斯、煙霧、液體、粉塵等ヲ檢知スル器具及防毒具ノ性能ヲ檢査スル器具ヲ謂フ

本令ニ於テ防毒藥物ト稱スルハ防毒面吸收罐又ハ防毒濾筒ニ使用シ防毒ノ効能アリトスル藥物毒性ノ瓦斯、煙霧、液體、粉塵等ノ檢知ノ効能アリトスル藥物及防毒ノ効能アリトスルモノニシテ内務大臣及厚生大臣ノ指定スル藥物ヲ謂フ

本令ニ於テ防毒具材料ト稱スルハ防毒具ノ製造又ハ修覆ニ使用スル物ニシテ内務大臣ノ指定スルモノヲ謂フ

第二條　本令ハ販賣ノ用ニ供スル防毒具、防毒檢定器、防毒藥物及防毒具材料ニ付之ヲ適用ス但シ第十一條及第十二條ノ規定ハ販賣ノ用ニ供セザルモノニ付テモ之ヲ適用ス

第三條　第一種防毒具又ハ防毒檢定器ヲ製造セントスル者ハ左ノ各號ニ揭グル事項ヲ、輸入又ハ移入セントスル者ハ第一號乃至第三號及第六號ニ揭グル事項ヲ具シ見本品ヲ添ヘ主タル業務所所在地ノ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ）ヲ經由シ内務大臣ノ許可ヲ受クベシ

一　氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱）商號及業務所所在地

二　製造所ノ名稱及所在地

三　第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ種類、型式構造及性能

四　製造方法及製造設備（製品檢査設備ヲ含ム）ノ概要並ニ一年ノ製造能力

五　主任技術者ノ氏名及履歷

六　第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニ添附スル性能說明書

前項第三號乃至第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ前項ニ準ジ許可ヲ受クベシ

第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ第一項ニ準ジ内務大臣ニ届出ヅベシ

第四條　第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ製造者、輸入者又ハ移入者ハ其ノ製造、輸入又ハ移入シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニ其ノ型式及製造年並ニ製造者ノ氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱）又ハ商號ヲ明記シ且防毒面吸收罐又ハ防毒濾筒ニ別表ニ揭グル性能標識ヲ附スベシ

第五條　第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ製造者、輸入者又ハ移入者ハ其ノ製造、輸入又ハ移入シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニ付内務大臣ノ定ムル所ニ依リ檢定ヲ受クベシ

前項ノ檢定ニ合格シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニハ第一號樣式ノ檢定證印ヲ附ス

第六條　第二種防毒具、防毒藥物又ハ防毒具材料ヲ發賣セントスル者ハ左ノ各號ニ揭グル事項ヲ具シ見本品ヲ添ヘ主タル營業所所在地ノ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

一　氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱）商號及營業所所在地

二　製造所ノ名稱及所在地

三　第二種防毒具ニ在リテハ其ノ種類、型式、構造及性能

四　防毒藥物ニ在リテハ其ノ品名、品質及効能（製劑ニ在リテハ原料品名及其ノ分量並ニ製造方法ノ概要ヲ併記スルコト）

五　防毒具材料ニ在リテハ其ノ品名、品質及性能

六　第二種防毒具、防毒藥物又ハ防毒具材料ニ添附スル性能又ハ効能說明書

前項第三號乃至第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ前項ニ準ジ許可ヲ受クベシ

第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ第一項ニ準ジ地方長官ニ届出ヅベシ

第七條　第二種防毒具ノ發賣者ハ其ノ發賣スル第二種防毒具ニ其ノ型式及發賣者ノ氏名（法人ニ

在リテハ其ノ名稱）又ハ商號ヲ明記スベシ

防毒藥物ノ發賣者ハ其ノ發賣スル防毒藥物ノ容器又ハ被包ニ防毒藥物ナル文字、品名及發賣者ノ氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱）又ハ商號ヲ明記スベシ

防毒具材料ノ發賣者ハ其ノ發賣スル防毒具材料ノ容器又ハ被包ニ防毒具材料ナル文字、品名及發賣者ノ氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱）又ハ商號ヲ明記スベシ

第八條　防毒具、防毒檢定器、防毒藥物又ハ防毒具材料ノ請賣營業ヲ爲サントスル者ハ營業所毎ニ營業所所在地ノ地方長官ニ届出ヅベシ

第九條　第五條第二項ノ規定ニ依ル檢定證印ナキ第一種防毒具若ハ防毒檢定器又ハ第四條若ハ第七條ノ規定ニ依ル表示若ハ性能標識ナキ防毒具防毒檢定器、防毒藥物若ハ防毒具材料ハ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ

第十條　防毒具、防毒檢定器、防毒藥物又ハ防毒具材料ハ第三條第一項第六號ノ性能說明書又ハ第六條第一項第六號ノ性能若ハ効能說明書ヲ添付スルニ非ザレバ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ

第十一條　第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ修覆營業ヲ爲サントスル者ハ營業所毎ニ營業所所在地ノ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第十二條　第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ修覆營業者ハ其ノ修覆シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニ付内務大臣ノ定ムル所ニ依リ檢定ヲ受クベシ

前項ノ檢定ニ合格シタル第一種防毒具又ハ防毒檢定器ニハ第二號樣式ノ檢定證印ヲ附ス

前項ノ規定ニ依ル檢定證印ナキ第一種防毒具又ハ防毒檢定器ハ之ヲ修覆シタルモノトシテ交付スルコトヲ得ズ

第十三條　地方長官ハ當該官吏ヲシテ防毒具、防毒檢定器、防毒藥物若ハ防毒具材料ヲ製造、貯藏若ハ販賣スル場所ヲ巡視セシメ又ハ防毒具、防毒檢定器、防毒藥物若ハ防毒具材料ヲ檢査セシムルコトヲ得

第十四條　第一種防毒具又ハ防毒檢定器ノ製造者輸入者又ハ移入者其ノ業務ニ關シ犯罪若ハ不正ノ行爲アリタルトキ又ハ本令ノ規定ニ違反シタルトキハ内務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十五條　第二種防毒具、防毒藥物若ハ防毒具材料ノ發賣者、防毒具、防毒檢定器、防毒藥物若ハ防毒具材料ノ請賣營業者又ハ第一種防毒具若ハ防毒檢定器ノ修覆營業者其ノ業務ニ關シ犯罪若ハ不正ノ行爲アリタルトキ又ハ本令ノ規定ニ違反シタルトキハ地方長官ハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ營業ヲ禁止若ハ停止スルコトヲ得

第十六條　第三條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役ニ處ス

第十七條　第六條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第三條第二項、第四條、第六條第二項、第七條乃至第九條、第十一條又ハ第十二條第三項ノ規定ニ違反シタル者

二　第十三條ノ規定ニ依ル巡視又ハ檢査ヲ拒ミ妨ゲ又ハ忌避シタル者

三　第十五條ノ規定ニ依ル營業ノ停止中其ノ營業ヲ爲シタル者

第十九條　第三條第三項、第六條第三項又ハ第十條ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第二十條　防毒具、防毒檢定器、防毒藥物又ハ防毒具材料ノ製造者、輸入者、移入者、發賣者、請賣營業者又ハ修覆營業者ハ其ノ代理人、戸主家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第二十一條　本令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條　本令ハ陸海軍ノ用ニ供スル防毒具、防毒檢定器、防毒藥物及防毒具材料ニ付テハ之ヲ適用セズ

附　則

本令ハ昭和十三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令公布ノ際現ニ防毒具、防毒檢定器若ハ防毒藥物ヲ製造若ハ發賣スル者又ハ其ノ請賣營業ヲ爲ス者ハ本令施行後一月以内ニ第三條、第六條又ハ第八條ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ第三條又ハ第六條ノ許可ヲ申請シタル者ニ付テハ其ノ申請ニ對スル許可又ハ不許可ノ處分ノ日迄第四條、第五條及第七條ノ規定ハ

之ヲ適用セズ

本令施行ノ際現ニ存スル防毒具、防毒檢定器若ハ防毒藥物又ハ第二項ノ規定ニ依リ第三條若ハ第六條ノ許可ヲ申請シタル者ガ其ノ申請ニ對スル許可若ハ不許可ノ處分ノ日迄ニ製造若ハ發賣シタル防毒具、防毒檢定器若ハ防毒藥物ニ付テハ本令施行後一年間第九條及第十條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

別　表

防毒面吸收罐及防毒濾筒種類	性能標識	
	標識色	標識記號
普通瓦斯用	灰色及黑色	イ
酸性瓦斯用	灰色	ロ
有機瓦斯用	黑色	ハ
粉塵用	白色	ホ
一酸化炭素用	紅色	ヘ
消防用	白色及紅色	ト
金屬煙氣用	白色及黑色	チ
アンモニア用	綠色	リ
亞硫酸及硫黃用	橙色	ヌ
靑酸用	靑色	ル
硫化水素用	黃色	ヲ
酸化水素及砒化水素用	藍色	ワ
各種瓦斯及煙霧用	暗赤色	カ
防空用	櫨色	ヨ

備　考

一　標識色ハ外部全面一樣ニ塗色シ二色ノ場合ハ上下二層ニ塗色スルコト

二　標識記號ハ白字ヲ以テ表スコト但シ標識色白色ナルトキハ黑字ヲ以テ表スコト

第一號樣式



外圓

直徑一五粍

第二號樣式



外圓

直徑一五粍

土木建築等に關する鐵鋼使用證明書交付規程並解說

昭和十三年五月

日本土木建築請負業聯合會

鐵鋼使用統制に就いて

此度政府に於いては、軍需の確保と國際收支の適合とを圖る爲め、鐵鋼の使用を統制さるゝ事になり、鐵鋼の消費部門を八部、即ち一、土木建築業。二、鐵道業。三、造船業。四、機械鐵工業。五、石油業。六鑛業。七、瓦斯事業。八、電氣事業に分ち、それぞれに民間の同業團體を動員して之が使用統制の實施をなさしめらるゝ事となりました。

從つて我が土木建築業に要する鐵鋼は政府に於いて土木建築用として、凡そ一ケ年の使用量を豫定し、更に三ケ月毎に使用量を指定して、我が部門に割當てられるのであります。其の鐵鋼を實需者に配給するに當り、之が配給統制を我が日本土木建築請負業聯合會をして行はしめらるゝ事となりました。即ち今後は土木建築用の鐵鋼は、末項に示す特別の場合の外は本會の鐵鋼使用證明書を以つてしなければ、鐵販賣業者から、鐵を購入することが出來なくなつたのであります。

本會は右の事業を遂行する爲め、茲に鐵鋼使用

證明書交付規程を制定しました。次に其の概要を說明いたします。

鐵鋼使用證明書の請求

本規程の適用範圍は內地に限られて居り、內地に於ける土木建築工事の爲め、鐵鋼を要する場合は工事の請負人又は企業主より、本會々長宛に請求書を出さなければなりません。所要鐵量一噸以上の場合は、次に示す甲號の書式により、必要な書類を添付して、本會宛直接に提出になり、又鐵量一噸未滿の場合は乙號の書式により、工事のある土地の屬する府縣の本會支部長の承認を受けて本會に提出して下さい。

樣式甲（一噸以上ノ場合）　　（太字ハ記入例ヲ示ス）

表面

鐵鋼使用證明書請求書

昭和 **十三** 年 **六** 月 **一** 日

住所　**東京市京橋區銀座三丁目四ノ一**

請求者（請負業者）（企業主）　**大山土木株式會社** ㊞

日本土木建築請負業聯合會々長　原　孝次殿

今般拙者左記ノ通リ鐵鋼使用致度候ニ付證明書交付相成度關係書類相添へ此段請求候也

記

一、工事名稱　**○○○工場新設工事**

二、工事ノ場所　**橫濱市鶴見區汐留通○○番地**

三、企業主住所氏名　**橫濱市中區音羽町八番地**
山田鐵工機械製作所

四、工作物ノ用途　**工場設置**

五、鐵鋼ヲ要スル工作物ノ規模構造（建築工事ニ在リテハ建坪、延坪。土木工事ニ在リテハ工事數量其ノ他）
一部二階建、鐵筋コンクリート造
建平米一○五平方粁、延平米二○八平方粁

六、工事起工竣功年月日　着手　昭和 **十三** 年 **六** 月 **一** 日
竣功　昭和 **十四** 年 **二** 月 **廿八** 日

七、鐵鋼使用種別及月別　（裏面ノ通リ）

（**備考**）鐵鋼ノ種別ニハ大形鋼材（棒鋼、型鋼、軌條及纖目板、タイプレート、矢板）中形鋼材（同上）小形鋼材（同上）厚板、中板、薄板、美麥鋼板、ユニバーサル鋼板、線材、諸管、帶鋼、其他等ト記入スベシ

裏面

鐵鋼使用種別及月別表

年月＼種別										合計
	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸	噸
十三年六月										
同　年**七**月										
同　年**八**月										
同　年**九**月										
同　年**十**月										
同　年**十一**月										
同　年**十二**月										
合　計										
附記										

（備考）

一　本請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スルコト

（一）鐵鋼工作物築造許可規則ニ依リ許可ヲ要スル工事ニ在リテハ其ノ許可書ノ寫

（二）市街地建築物法ニ依リ認可ヲ要スル工事ニ在リテハ其ノ認可書ノ寫

（三）官廳又ハ公共團體ノ工事ニ在リテハ其ノ工事ヲ請負ヒタルコトヲ證スル書面又ハ其ノ寫

（四）企業主他ノ鐵鋼使用統制機關ニ屬スル場合ニ在リテハ其ノ統制機關ノ證明書

（五）前各號ニ依ラザル工事ニ在リテハ其ノ工事ヲ實施スベキコトヲ證スル官公署又ハ本會支部長ノ證明書

（六）鐵鋼使用數量ヲ明示スベキ圖面

二．本請求書ハ一工事ニ付使用スル鐵鋼壹噸以上ノ場合ニ之ヲ適用シ壹噸未滿ノ場合ニハ別ニ定ムル請求書ヲ提出スルモノトス

三．本請求書ノ請求者請負業者ナルトキハ請求者氏名欄中企業主ヲ抹消シ又請求者企業主ナル場合ハ請求者氏名欄中請負業者ヲ抹消シ且ツ左記欄中企業主ノ項ヲ抹消スルモノトス

四．鐵鋼使用證明書ノ分割交付ヲ受クル特別ノ必要アルトキハ請求書中鐵鋼使用種別及月別表ノ末尾ニ附記スベシ

五．鐵鋼使用證明書請求後使用數量若ハ月割ニ變更ノ必要ヲ生ジタルトキハ遲滯ナク請求ノ變更ヲ申出ヅベシ

六．本請求書ハ楷書ヲ以テ墨又ハ「インク」ニテ明瞭ニ記載スルモノトス

樣式乙（一廻未滿ノ場合）　　（太字ハ記入例ヲ示ス）

鐵鋼使用證明書請求書

昭和**十三**年**六**月**一**日

住所　**東京市京橋區銀座三丁目四ノ一**

請求者（請負業者）**大山土木株式會社** ㊞

日本土木建築請負業聯合會々長　原　孝次　殿

今般拙者左記ノ通リ鐵鋼使用致度候間證明書交付相成度此段及請求候也

記

一、工事名稱　**○○○工場新設工事**

二、工事ノ場所　**東京市下谷區谷中三崎町五十六番地**

三、企業主住所氏名　同所

栗原印刷株式會社

四、鐵鋼使用數量　**○瓲九五**

右相違ナキコトヲ承認候也

昭和　年　月　日

日本土木建築請負業聯合會○○支部長 ㊞

（備考）

一．本請求書ニハ本會支部長ノ承認シタルコトヲ末尾ニ記載シ本會ニ提出スルモノトス

前項ノ本會支部設置ナキ府縣ノ請負業者請求セントスルトキハ本請求書ヲ直接本會ニ提出スルモノトス

此ノ場合ハ工事場所ヲ管轄スル官署ニ照會シ之ヲ證明スルコトアルベシ

二．本請求書ハ楷書ヲ以テ墨又ハ「インク」ニテ明瞭ニ記載スルモノトス

鐵鋼使用證明書の交付

鐵鋼使用證明書の請求があつた場合には、審査の上、其の請求が妥當であると認めた時には、政府より我部門に割當てられて居る鐵鋼數量の範圍内に於いて證明書を交付します。

此の證明は、一工事に要する鐵量全體を證明することを本則とします。然し政府の數量指定は三ケ月毎に行はれますので、其の後の割當の豫想の都合に依つては、鐵鋼使用月割の一部證明と云ふ事も起つて來る事があります。

鐵鋼使用證明書は、一工事に付き一通を交付することを本則としますが、請求者の方で、鐵を二人以上の鐵販賣業者より購入する必要のある場合に證明書の分割を必要とさるゝ場合には、希望により分割交付を致すことも出來ます。

又一度證明書を受けた後、工事の設計變更、其の他種々の事情により、鐵鋼の增加を要し、又は月割繰上の必要を生じた時には、其量に付新に請求をなし、證明書の交付を要します。

工事中止其の他の爲め、數量の減少、又は月割量繰下の場合は、直に其旨届出で、本會の指示を受けねばなりません。

鐵鋼の購入

鐵鋼販賣業者より、鐵鋼を購入、即ち購入契約をせらるゝ時には鐵鋼使用證明書を鐵鋼販賣業者に渡さなければなりません。鐵鋼販賣業者は、證明書に示された月割に依つて、鐵を供給して呉れます。

鐵鋼販賣業者より鐵鋼を購入、即ち購入契約をした時には、必ず直ちに其の取引先の連署證明を付して取引年月日、及購入契約の鐵鋼量等を、本會に通知せなければなりません。

鐵鋼使用證明書交付手數料

鐵鋼使用證明書を受くる場合には、一噸（端數切上げ）に付金貳拾錢（再交付の場合は金拾錢）の手數料を本會に納めらるゝことを要します。

手數料の納入は便宜上、證明書請求書と同時に前納されて差支ありません。此場合に證明の鐵鋼量が、請求の鐵鋼量より少く決定された場合には其の納入を要しない部分の手數料は、返送料を差引き、殘額を御返金します。

鐵鋼使用證明書を亡失して再交付を受くるときは一噸（端數切上げ）金拾錢の再交付手數料を要します。

規程違反の場合

限られた鐵鋼を御互に有効に使ふ爲めには、各自本規程の精神を充分了解されて、統制の圓滑なる運用に協力されむことを望むものであります。

本會の支部

現在支部の設置ある府縣及其管轄區域左の通り

管轄區域	支部名	支部所在地
警視廳管下一圓	東京支部	東京土木建築業組合 東京市麹町區内幸町二ノ一大阪ビル六階
大阪府下一圓	大阪支部	大阪土木建築業組合 大阪市東區味原町九九ノ乙
京都府下一圓	京都支部	京都土木建築請負業組合 京都市下京區河原町通四條下ル富士ビル
兵庫縣下一圓	兵庫縣支部	兵庫縣土木建築請負業組合聯合會 神戸市湊東區荒田町一ノ六〇七

若し不幸にして違反者のあつた場合には、次の如き制裁があります。

一、虚僞の請求をして鐵鋼使用證明書を受け、又は受けんとしたる場合

二、鐵鋼使用證明書を受けたる者、特別の事情や理由がなく、割當の鐵鋼を購入せず、又は購入して所定の期間に使用せない場合

三、鐵鋼を購入して、所定の目的に使用せない場合

以上の場合の一に當ると認められた時には、本會は一度使用證明書を交付した後でも、其の證明を變更又は取消し、場合に依つては將來の請求を拒むことになつて居ります。

本會の鐵鋼使用證明書を要しない特別の場合

一、軍直接の用に供する土木建築物にして軍用たるの證明あるとき。

二、國及公共團體が材料支給を爲すとき及び鐵鋼配給統制機關に屬する企業主にして現に材料支給を以て工事中なる場合に其の屬する鐵鋼配給統制機關の證明あるとき。但し此の場合に於ては鐵鋼の種類、數量を發注と同時に本會に通知される。

三、國、公團體及鐵鋼需要の割當を受くる鐵鋼統制機關に屬するものゝ直營工事のとき。但し鐵鋼の種類、數量發注と同時に本會に通知される。

鐵鋼使用統制に關する機關

本會には鐵鋼使用統制に關し、會長の諮問機關として鐵鋼使用統制委員會が設けられ、又鐵鋼使用統制に關する事務を處理する爲め、鐵鋼統制部が設けてあります。

若し鐵鋼使用證明書交付に關し、質疑等ある場合は、右の本會鐵鋼統制部へ御照會を願ひます。

（昭和十三年五月一日現在）

名古屋市並附近 一圓	名古屋支部	名古屋土木建築請負業組合 名古屋市東區朝日町一丁目六
横濱市並附近 一圓	横濱支部	横濱土木建築請負業組合 横濱市中區扇町一ノ一
横須賀市並附近 一圓	横須賀支部	横須賀建工同志會 横須賀市稻岡町九（小泉金三方）
川崎市並附近 一圓	川崎支部	川崎市土木建築請負業組合 川崎市東二丁目一五
北海道總管下 一圓	北海道支部	北海道土木建築業聯合會 札幌市北四條西三丁目一
青森縣下 一圓	青森縣支部	青森縣土木建築請負業聯合組合 青森市大字浦町字橋本五一
秋田縣下 一圓	秋田縣支部	秋田縣土木建築請負業協會 秋田市川反二丁目二七
山形縣下 一圓	山形縣支部	山形縣土木建築請負業協會 山形市香澄町字大寶寺町鐵道請負人詰所
宮城縣下 一圓	宮城縣支部	宮城縣土木建築請負業組合 仙台市立町六二番地
富山縣下 一圓	富山縣支部	富山縣土木建築協會 富山市總曲輪八〇番地
水戸市並附近 一圓	水戸支部	茨城工業倶樂部 水戸市上市仲町五〇四
群馬縣下 一圓	群馬縣支部	群馬縣土木建築請負業組合 前橋市南曲輪乙一六
栃木縣下 一圓	栃木支部	栃木縣土木建築請負業組合 宇都宮市江野町二二
千葉縣下 一圓	千葉縣支部	千葉縣土木建築請負業聯合會 千葉市吾妻町三丁目三七
長野縣下 一圓	長野縣支部	長野縣土木建築請負業組合 長野市南長野德永町一〇五七ノ六
山梨縣下 一圓	山梨縣支部	山梨縣土木建築請負業組合 甲府市櫻町四番地
靜岡縣下 一圓	靜岡縣支部	靜岡縣土木建築請負業組合 靜岡市日出町二〇番地
岐阜縣下 一圓	岐阜縣支部	岐阜縣土木建築請負業組合 岐阜市吉野町五丁目三二九三ノ三
三重縣下 一圓	三重縣支部	三重縣土木建築請負業組合 津市榮町六番地
金澤市並附近 一圓	金澤支部	金澤市土木建築請負業組合 金澤市玉川町一三（長組内）
鳥取縣下 一圓	鳥取縣支部	鳥取縣土木建築請負業組合聯合會 鳥取市西町（赤十字病院前）
岡山縣下 一圓	岡山縣支部	岡山縣土木建築請負業組合 岡山市野殿町三六
廣島縣下 一圓	廣島縣支部	廣島縣土木建築請負業組合 廣島市大手町九丁目三（高橋道之助内）
德島縣下 一圓	德島縣支部	德島縣土木建築請負業組合聯合會 德島市寺島町（森豐組方）
福岡市並附近 一圓 建築業者	福岡支部	福岡土木建築請負業組合 福岡市西中洲博多商工會議所内
福岡縣下土木業者	福岡縣土木支部	福岡縣土木請負業組合聯合會 福岡市西中洲博多商工會議所内

長崎縣下一圓	長崎縣支部	長崎縣土木建築請負業聯合會 長崎市臺場町三丁目二
佐賀縣下一圓	佐賀縣支部	佐賀縣土木建築業同志會 佐賀市通池町佐賀亂工會議所內
熊本縣下一圓	熊本縣支部	熊本縣土木建築請負業組合聯合會 熊本市櫻井町五番地
大分縣下一圓	大分縣支部	大分縣土木建築請負業聯合會 大分市大字大分字仲ノ町二五二
宮崎縣下一圓	宮崎縣支部	宮崎縣土木建築業聯合會 宮崎市宮崎縣廳內
鹿兒島縣下一圓	鹿兒島縣支部	鹿兒島縣土木建築請負業組合聯合會 鹿兒島市易居町二ノ一五
沖繩縣下一圓	沖繩縣支部	沖繩縣土木建築請負業組合 那覇市美榮橋町一ノ四二

鐵鋼使用證明書交付規程

第一條　本會ハ商工省令第　　號ニ依リ土木建築請負業者若ハ企業者ノ請求ニ依リ其工事用鐵鋼ノ使用ヲ證明スル證票ヲ交付ス

第二條　鐵鋼使用證明書ヲ受ケントスルモノハ左記樣式ノ請求書ヲ本會長ニ提出スヘシ

（樣　式）

鐵鋼使用證明書請求書

昭和　　年　　月　　日

住所

請求者（請負業者）（企業主）

日本土木建築請負業聯合會々長　原　　孝　　次殿

今般拙者左記ノ通リ鐵鋼使用致度候ニ付證明書交付相成度關係書類相添へ此段請求候也

記

一、工事名稱

二、工事ノ場所

三、企業主住所氏名

四、工作物ノ用途

五、鐵鋼ヲ要スル工作物ノ規模構造（建築工事ニ在リテハ建坪、延坪。土木工事ニ在リテハ工事數量其ノ他）

六、工事起工竣功年月日　着手昭和　　年　　月　　日

竣功昭和　　年　　月　　日

七、鐵鋼使用種別及月別（裏面ノ通リ）

（備考）鐵鋼ノ種別ニハ大形鋼材（棒鋼、溝鋼、軌條及繼目板、タイプレート、矢板）中形鋼材（同上）小形鋼材（同上）厚板、中板、薄板、美裝鋼板、ユニバーサル鋼板、線材、筒管、帶鋼、其ノ他等記入スヘシ

鐵鋼使用種別及月別表

種別 / 年月											合計
年月	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲
年月											
年月											
年月											
年月											
年月											
年月											
合計											
附記											

第三條　前條第一項ノ請求書ニハ左ニ揭クル書類ヲ添付スヘシ

一、鐵鋼工作物築造許可規則ニ依リ許可ヲ要スル工事ニアリテハ其ノ許可書ノ寫

二、市街地建築物法ニ依リ認可ヲ要スル工事ニアリテハ其ノ認可書ノ寫

三、官廳又ハ公共團體ノ工事ニアリテハ其ノ工事ヲ請負ヒタルコトヲ證スル書面又ハ其ノ寫

四、企業主他ノ鐵鋼使用統制機關ニ屬スル場合ニアリテハ其ノ統制機關ノ證明書

五、前各號ニ依ラサル工事ニアリテハ其ノ工事ヲ實施スヘキコトヲ證スル官公署證明書又ハ本會支部長ノ調査報告書

六、鐵鋼使用數量ヲ明示スヘキ圖面

第四條　本規程第二條ノ請求ヲ受ケタルトキハ審査ノ上適當ト認ムルモノニ付政府ヨリ土木建築工事用トシテ割當テラレタル數量ノ範圍内ニ於テ鐵鋼使用證明書ヲ交付ス

第五條　鐵鋼使用證明書ヲ受ケタルモノハ鐵鋼購入契約ヲナスニ當リ其ノ購入先ニ之ヲ交付スヘシ

第六條　前條ニ依リ鐵鋼購入契約ヲナシタルトキハ直ニ購入先ノ證明ヲ付シ、其ノ購入瓲數及購入年月日ヲ本會ニ報告スヘシ

第七條　左記各項ノ一ニ該當スト認ムルトキハ使用ノ證明ヲ變更又ハ取消シ且ツ將來ノ請求ヲ拒否スルコトアルヘシ

一、虚僞ノ請求ヲナシテ鐵鋼使用證明書ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者

二、鐵鋼使用證明書ヲ受ケタル者特別ノ事由ナクシテ所定ノ鐵鋼ヲ購入セス又ハ鐵鋼ヲ購入シテ所定ノ期間ニ使用セサル者

三、鐵鋼ヲ購入シテ所定ノ目的ニ使用セサル者

第八條　鐵鋼使用證明書ハ一工事ニ付一通ヲ交付スルモノトス、但請求者ノ希望ニ依リ之ヲ分割交付スルコトヲ得

第九條　鐵鋼使用證明書ハ左ノ樣式ニ依ル

鐵鋼使用證明書

住所

番號　請求者　氏名

工事名

工事場所

企業主住所氏名

鐵鋼使用證明月別表

年月	數量	備考
年月	……	
年月	……	
年月	……	
合計	……瓲	

瓲數ヲ打拔數字ニテ示ス

昭和　年　月　日

日本土木建築請負業聯合會　㊞

第十條　鐵鋼使用證明書ノ交付ヲ受クルモノハ一瓲ニ付金貳拾錢（一瓲未滿ノ端數ハ一瓲ニ切上ク）ノ手數料ヲ本會ニ納付スヘシ

前項ノ手數料ハ鐵鋼使用證明書請求ト同時ニ納付スルヲ妨ケス此ノ場合ニ於テ請求ト證明ト相違スルトキハ其ノ納付ヲ要セサルモノニ付返送料ヲ差引キタル金額ヲ納付者ニ返還スルモノトス

第十一條　本會ニ鐵鋼使用統制委員會ヲ設ケ會長ノ諮問ニ應シ鐵鋼使用統制ニ關スル事項ヲ審議ス委員會ニ委員長一名委員若干名ヲ置キ會長之ヲ委囑ス

委員會ニ顧問若干名ヲ置キ商工省高等官、土木建築ニ關係アル有力ナル團體ノ代表者及學者及學識經驗アル者ニ會長之ヲ委囑ス

第十二條　本會ハ本規程ニ基キ鐵鋼使用證明ニ關スル事務ヲ行フ爲鐵鋼統制部ヲ設ケ左ノ職員ヲ置ク

部　長	一	名
技　師	若干	名
書　記	若干	名

部長ハ會長ノ命ヲ受ケ所務ヲ處理ス

技師及書記ハ部長ノ命ヲ受ケ事務ニ從事シ隨時鐵鋼使用ノ狀況ヲ視察スルモノトス

附　則

第十三條　本會支部設置ナキ府縣ニ於テ第二條第二項ノ場合ハ本會ニ直接請求スヘシ

鐵鋼使用統制事務細則

第一條　鐵鋼使用統制ニ關スル事務ハ鐵鋼使用證明書交付規程ニ依ルノ外本細則ニ依リ處理スルモノトス

第二條　鐵鋼使用證明書交付規程第二條ニ依ル請求書ヲ受理シヲル時ハ鐵鋼統制部長ハ技師竝書記ヲシテ右請求ノ當否ヲ審査セシメ適當ト認ムルモノニ對シ鐵鋼使用證明書ヲ交付スルモノトス

第三條　請求書ノ受理ハ本會ニ到達シタル順位ニ依リ同時ハ到達シタルモノニ對シテハ受付タル順位ニ依ルモノトス

第四條　鐵鋼證明ノ決定ハ請求書類ノ完備シタルモノ先順位トス

第五條　鐵鋼使用證明書交付規程第六條ノ義務ヲ怠リタルトキ又第十條ノ手數料ヲ納付セサル場合請求者ニ對シ證明書ノ交付ヲ留保スルコトヲ得

第六條　鐵鋼使用證明書ノ交付ヲ受ケタル後證明書記載數量ノ增加又ハ月割量繰上ヲ要スルトキハ鐵鋼使用證明書交付規程第二條ニヨリ其量ニ付新ニ請求スヘキモノトス

工事ノ中止其他ノ爲メ數量減少又ハ月割量繰下ノ場合ハ直ニ本會ニ屆出テ其指示ヲ受クルモノトス

第七條　鐵鋼使用證明書ノ交付ヲ受ケタルモノ之ヲ亡失シタルトキハ其事申ヲ記載シ當該府縣ニ於ケル本會支部長ノ證明ヲ得テ本會ニ再交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ鐵鋼統制部ハ曩ニ交付シタルトキノ關係書類ト照合シタル上證明書ニ「再交付」ト朱書シ交付スルモノトス

第八條　前條ニ依リ鐵鋼使用證明書ノ再交付ヲナストキハ一瓲（端數切上ケ）ニ付金拾錢ノ再交付手數料ヲ徵收ス

第九條　鐵鋼使用統制委員會ハ會長ノ諮問ニ應シ左ノ事項ヲ審議スルモノトス

一、鐵鋼統制ニ關スル事務細則ノ制定又ハ變更
二、審査ノ方針
三、鐵鋼使用證明書交付規程第七條ニ依ル處置
四、建議又ハ答申
五、鐵鋼統制部ノ豫算及決算ノ承認
六、鐵鋼使用統制ニ關スル重要ナル事項

第十條　鐵鋼統制委員會ハ委員長之ヲ招集ス

第十一條　鐵鋼統制委員會ハ每月一回之ヲ開ク但シ必要ニ依リ隨時之ヲ開クコトヲ得

第十二條　鐵鋼統制委員會ノ議事ハ委員長之カ議長トナリ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル處ニ依ル

第十三條　鐵鋼統制部ニ左ノ係ヲ設ケ各係ニ主任ヲ置ク

一、庶　務　係
二、審　査　係
三、會　計　係

第十四條　庶務係ハ左ノ事項ヲ司ル

一、文書ノ收受發送
二、會印、會長印、部長印ノ管守
三、證明書交付ニ關スル事項
四、他係ニ屬セサル事項

第十五條　審査係ハ左ノ事項ヲ司ル

一、鐵鋼使用證明書請求書ノ審査

二、鐵鋼使用狀況ノ巡視

三、其他鐵鋼使用證明書交付ニ關スル一切ノ審査

第十六條　會計係ハ左ノ事項ヲ司ル

一、鐵鋼統制部ニ屬スル收入支出豫算、決算ノ執行ニ關スル事項

二、預金、現金ノ出納ニ關スル事項

三、鐵鋼統制部ニ屬スル財產、物品ノ購入、使用、賣拂ニ關スル事項

第十七條　鐵鋼統制部ニハ左ノ帳簿ヲ備付ケ各擔任係ニ於テ記入スルモノトス

一、文書ノ收受發送件名簿

二、請求書受理簿

三、請求及證明簿(人別 府縣別)

四、一廻未滿請求及證明簿

五、指定用途別數量差引簿

六、證明書交付簿

七、手數料納入簿

八、金錢出納簿

九、同　元　帳

十、物品受拂簿

十一、支部會員一覽名簿

十二、其他必要ナル帳簿

第十八條　本會支部ニ於テ鐵鋼使用證明書交付規程第二條第二項ノ請求書ヲ受理シタルトキハ使用目的其他ノ調査ヲ爲シ右請求書ニ「右相違ナキコトヲ承認ス」ト奥書シ支部長ノ捺印ヲナシ請求者ニ交付スルモノトス

前項支部長印ハ本會ニテ作製配布シタルモノヲ押捺スルモノトス

第十九條　鐵鋼使用證明書交付規程第三條第五號ノ場合ニ於テ請求者ヨリ支部長ニ對シ證明書ノ交付ヲ要求セラレタルトキハ請求書記載事項中工事實施ニ關スル項目ヲ調査シタル上左記樣式ノ證明書ヲ交付スルモノトス

前項ノ場合ニ於ケル支部長印ハ前條第二項ニヨル印鑑ヲ押捺スルモノトス

ヽヽ鐵鋼第　　號

工事調査報告書

請負業者

住所氏名

一、工　事　名

二、工事場所

三、企業主住所氏名

鐵鋼使用證明書交付規程第三條ニ依リ右工事ノ實施セラルヘキコトヲ證ス

昭和　　年　　月　　日

日本土木建築請負業聯合會……支部長 ㊞

附　記

本細則ニ明示ナキ事項又ハ疑義ヲ生シタル場合ハ鐵鋼使用統制委員會ノ協議ニヨリ會長之ヲ定ム

鐵鋼使用統制委員會

顧　問

商工省臨時物資調整局第一部長	小金義照	
同　同　局第一課長	阿部豐	
同　同　局事務官	平井富三郎	
(豫定)同　工務局長	小島新一	
(豫定)同　工務課長	橋井眞	
建築學會會長	佐野利器	

	（豫定）土木學會會長	辰馬鎌藏		
	日本建築士會會長	櫻井小太郎		
	日本建築協會會長	片岡安		
委員長	（○印ハ小委員會委員）			
（東京）	○株式會社島藤	島田藤		
委員				
（東京）	○大倉土木株式會社	武富英一		
（同）	株式會社間組	濱野三郎		
（同）	○中央土木株式會社	宮長平作		
（同）	○株式會社清水組	富永長治		
（同）	鐵道工業株式會社	城民雄		
（同）	株式會社鹿島組	末永民藏		
（同）	勝村組	勝村幾之介		
（大阪）	○株式會社錢高組	錢高作太郎		
（同）	○株式會社大林組	鈴木甫		
（同）	株式會社竹中工務店	瀨戸强三郎		
（同）	株式會社松村組	松村雄吉		
（同）	株式會社鴻池組	鈴木末尾		
（神戸）	株式會社中島組	中島富造		
（名古屋）	近藤組	日向野善次		
（岡山）	中國土木合資會社	逢澤寬		
（福岡）	合名會社山本組	山本愛治		
（秋田）	合資會社栗原組	栗原源藏		
（北海道）	伊藤組	伊藤豐次		
鐵鋼統制部				
部長	聯合會主事	松岡英介		

土木建築用鐵鋼の配給統制に關する通牒

寫

昭和13年5月28日

大阪府經濟部長

日本建築協會會長殿

土木建築用鐵鋼の配給統制に關する件

標記の件に關し商工省鑛山局長より別紙通牒有之候に付貴組合（又は協會）員に右趣旨を徹底被使爲度此段及移牒候也

13鑛局第259號

寫

昭和13年5月6日

商工省鑛山局長　小金義照

大阪府知事殿

土木建築用鐵鋼の配給統制に關しては左記の通致度に付可然御措置相煩度此段及通牒候也

記

1. 土木建築業者又は建築主が鐵鋼の註文を爲さんとするときは日本土木建築請負業聯合會の證明書及建築主が國若は公共團體なるときは國若は公共團體の證明書又は建築主の鐵鋼統制機關ある場合は當該統制機關（例へば造船業に於ける造船聯合會）の證明書を附すること
2. 左に揭ぐる場合に於ては日本土木建築請負業聯合會の證明書を要せざること
   1. 軍直接の用に供する土木建築物にして軍用たるの證明ある場合
   2. 建築主に於て材料を支給する場合に於て建築主が國及公共團體なるとき及現に施行中の工事にして建築主の屬する鐵鋼配給統制團體の證明書あるとき　但し此の場合に於ては鐵鋼の種類數量を發註と同時に日本土木建築請負業聯合會に通知すること
   3. 國、公共團體及鐵鋼統制の需要者團體に屬する者の直營工事の場合但し鐵鋼の種類、數量を發註と同時に日本土木建築請負業聯合會に通知すること
3. 土木建築業者は日本土木建築請負業聯合會に加入する樣御措置相成度こと
4. 貴管下販賣業者等に右趣旨徹底を圖られたきこと
5. 日本土木建築請負業聯合會の證明書發行は6月1日より實施する豫定なること

備考

鐵鋼統制の需要者團體名は取纏め至急通知す

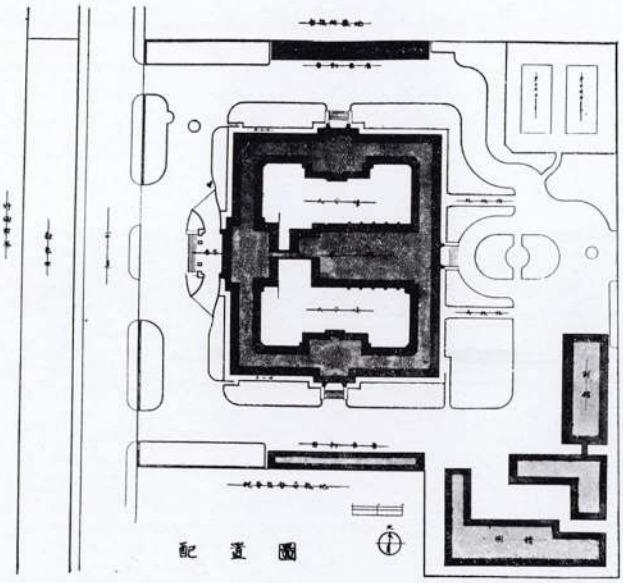


全　景

"愛知縣廳舍"　設計・愛知縣警察部建築課・施工・戸田組



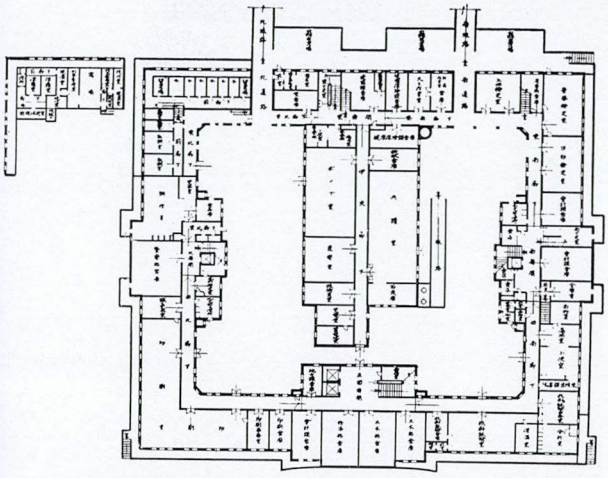
背　　面



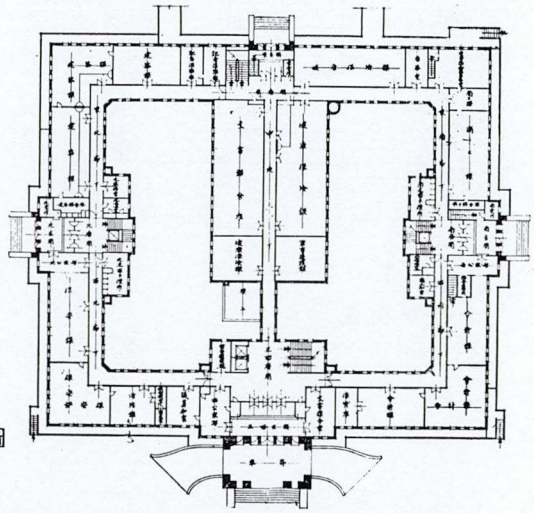
VI 2　“愛知縣廳舍”　設計・愛知縣警察部建築課・施工・戶田組



正　面　玄　關



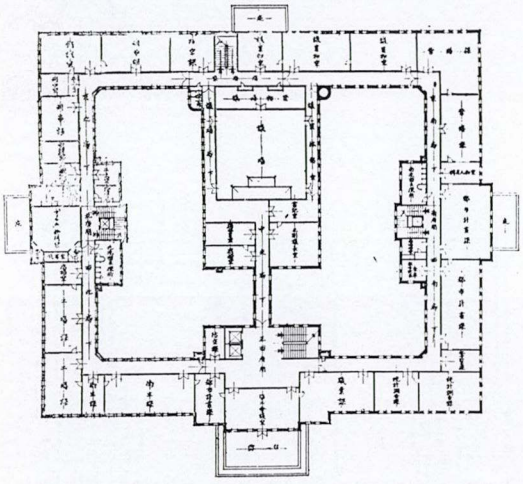
地階平面圖



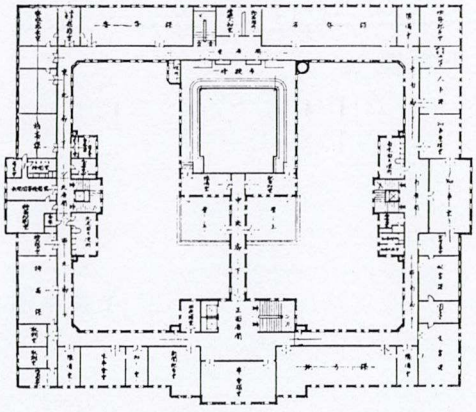
1階平面圖



正　　廳

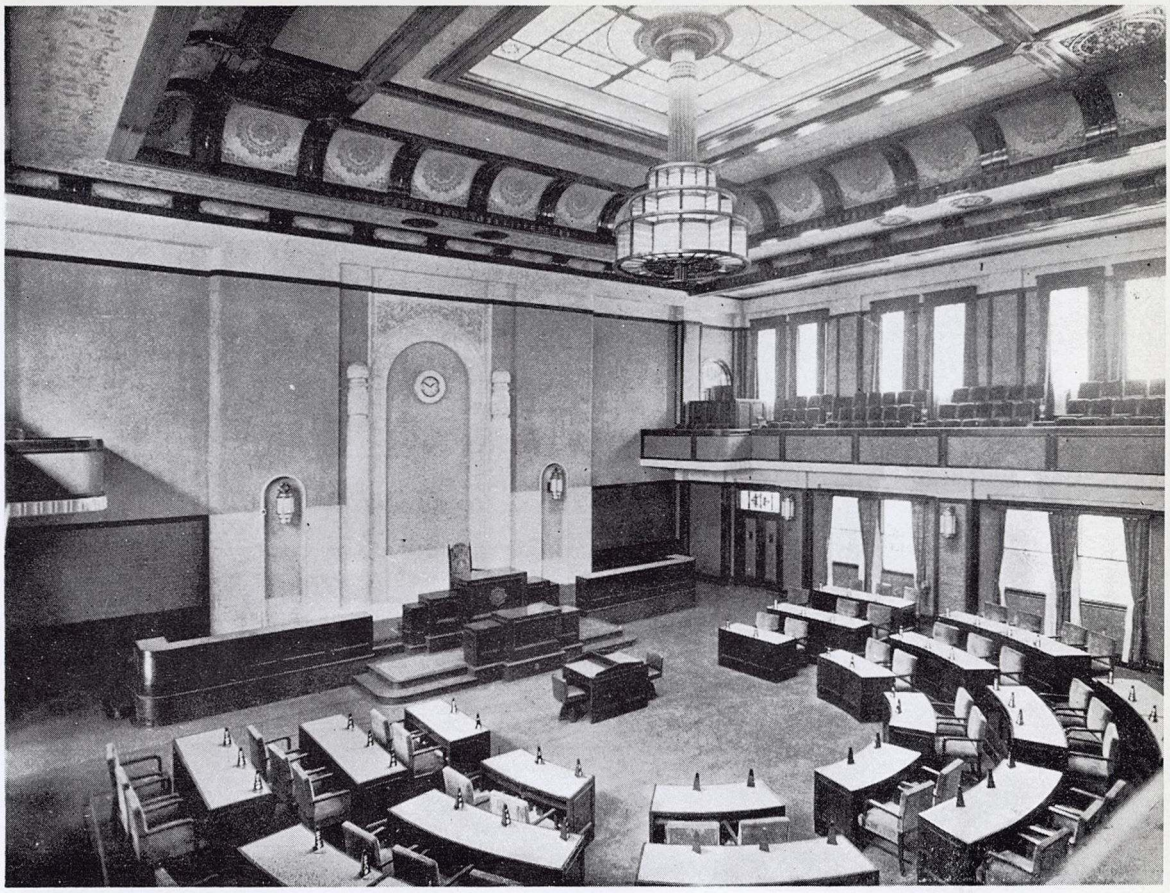


2 階 平 面 圖

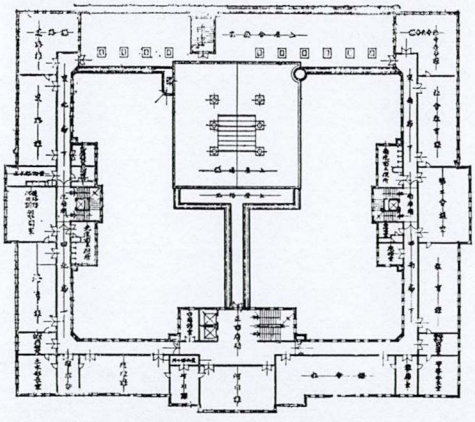


3 階 平 面 圖

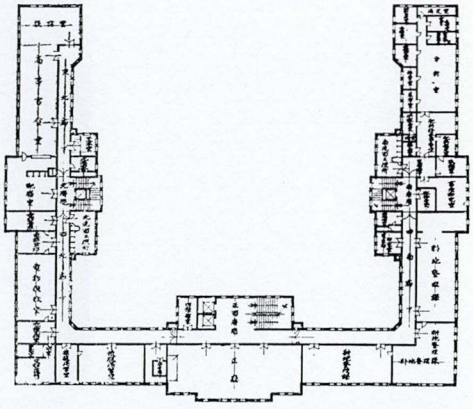
“愛 知 縣 廳 舍”　設計・愛知縣警察部建築課・施工・戸田組



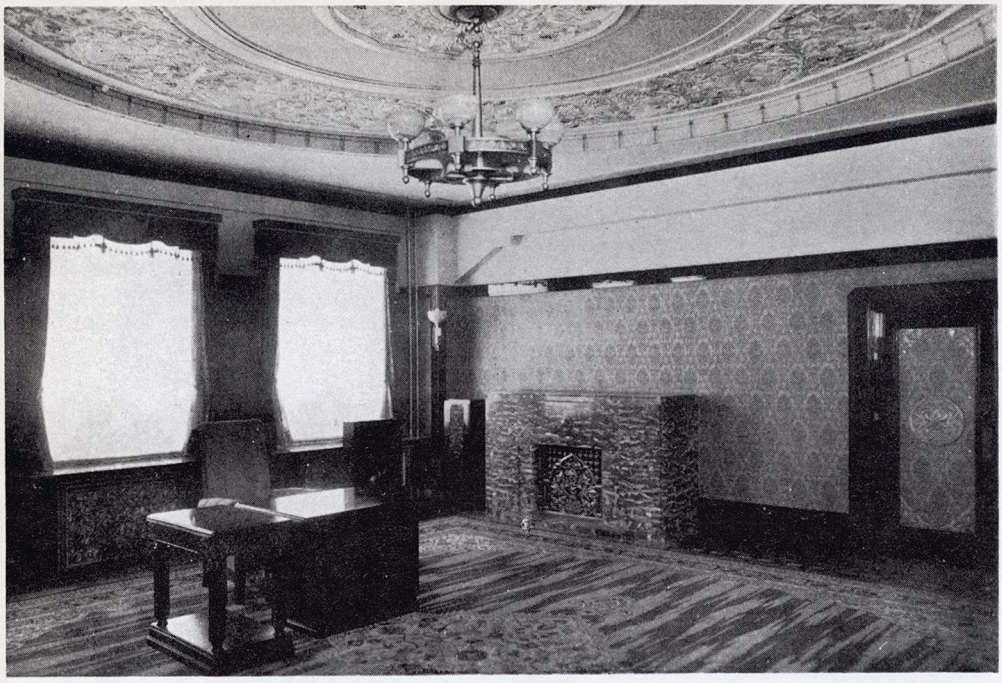
議　　場



4.階平面圖



6階平面圖



貴賓室

工　程
　地鎭祭　昭和5年12月13日
　起　工　昭和10年10月24日
　定礎式　昭和12年5月29日
　竣　工　昭和13年2月28日
樣　式
　日本趣味を基調としたる近世式とす
構　造
　主　體　鐵骨鐵筋コンクリート耐震耐火構造にして地階共7階建一部4階建塔屋地階共8階建
地　形　地質良く地盤線より8.40米掘下げ捨コンクリート0.10米を施行せり
基　礎　鐵筋コンクリート造りとす
幅　員　正面長さ 88.00米
　側面長さ 76.00米
軒　高　地盤面より軒蛇腹上端迄27.01米
棟　高　地盤面より正面塔屋棟迄39.79米
階　高　各階床迄　4.00米
　1階のみ　4.60米



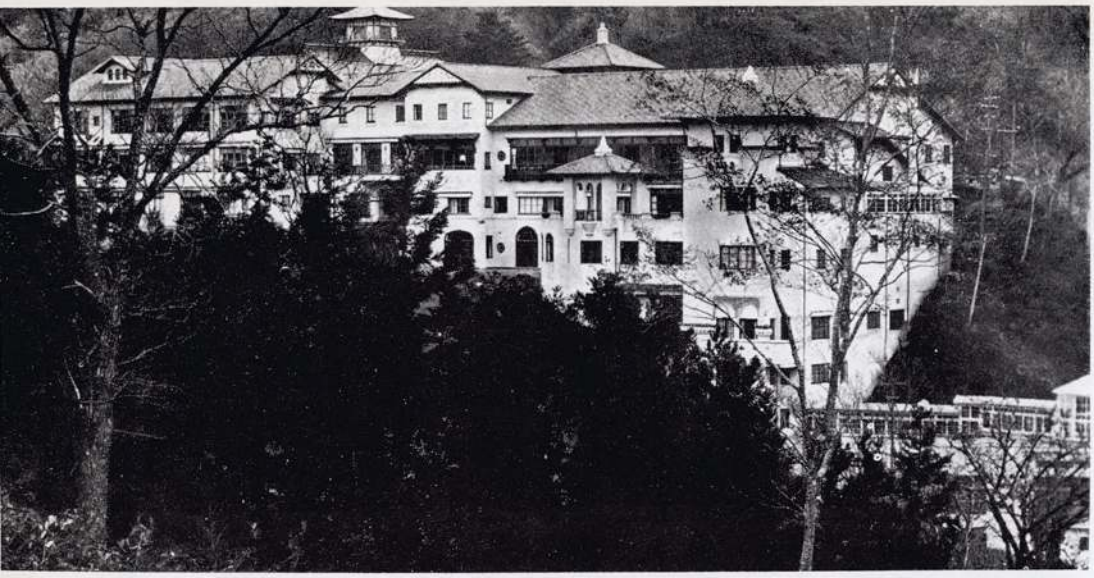
知　事　室

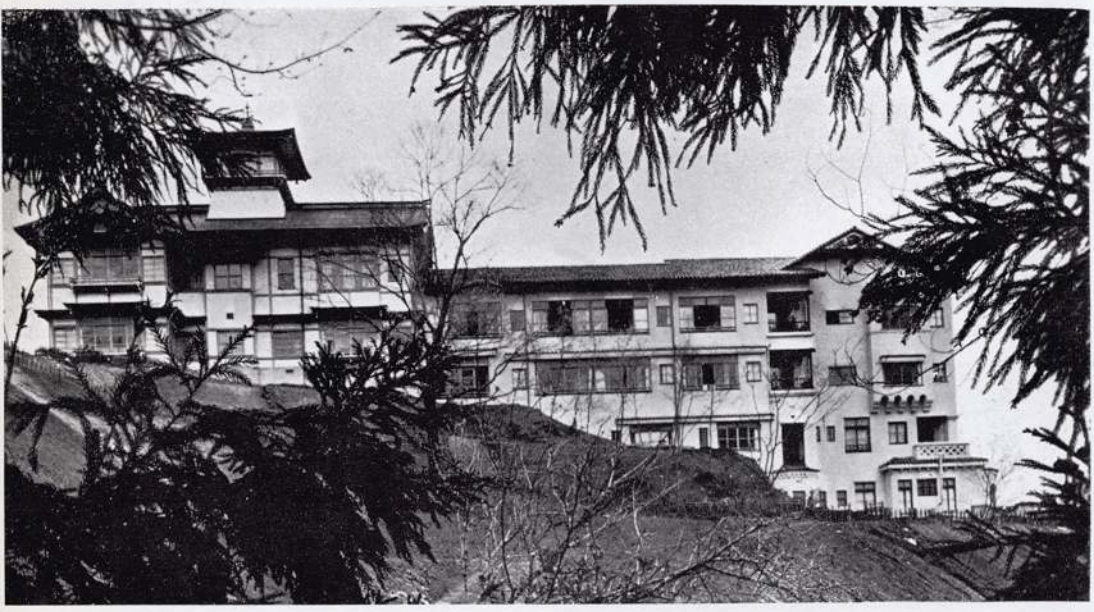


正　面　外　觀



夜　景



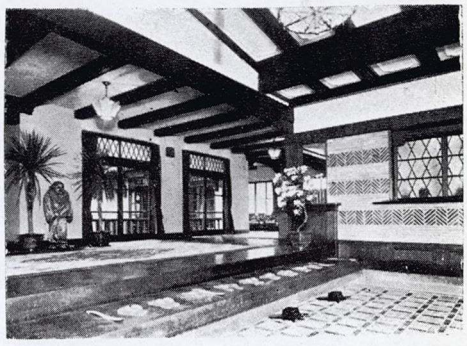


背 面 外 觀（上下）

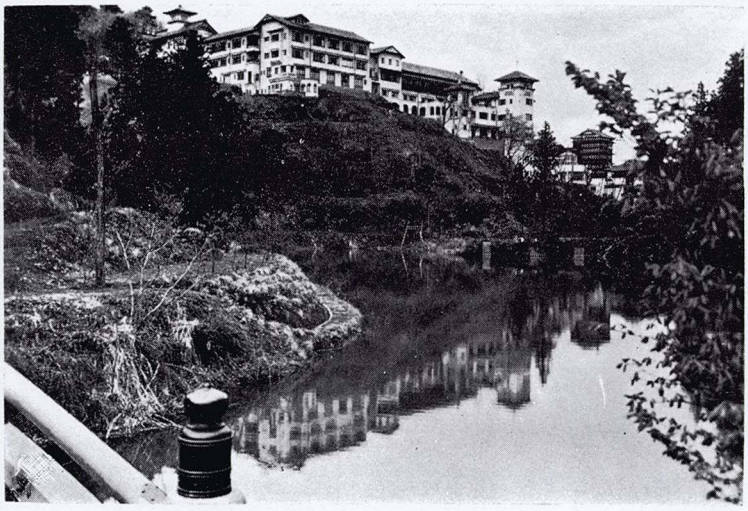
VI 8 “白 雲 樓”（金澤） 設計・施工・大林組住宅部

外　　觀

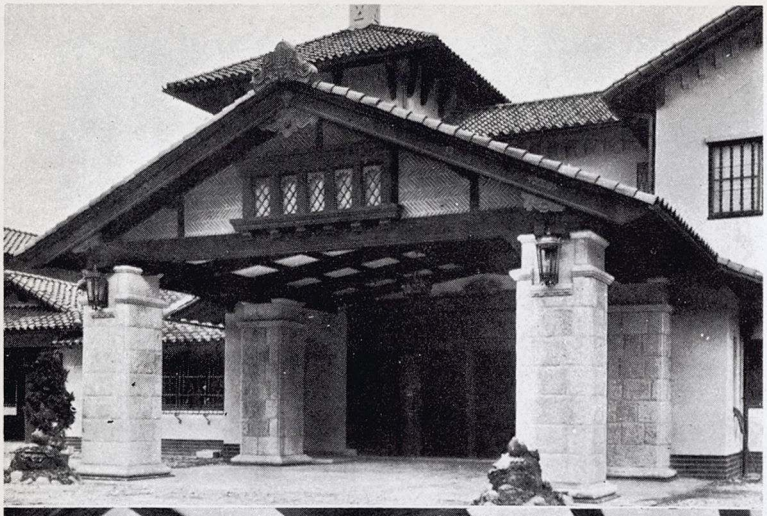




玄　　關



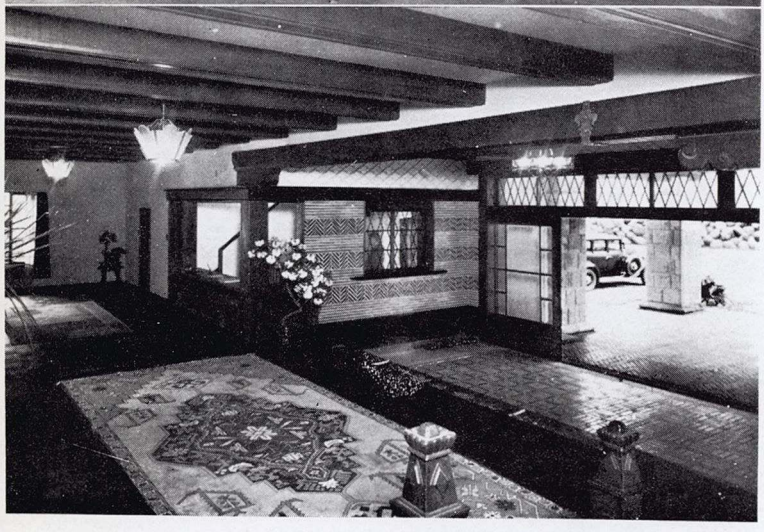
背　面　外　觀



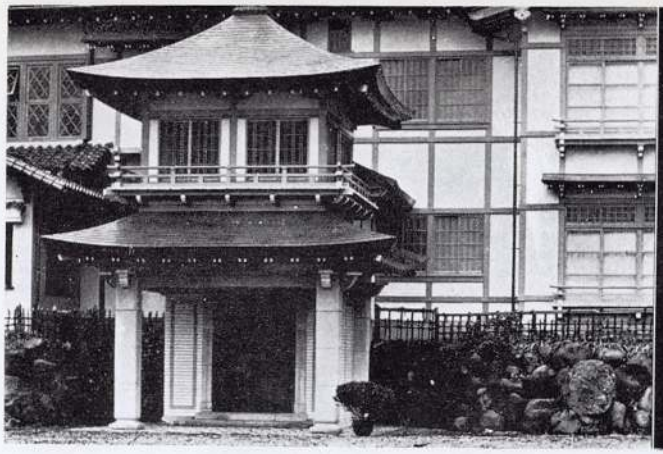
玄　　關



玄關ポーチ



玄關ホール



貴賓館正面

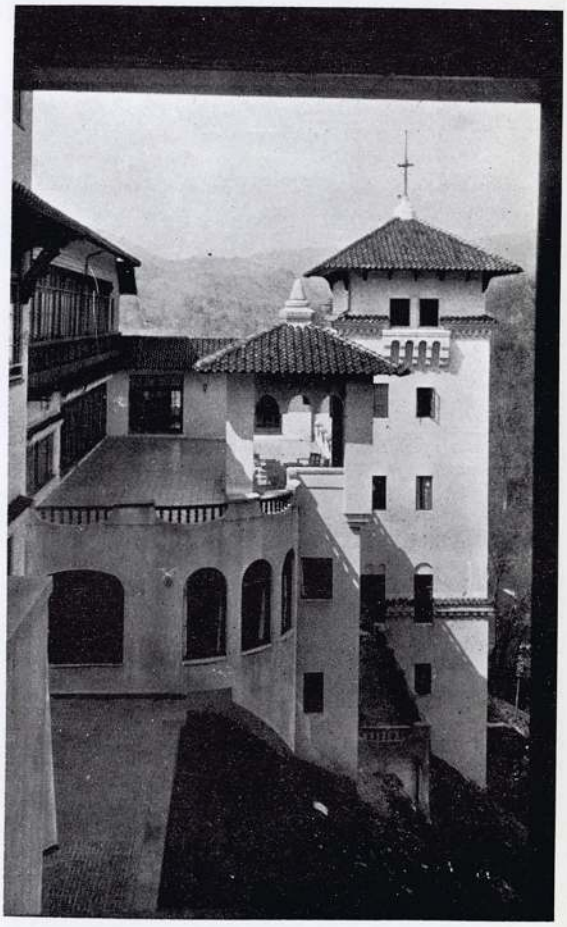


バルコニーと亭（夕景）

貴　賓　館



塔屋及亭を望む





ダンス・ホ



遊　　戯　　室



中庭（テレース）

VI 12　“白　雲　樓”（金澤）　設計・施工・大林組住宅部

ダンス・ホール

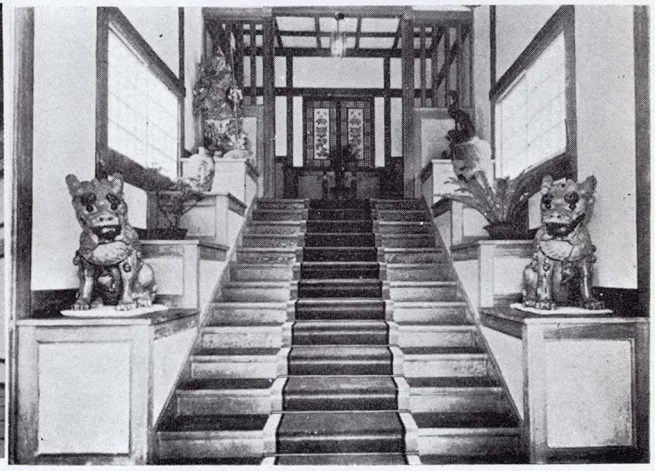


様式　本　館　近世スパニツシユ式
　　貴賓館　古代日本式
構造　本　館　鐵筋コンクリート造
　　り　上層2階木造
　　地下共2階建
　　貴賓館　木造2階建
坪數　本　館　1,934.337
　　貴賓館　151.98
　　延　計　2,086.317坪
　　場　所　金澤市外湯涌

大　廣　間



貴賓館入口





階　　段

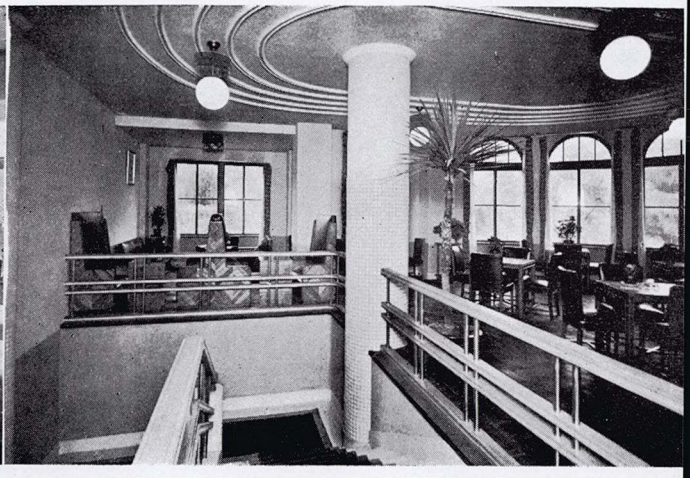


食　　堂

支那風客室



酒　　場



社　交　室

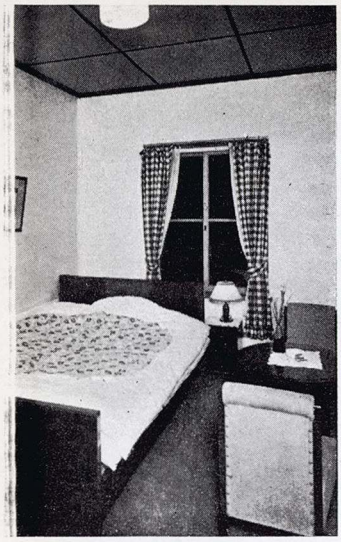


貴　賓　室

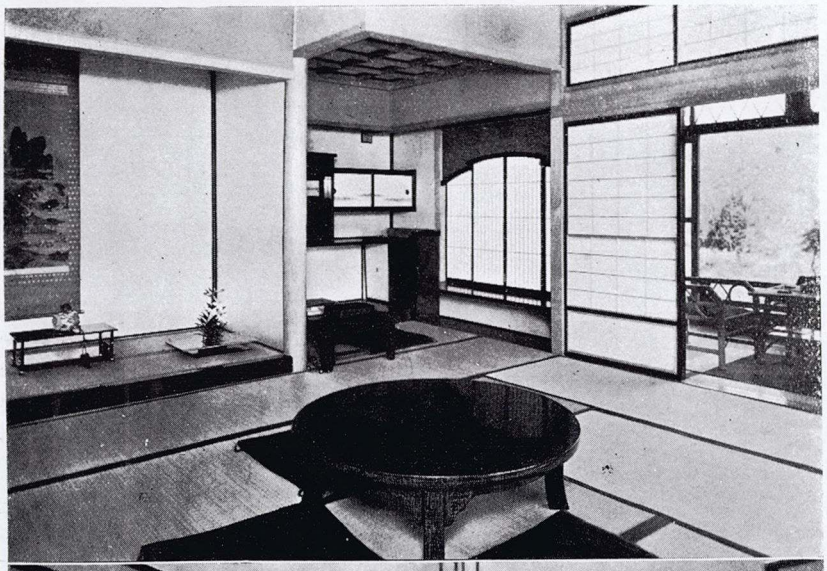


歐風客室

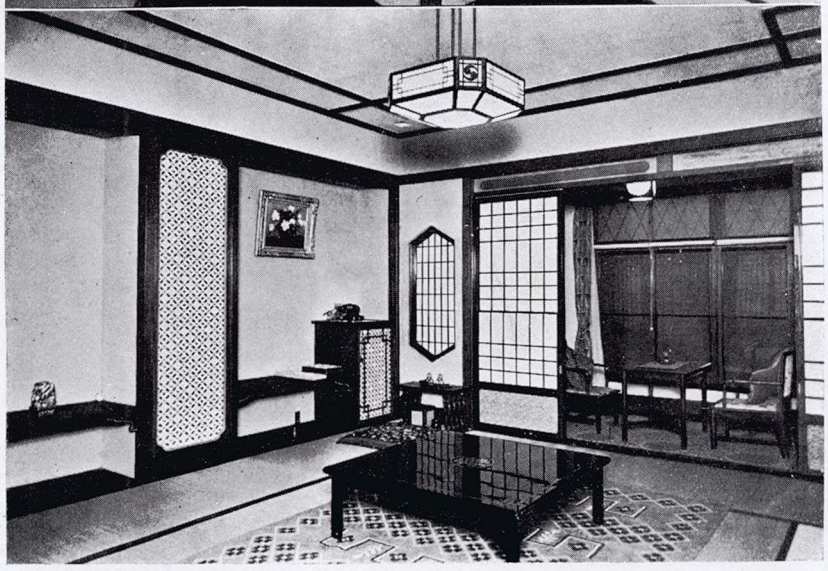




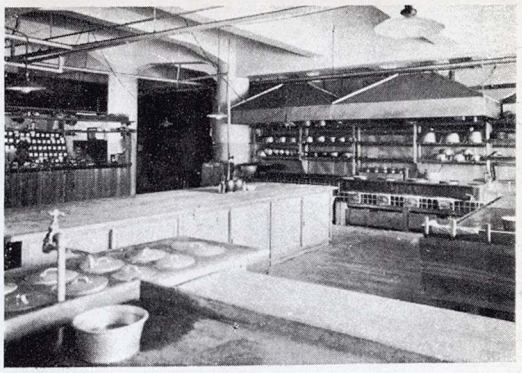
小　寢　室



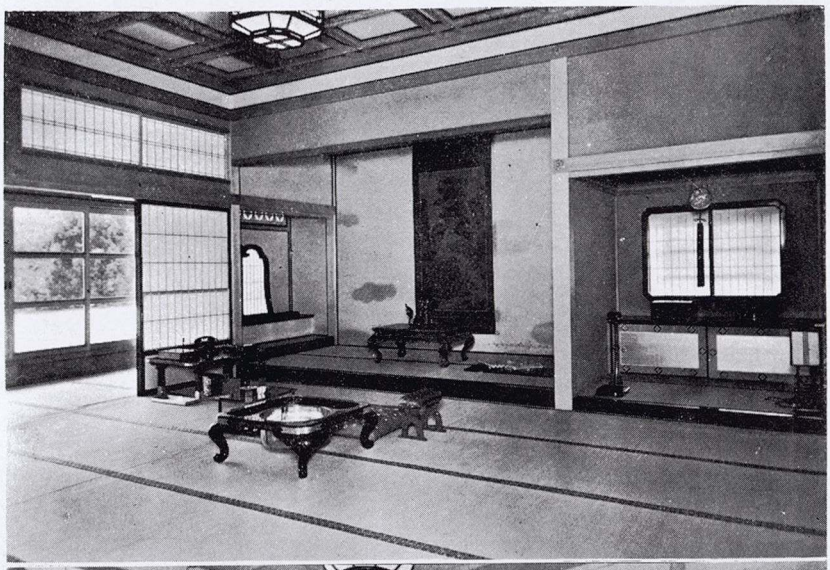
1　等　客　室



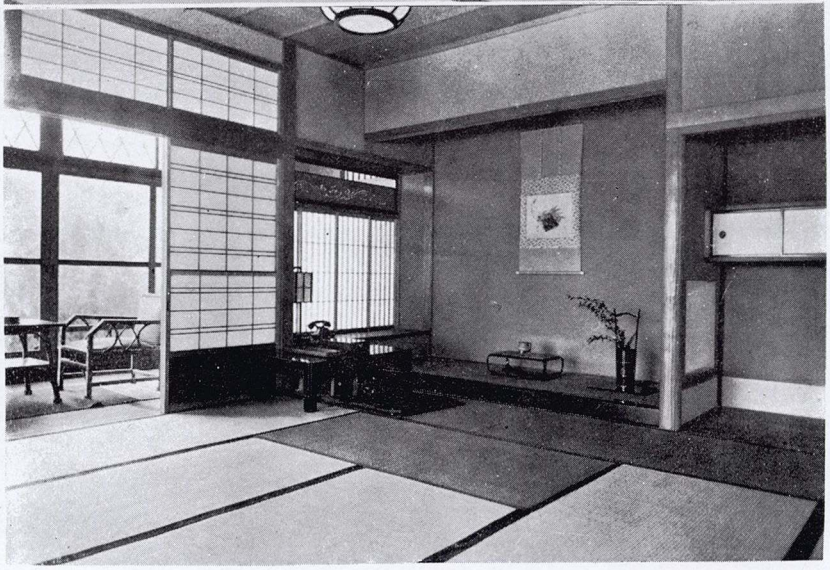
朝　鮮　風　客　室



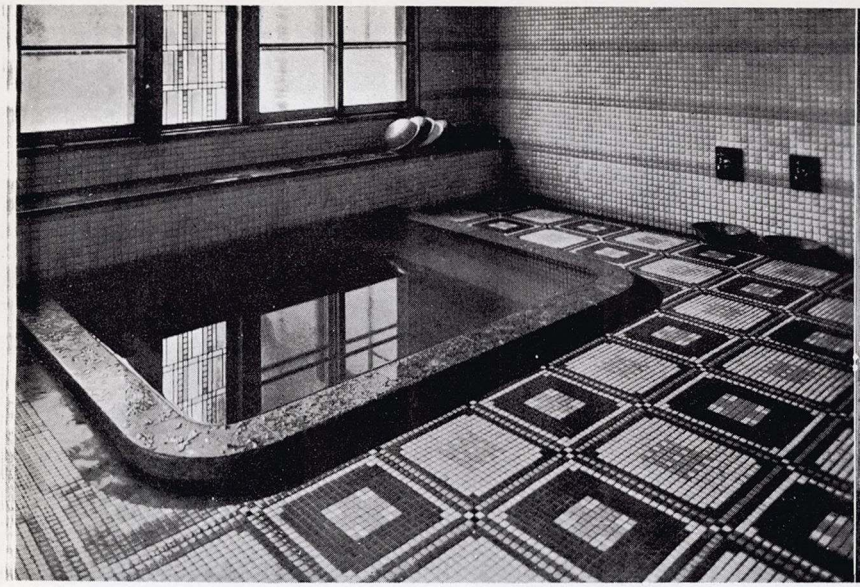
厨　房　室



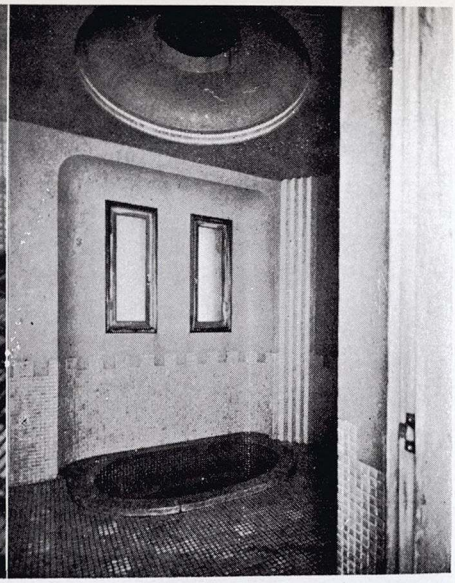
貴　賓　館
2　階　和　室



和　室

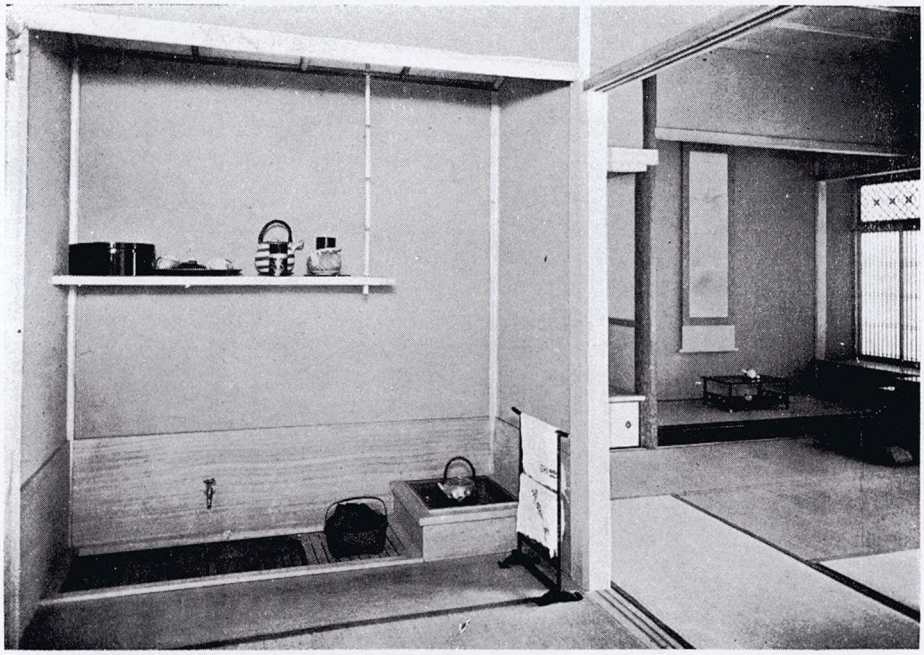


浴　　室



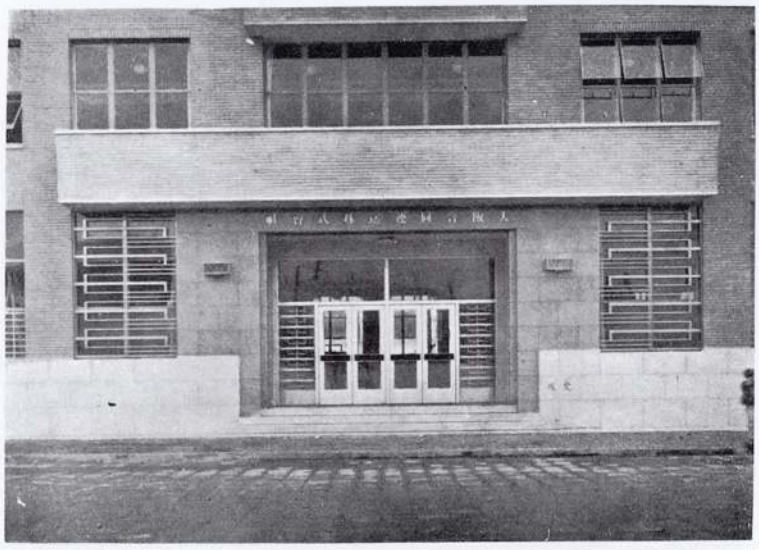
香　水　湯

客　　室





正面全景

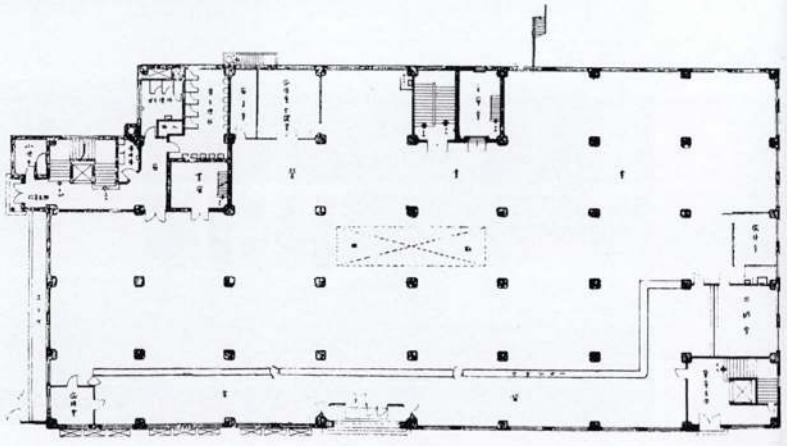


西面玄關



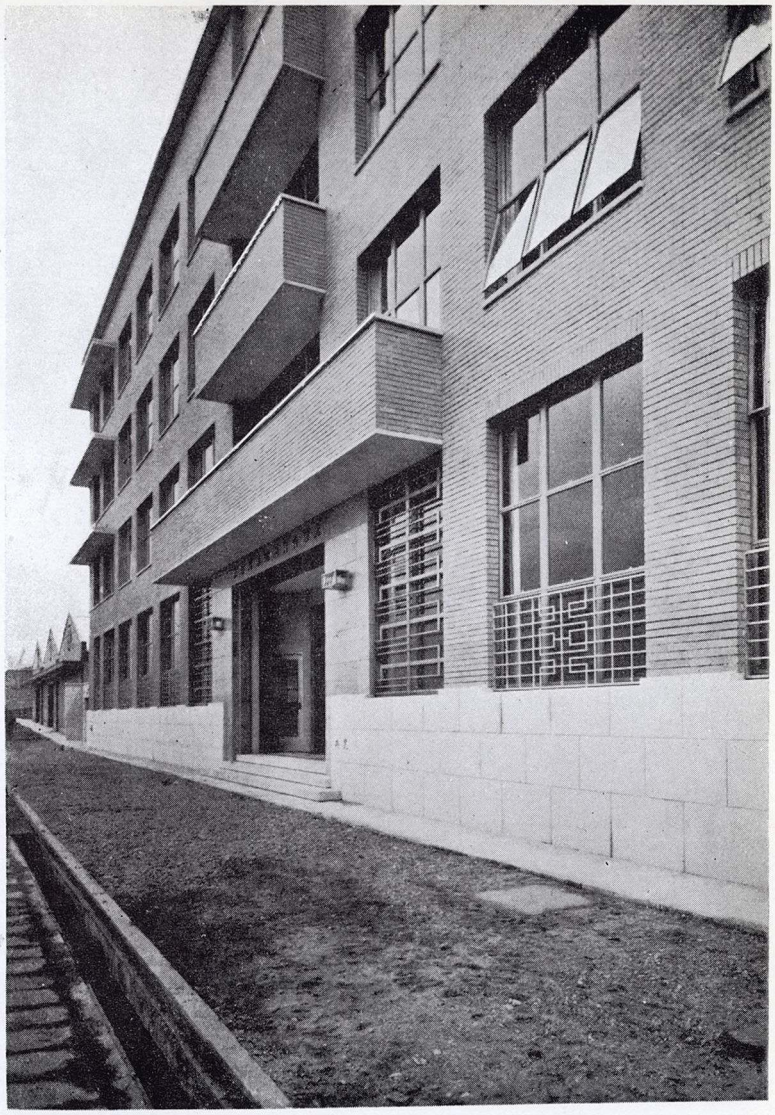
正面中央上部

位置	大阪市北區梅田町92番地
敷地面積	1,192坪845
建築面積延坪	2,681坪23
内譯地階	545坪31
1階	546坪66
2階	515坪62

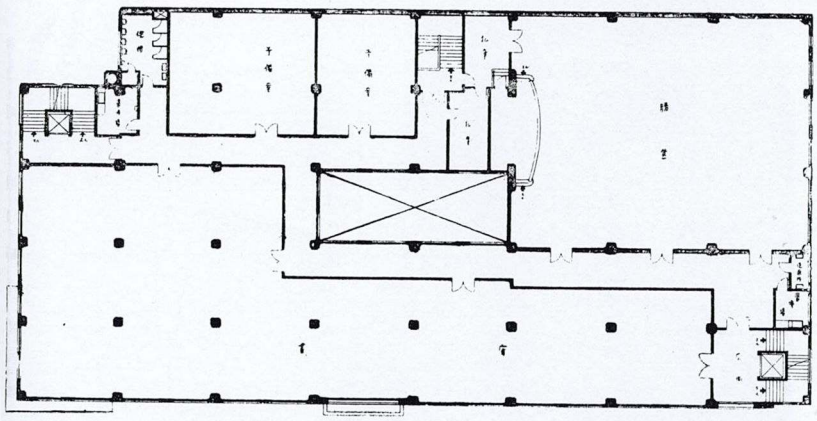


1階平面圖

正面入口



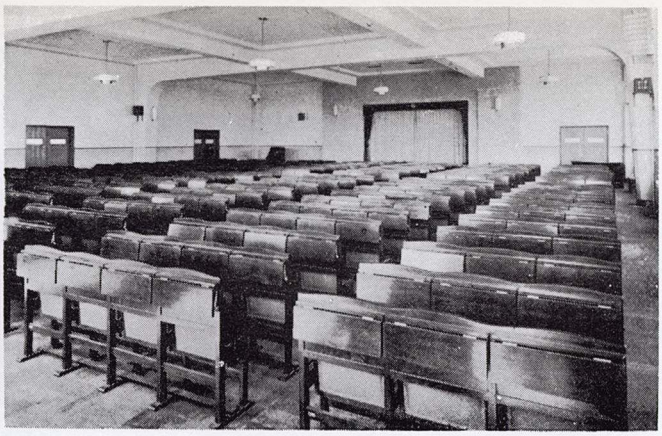
第 3 階	515.62坪
第 4 階	515.62坪
塔屋	42.40坪
軒高	敷地最高地盤面より59.14尺 塔屋最高部まで79.06尺
樣式	近世式
構造	基礎は鐵筋混土凝獨立基礎



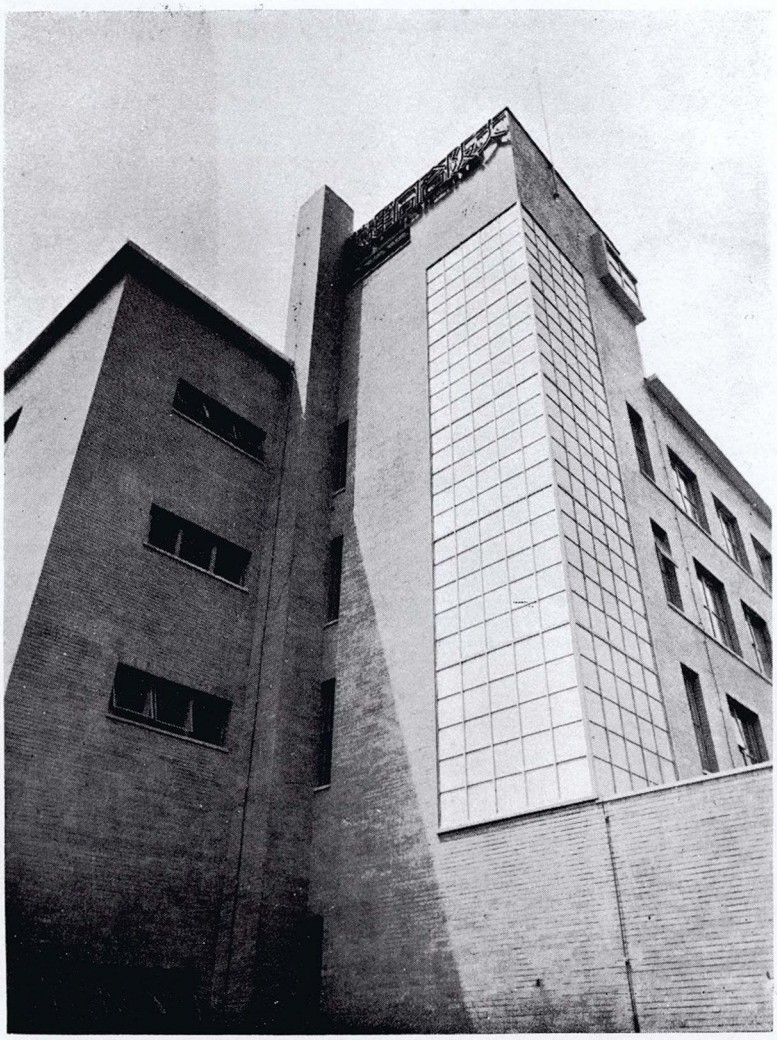
4階平面圖



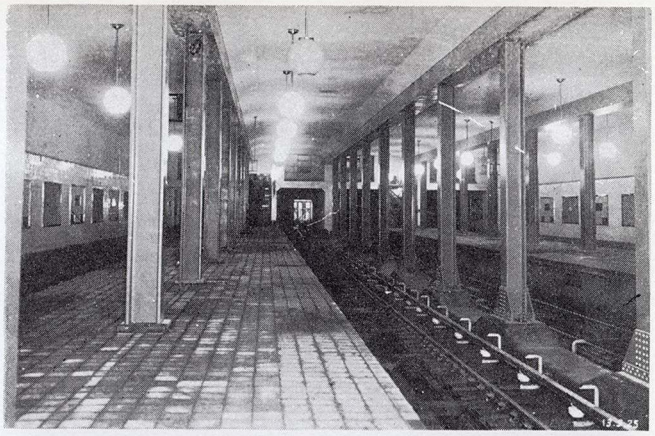
2階事務所



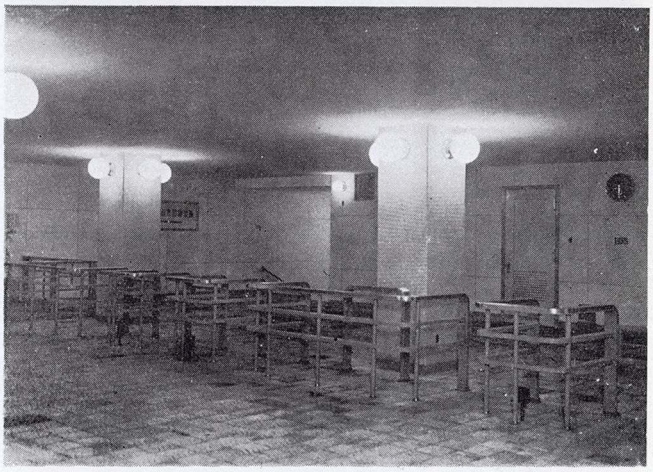
4階講堂



東南隅階段室塔屋



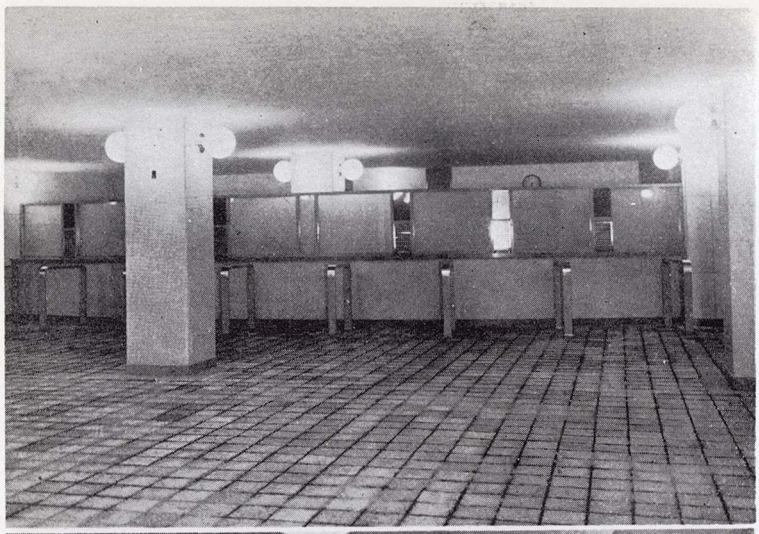
大國町停留所乘降場
（施工・大倉組）



動物園前停留場中階廣間
（施工・間組）



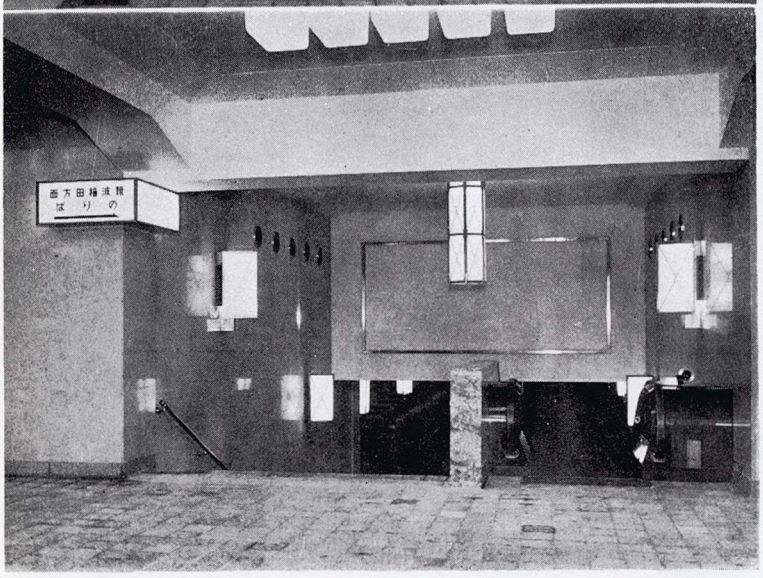
同　階　段
（　同　）



動物園前停留場中階出札室
（施工・間組）



同　乘　降　場
（施工・間組）



天王寺停留場乘降場階段
（施工・大林組）

天王寺停留場中階廣間
（施工・大林組）



同・中階廣間
（施工・大林組）



同・乘降場
（施工・大林組）



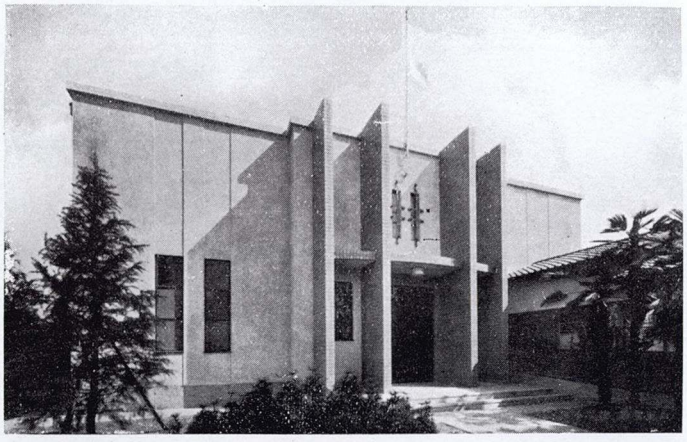


外　　觀

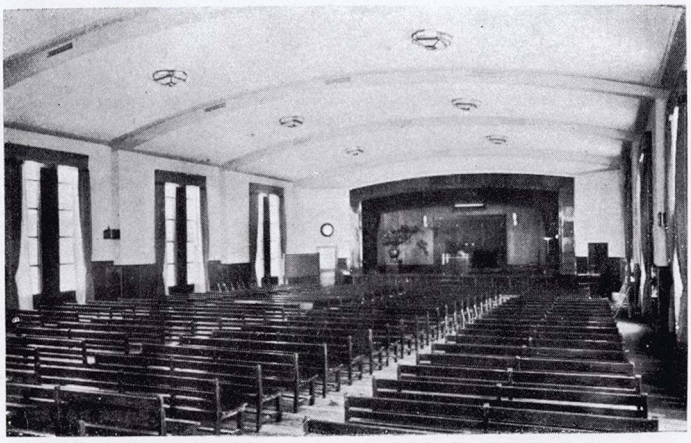
講　堂　正　面

三和銀行惠美須支店新築工事概要

位　　置	大阪市天王寺區南日東町128ノ1	
敷地面積	140餘坪	
建築面積	地下室	17.9265坪
	1　階	101.5787坪
	2　階	46.7304坪
	塔　屋	7.1706坪
	延　坪	173.4062坪
工事者	建築主	株式會社三和銀行
	設計監督	三和銀行建築係
	工事施工	株式會社藤木工務店

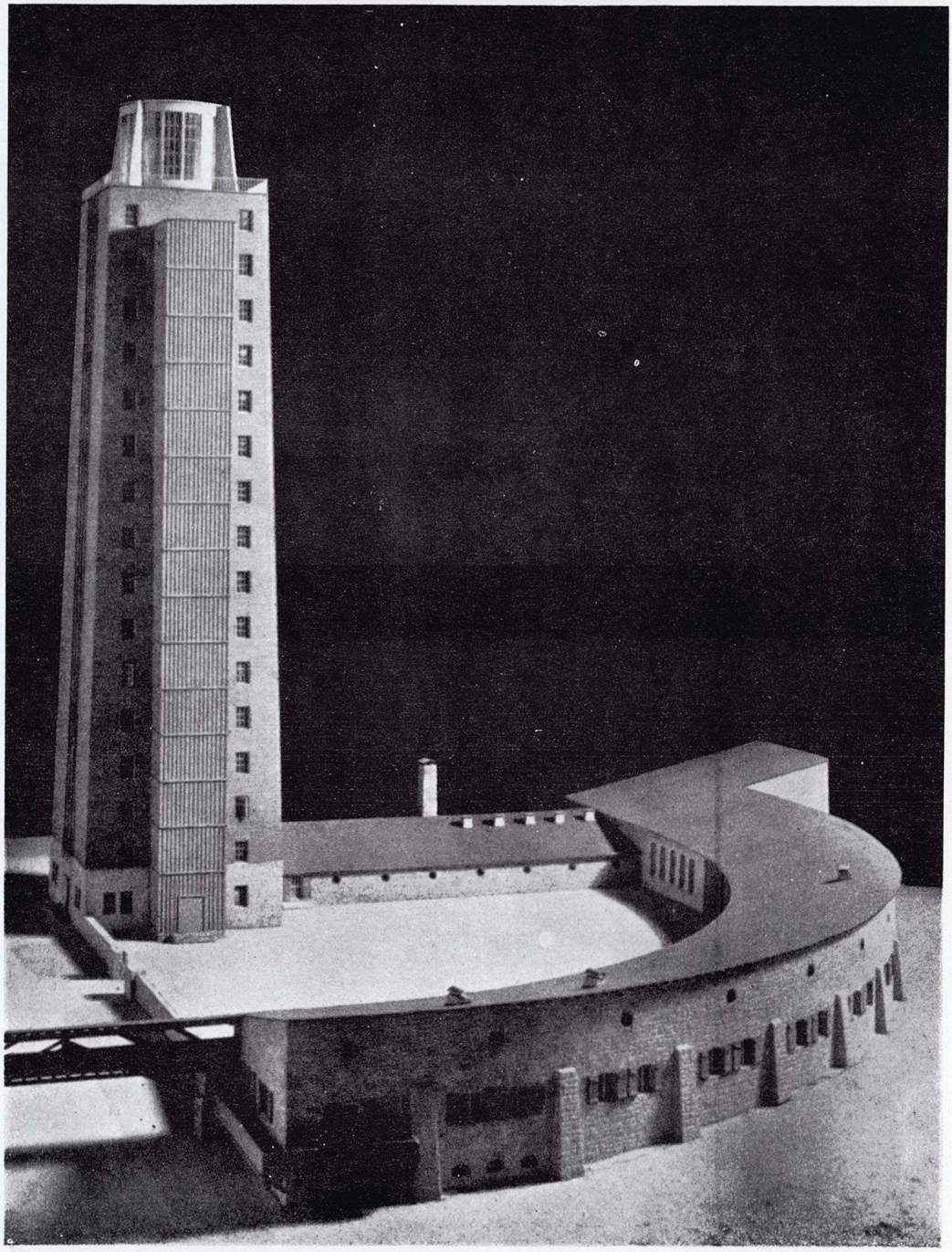


講　堂　內　部



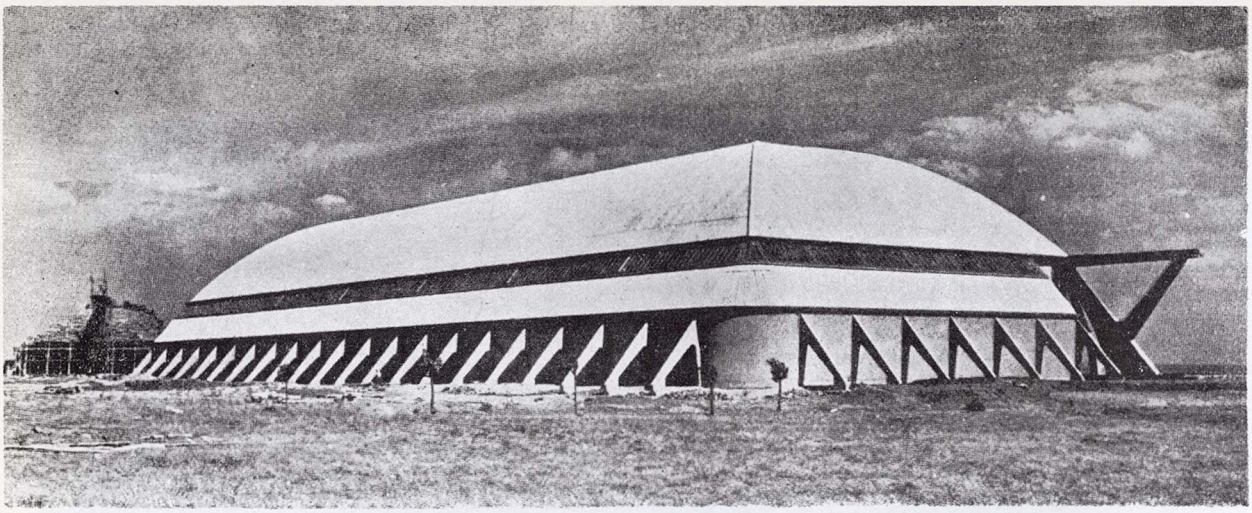
五峯尋常高等小學校講堂新築工事概要

所在地	滋賀縣神崎郡五峯村尋常高等小學校內
建築面積	185.75坪
總延面積	201.85坪
設計監督	小河建築事務所
建築工事施工者	竹中工務店

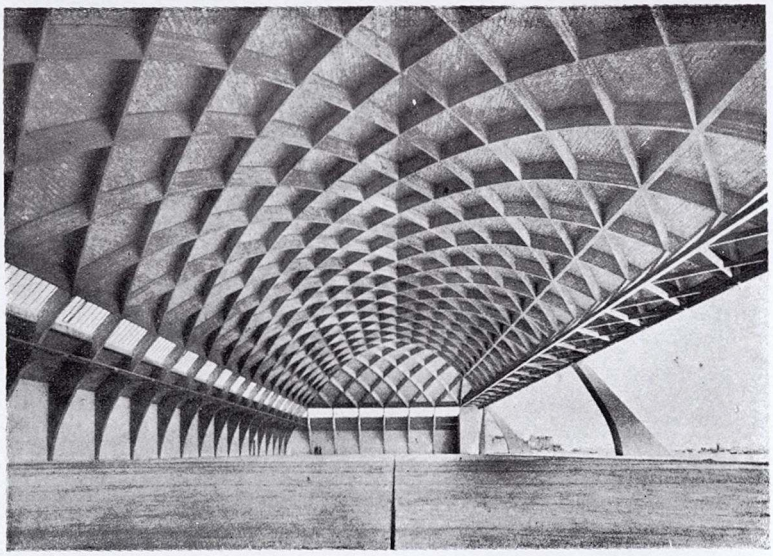


模　型

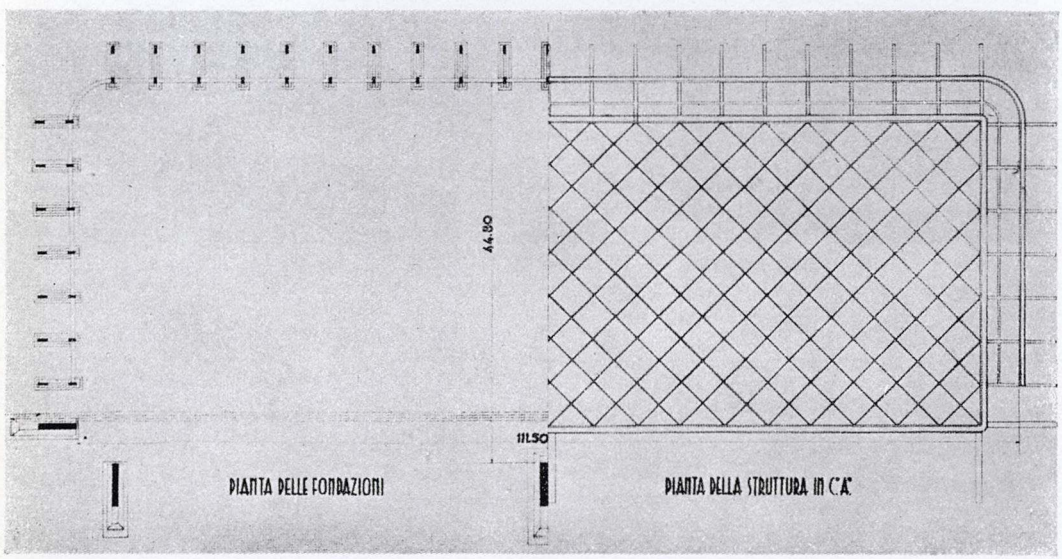
Taunusの Feldbergに建つ獨逸遞信省立
超短波無電放送局の模型である。
（Moderne Bauformen, April, 1938より）



外　　觀

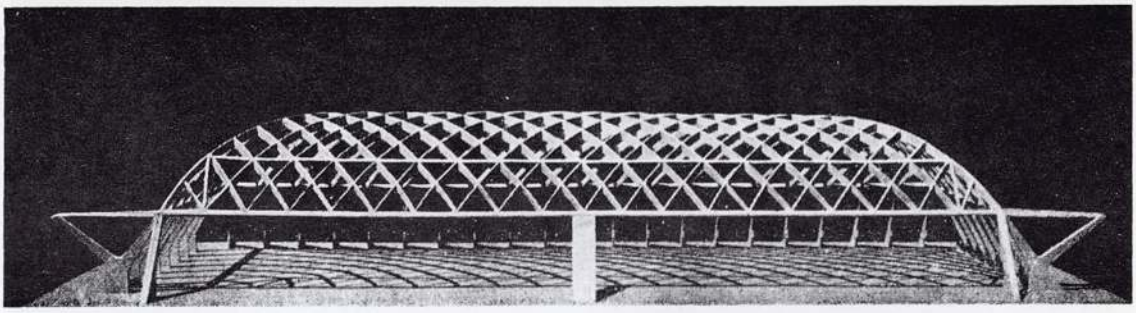


內　　部



平　面　圖

VI 28 （イタリー） 新形式の飛行機格納庫　　技術家 Pierluigi Nervi



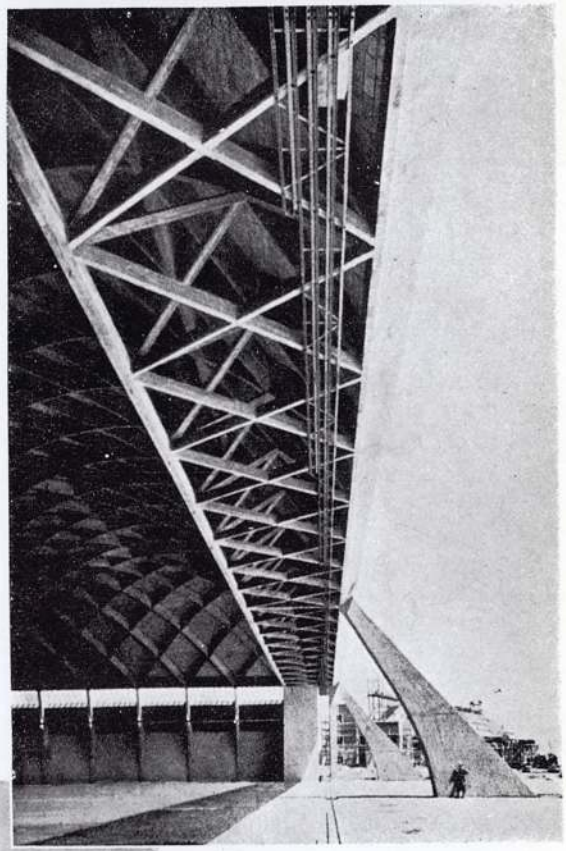
構造模型

最近イタリヤに建設せられたこの飛行機格納庫はその新しい構造法に於て特に注目に値する。

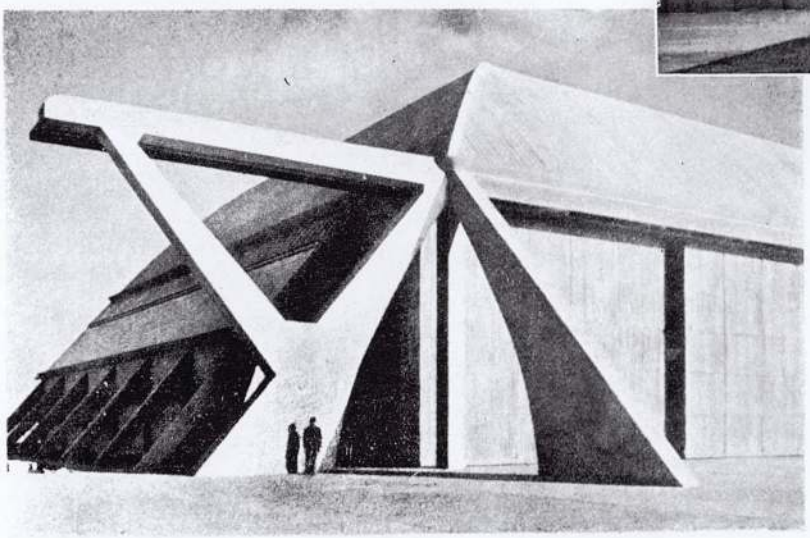
建築面積 111.50m×44.88m. その長邊の中央は 1本の控柱を有するのみで8枚の引違戸によつて全開をなすことを得。平面の長軸に對して45°の角度をなし互に直交する鐵筋コンクリートアーチを以て架構しその上にペレー式の輕量ブロックを貼り波型エターニット葺とす。

コンクリートにはスーパーセメントを使用しその 8cm×8cm×8cmの小立方體の破壞荷重418kg/cm²なる實驗結果を得たり、爲めにその斷面は小にして鐵筋使用量も極度に少く、1平方米あたり僅かに25kgにして在來の鐵骨格納庫に比して70%の節約をなし得たりと云ふ。

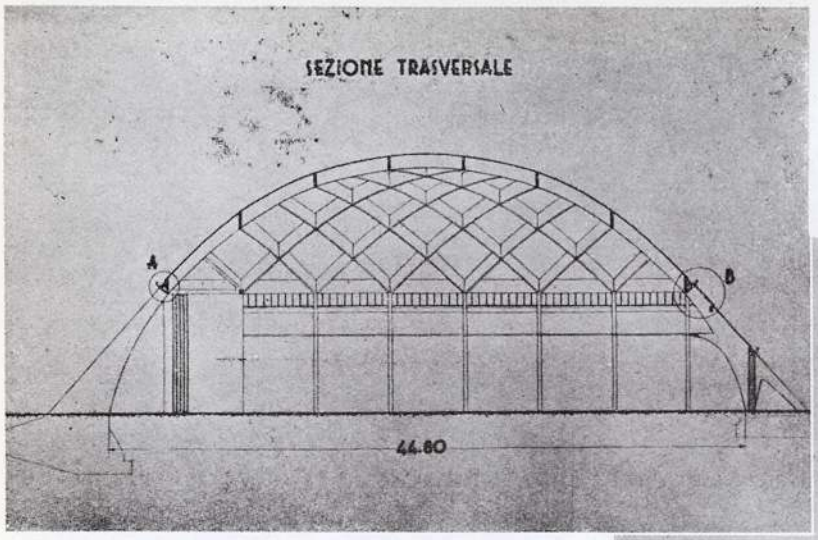
(Architettura, Marzo, 1938より)



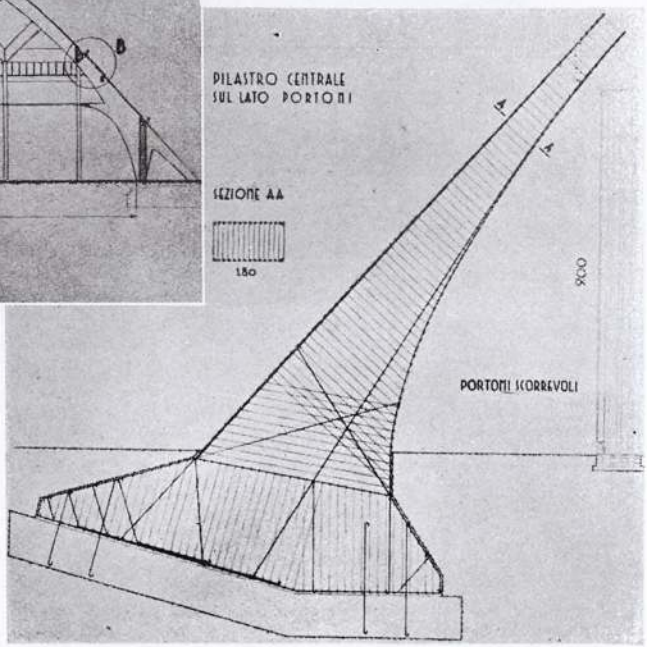
内部



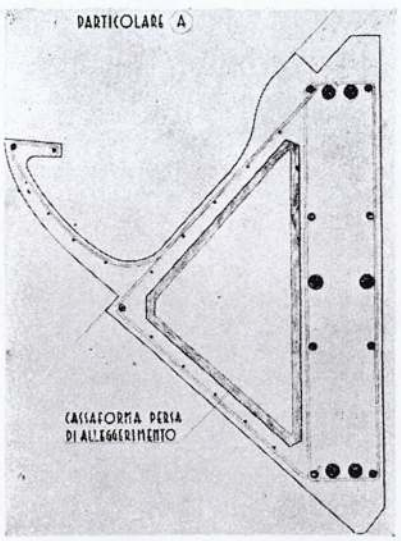
外部の1詳細



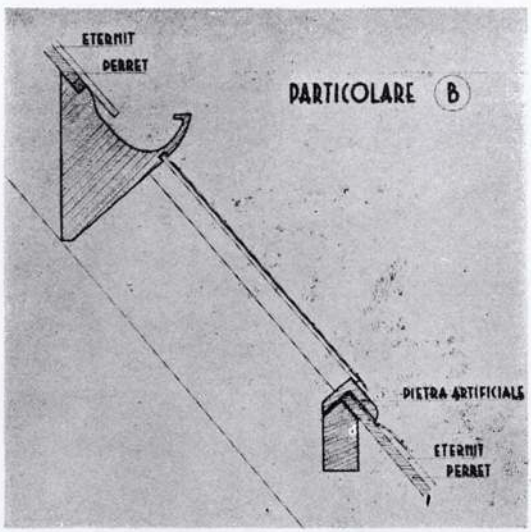
斷面圖



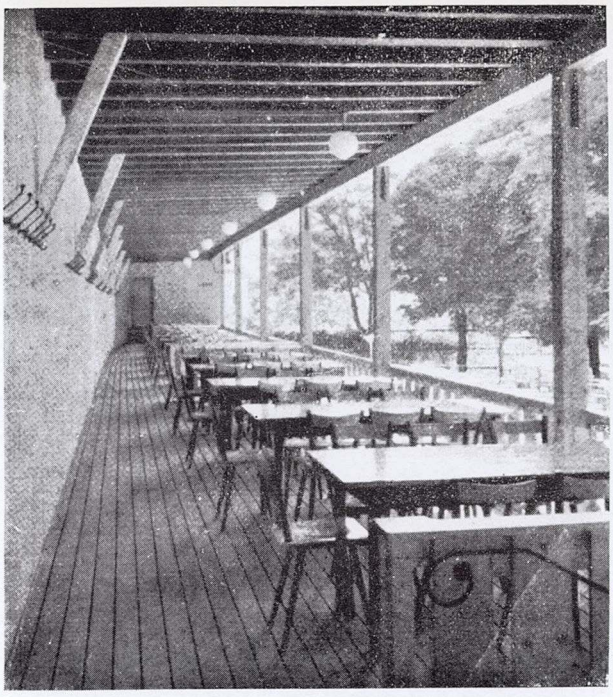
基礎詳細圖



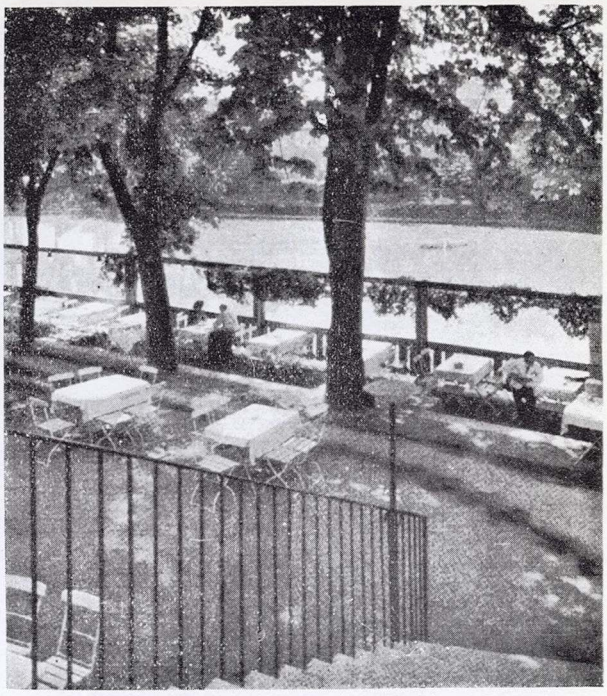
A 部詳細圖



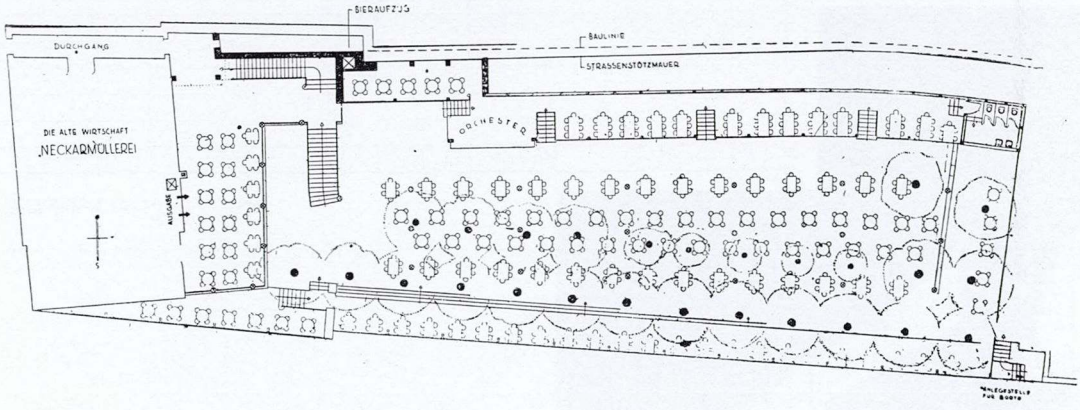
B 部詳細圖



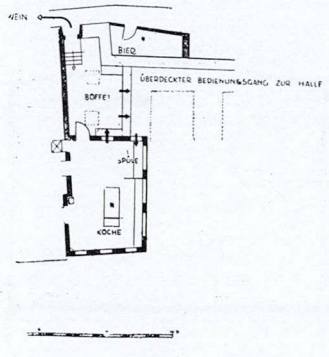
上段有蓋部



ネツケル河に面するテラスを階段より望む



1階平面圖

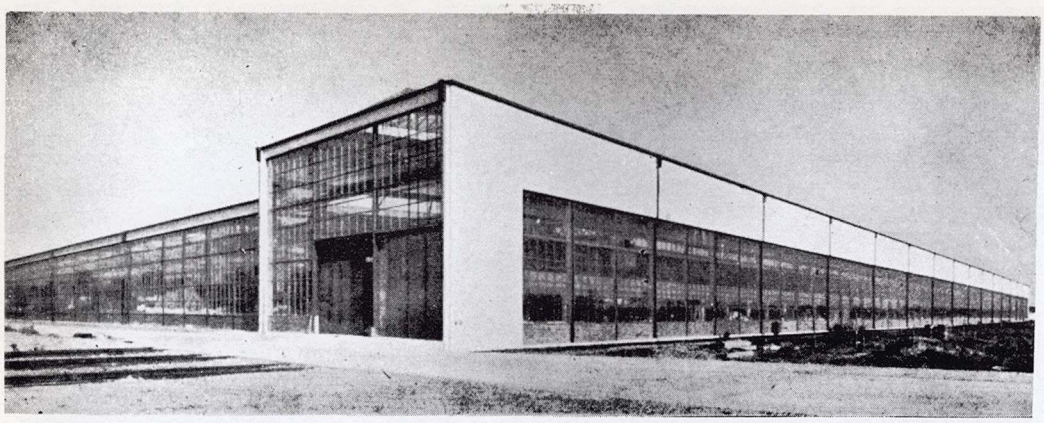


地階平面圖

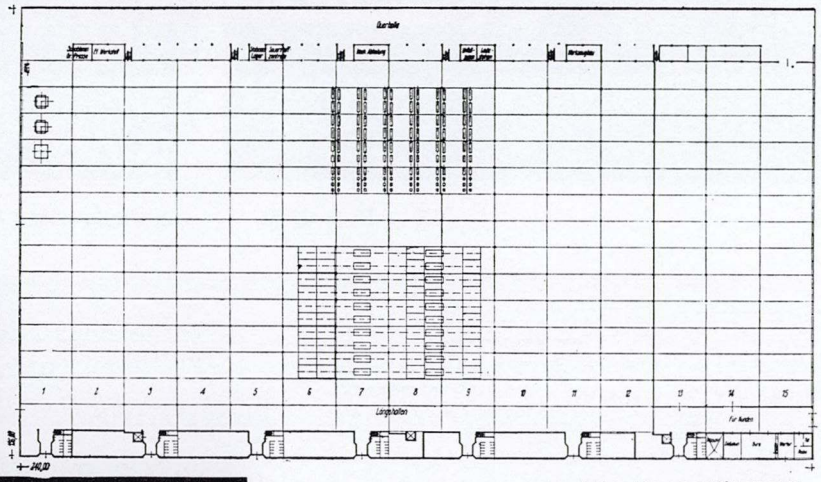
ネツケル河のほとり、古來有名な料理店〝ネツケル・ミユツレライ〟の美しい庭園を夏季食堂に改造したもので、有蓋の部分には便所と演奏臺が設けられて居り、6.50米上の舊館前テラスとの結びには獨立階段があり、岸邊は高い石垣となつて居る。改造部は自然色の儘の木材を使用し、ホールの蓋ひのみ赤い防腐劑で塗られて居る。庭園には700名を容れる。

（Der Baumeister, April, 1938より）

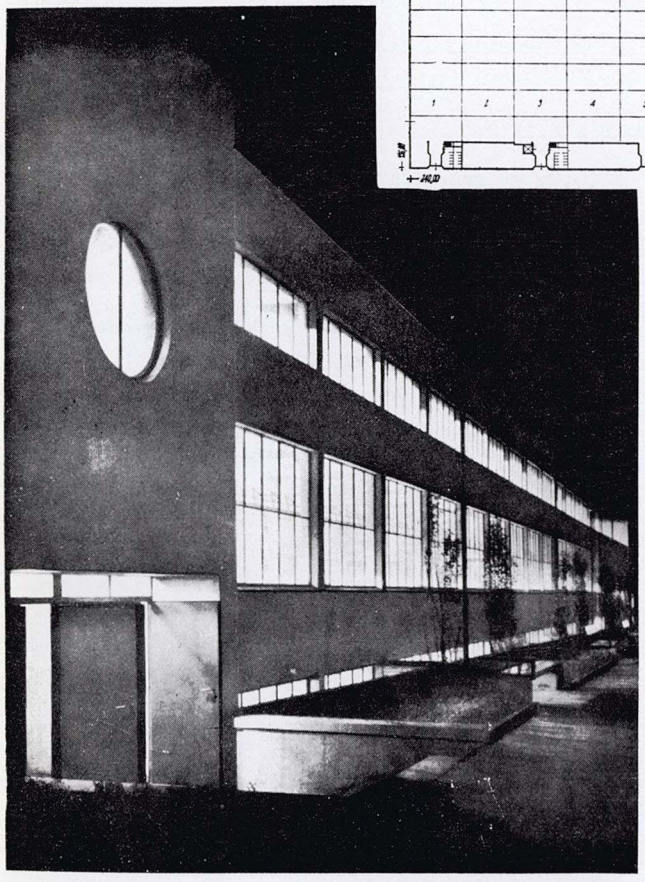
（ドイツ） テユービンゲン、ネツケル河畔の庭園料理店　　建築家 R. Kesseler



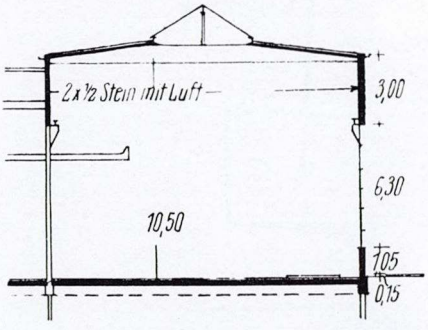
ヘメリンゲンの工場外觀



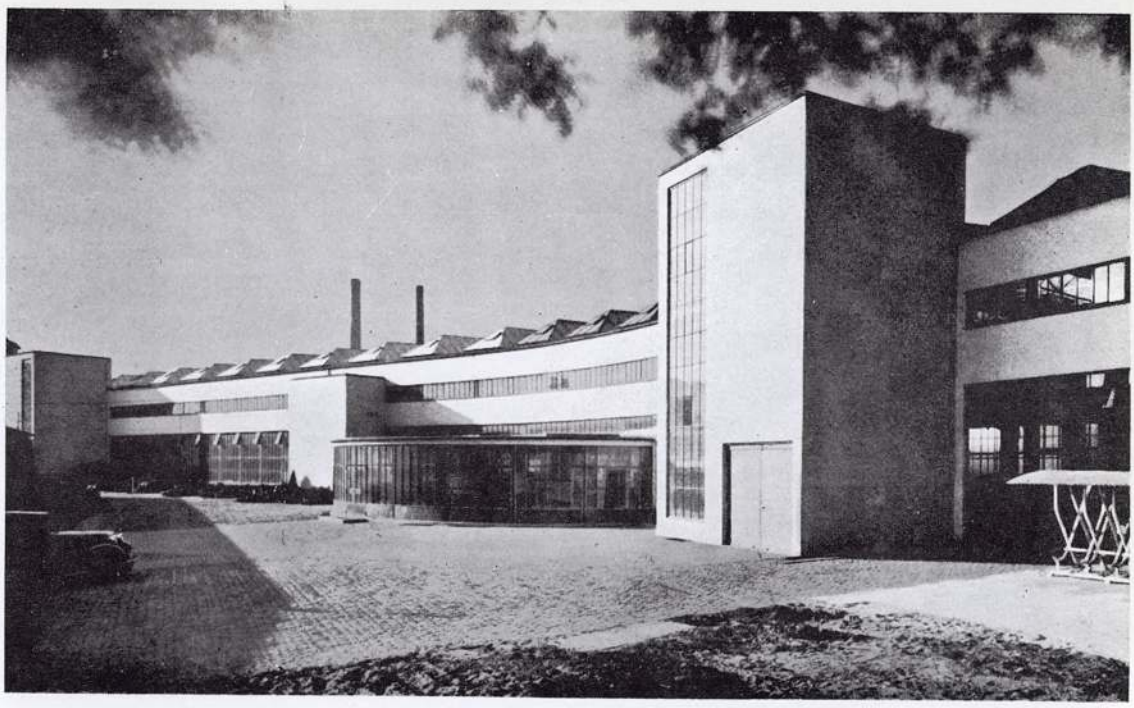
ヘメリンゲンの工場平面圖



ローゼンベルグの發動機工場夜景



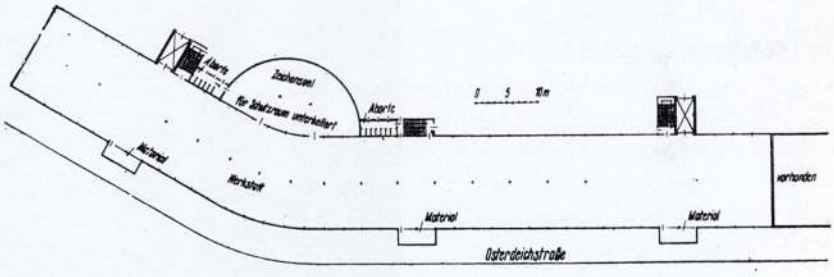
ローゼンベルグの工場斷面圖



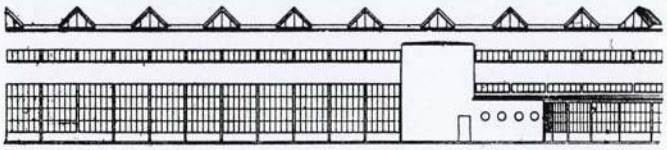
中庭より見たるオステルダイヒの工場

1934—35年に所謂公安建築がローゼンブルクに建てられた。其地階に40の噴泉を持つ洗場と約4.000名の從業員に對し1.200の灌水浴房が設けられた。其獨特の發動機工場は1階で中2階があつた。此建築では工場内の過熱を來したため1935—36年に完成したオステルダイヒの工場ではハレ建築とし、追加的な側面採光はやめ、鞍形屋根の傾斜上窓が應用され、輕快な屋根形を見せる樣に改められた。基礎コンクリート。腰はクリンカータイル貼り、窓サツシユは灰色ペンキ塗り、壁は象牙色かき落しとなつて居る。又南側道路に面する中2階の壁面は立體的に、廣告的に利用可能の如く處理されて居る。專ら天窓採光に依るため2階の窓は小さいが1階では稍一杯に大きな窓面積を採つてある。1936年に更に圍繞建築及びフエーレン街の從業員1.200—1.400名に對し洗面、更衣室を、又倉庫も建てられた。是等はヘメリンゲンの施設擴張に依るものである。1937年136×140米の平面を有する新大工場が竣工し、同時に又汽罐庫ポンプ室等も完成し、此所に大工場の出現となつたのである。何れも共に、工場の機能に即して有機的展開を示すものとして見る可きものがある。

(Der, Baumeister, April, 1938より)



Hallenbau am Osterdeich, Ansicht Osterdeichstraße; Teilausschnitt im Maßstab 1:500



オステルダイヒの工場平面圖並に立面圖



外　　觀

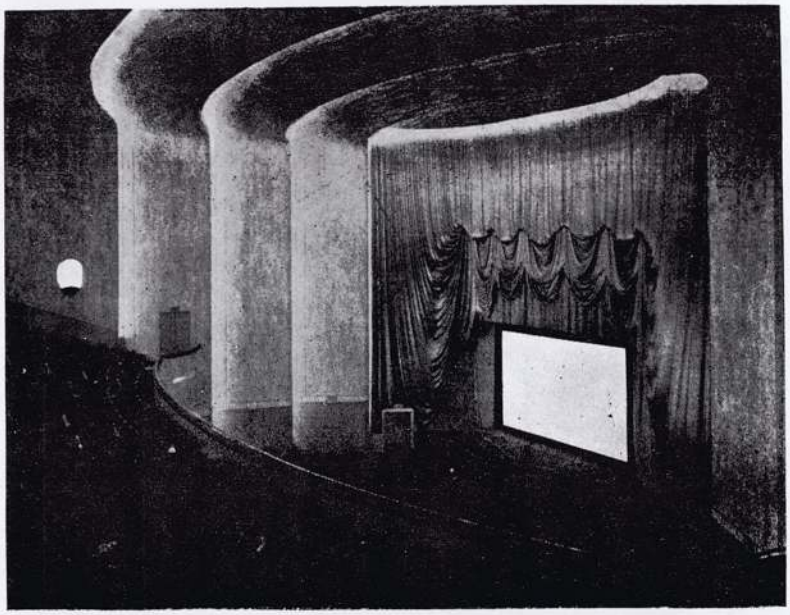
敷　地——

シカゴの市内で適當な劇場に惠まれてゐない部分といふことを目標として選定せられ、大きさは100呎×120呎であるが非常に地價の高いシカゴ中の目抜の場所である。

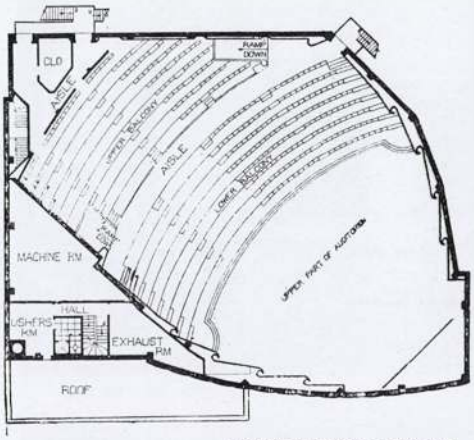
工　費——建築費235.000弗、1立方呎に對して35セント。

構造及仕上——鐵骨及鐵筋コンクリート造。外壁正面は花崗岩特殊煉瓦、其他は普通煉瓦仕上。觀覽席内部は壁天井共トルコ玉様の青色仕上、但吸音の目的にて全部型模様を附す映畵面とのスケイルの比較を無くする爲に觀覽席内部は一切裝飾を省略し、觀覽席を增す爲にプロセニヤムを廢止してゐる。畵面上部のカーテンは白杉色の絹布である。

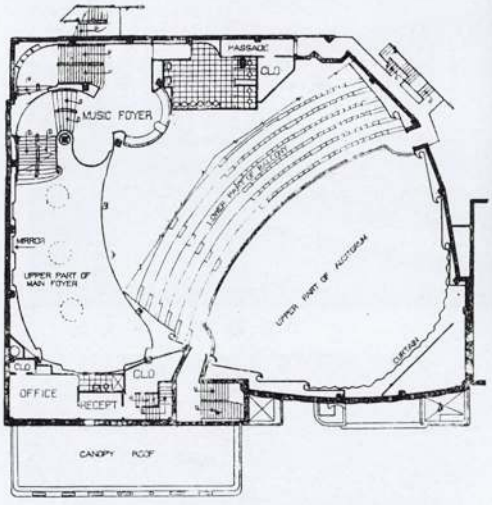
(Architectural Forum, April, 1938より)



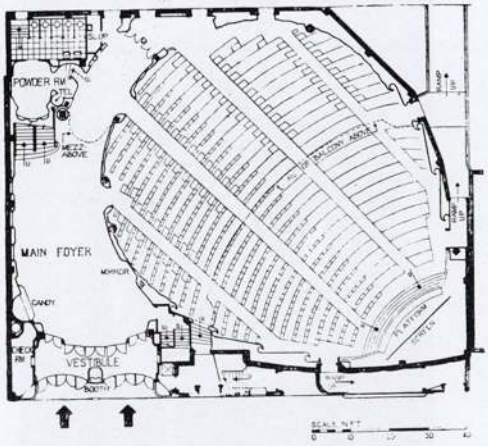
觀覽席よりスクリーンを眺む



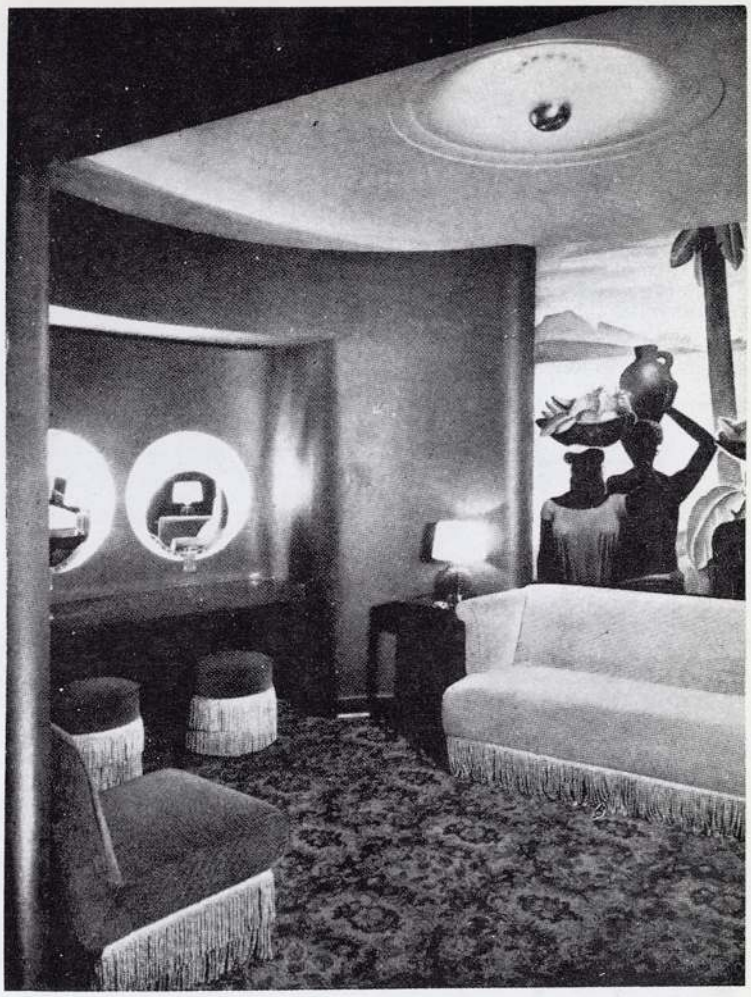
高さ34呎の部分の平面圖



高さ13呎の部分の平面圖

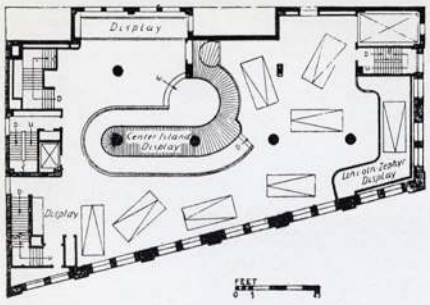


1 階 平 面 圖

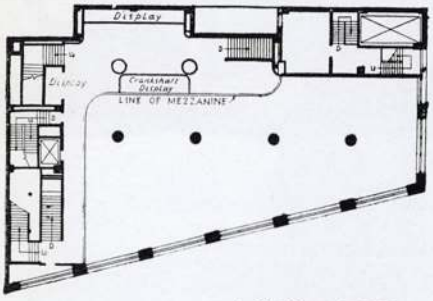


計畫の要旨——

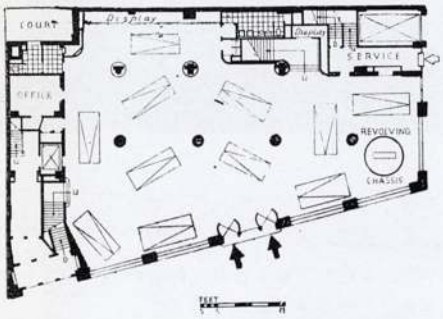
1. 高價な地價を償ふ爲に出來る限り收容人員を增加する樣に工夫し、その地方の週末の群集を收容し得るだけの椅子を設ける樣に努めなければならぬ
2. 附近の居住者は普通以上の趣味と收入とを有して居り、劇場が氣に入ればその支持者となり得ること
3. それ等の人には廣い室に住んでゐるので切り詰めた大きさの座席では氣に入らぬこと
4. 遊步場及休憩室はよき位置を占め且よき趣味の設計たるを必要とする
5. シカゴの建築法規では、觀覽席の壁は直接外氣に接することを必要とし、又觀覽席の兩側の空地は直接に道路又は路地に接する樣規定されてゐること
6. 夏冬共に極めて快適なること
7. 精巧なる舞臺裝置
8. 美術陳列室
9. 椅子1列に對する奥行を36吋とする
10. 完全なる視野
11. 偏曲限度以上の部分に椅子を設けぬこと



2階平面圖



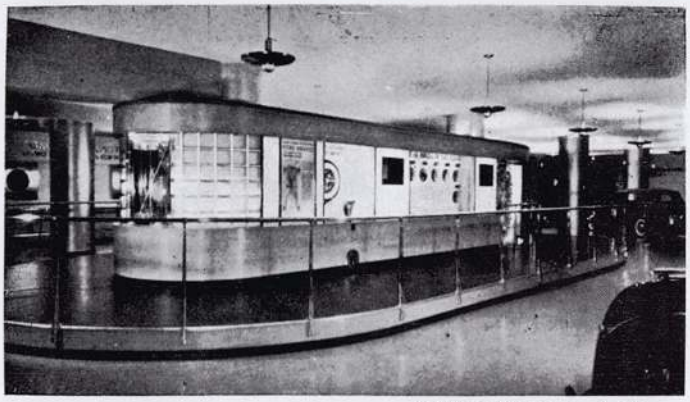
中2階平面圖



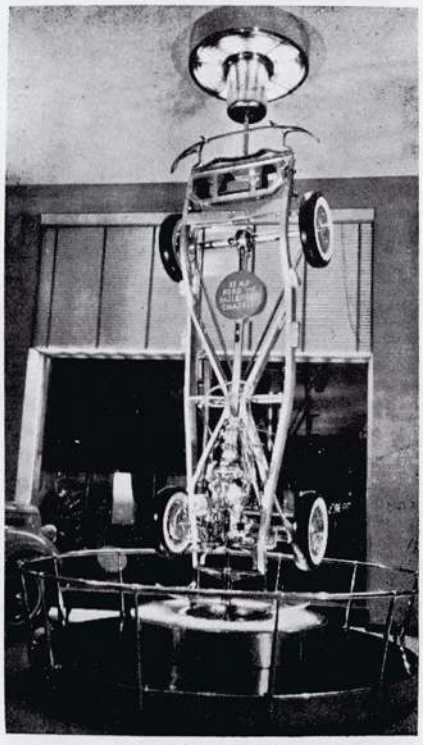
1階平面圖



1階陳列室



2階陳列室中央部



車臺の裝飾的陳列

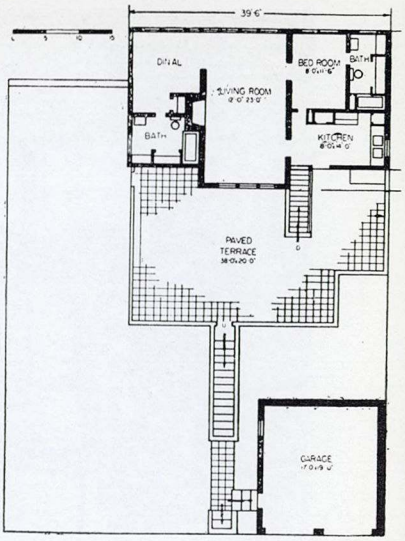
フオード會社から出來るだけ廣い陳列室面積が要求せられてゐるのに對して、從來の建物が鐵筋コンクリート造である爲に改造が困難な點がこの改造計畫の苦心の存する所であつた。

最初下から4階目までを改造する豫定であつたが最後には最上階まで擴大されることになつた。

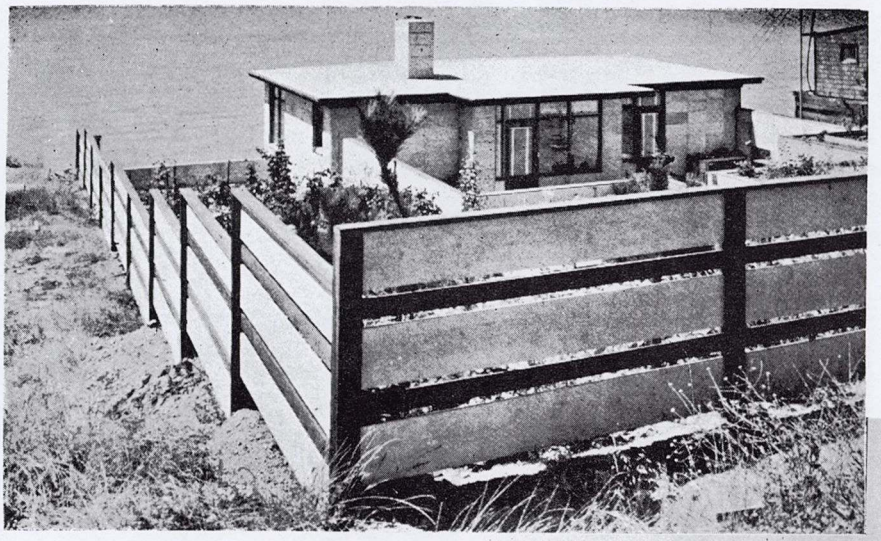
1階は全部車體の陳列室になつてゐるが、自動車陳列室の背景は極めて單純であることを必要とするから、壁はオークの柾目のベニヤ張とし、裝飾としては入口正面に車臺を吊り下げたのと、大きな寫眞壁畵と、柱型を圓形の金屬板で被覆したのとのほかは殆んど無裝飾である。

1階の天井高を利用して中2階を設け、大きな階段にてこれに聯絡し、1階陳列室に變化を持たせると同時に參觀者が漸次上部の陳列に興味をもつ樣に考へてゐる。

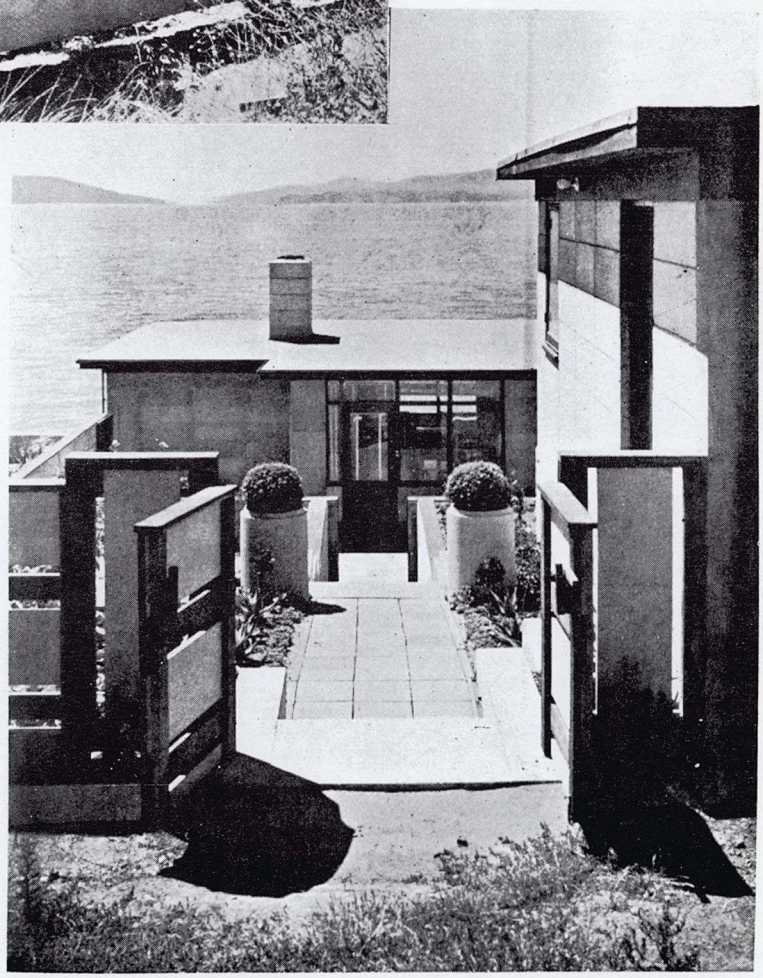
(Architectural Forum, April, 1938より)



平面圖



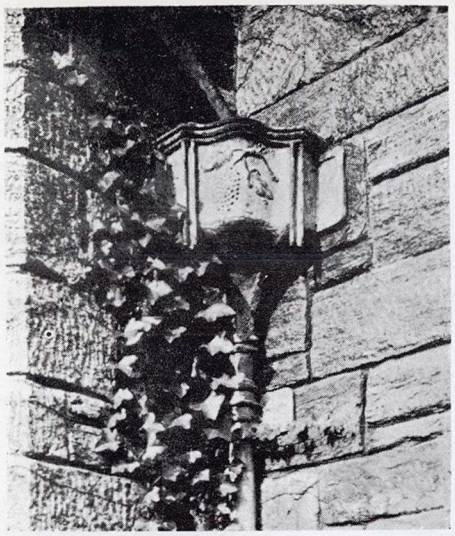
全景



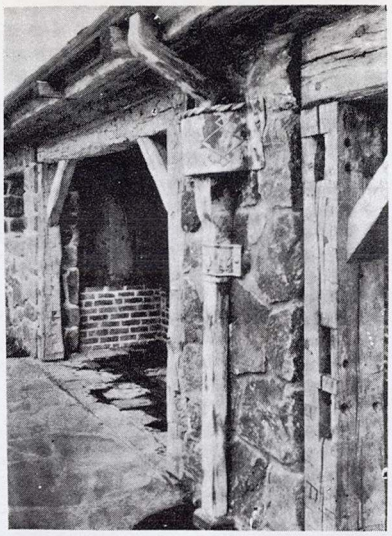
門より玄關を望む

カリフオルニヤ、リツチモンドに建てられた小住宅。海岸線の勾配を巧く利用して、紺青のサンフランシスコ灣を背景としてゐる眺望には初夏の太陽の香りが匂つて來そうである。草花に埋れたテラス、開放的な板塀——これらの洗練された線の交錯が少しも自然の風景を損じていないところにこのデザインの成功がある。

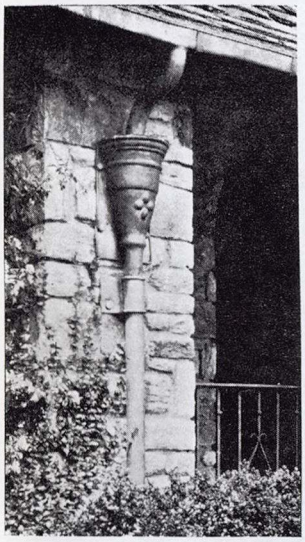
構造は鐵筋コンクリート造でテラスは石疊、外壁、ガレーヂ、テラスの壁はコンクリートブロック、屋根は砂利とタールで出來ており、窓は木製及びスチールサツシュを併用してゐる。室内床及びテラスの手摺には赤色タイル張り、室内建具はアメリカ杉仕上げである。 (Architectural Record, March, 1938より)



A



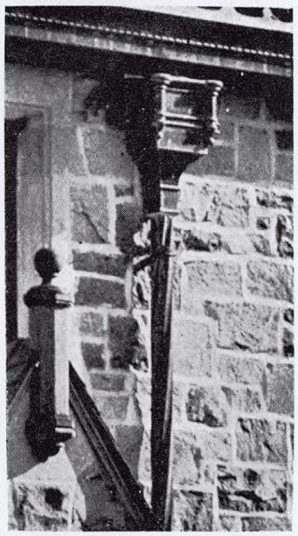
B



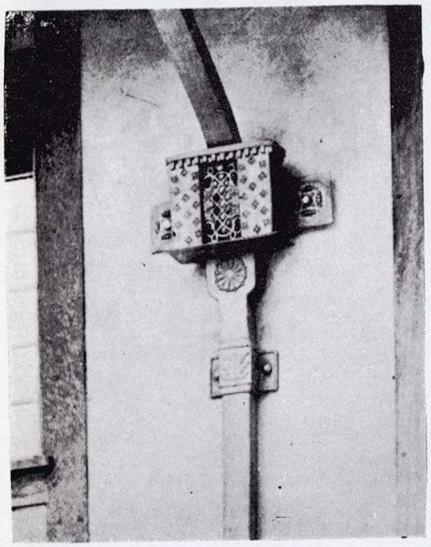
C



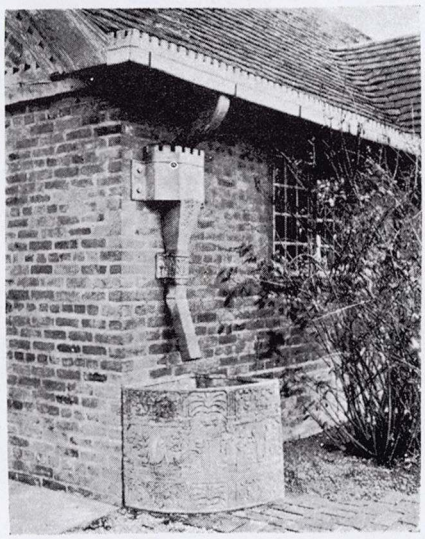
D



E



F



G

A Flushing, N. Y. の住宅
建築家 John Oakman

B Norfolk, Coun. の住宅
建築家Toylor and Levi

C Greenwich, Coun. の住宅
建築家 W. L. Dominick

D Greenwick, Coun. の住宅
建築家 I. N. Phelps Stokes

E Alpine, N. J. の住宅
建築家 Aymar Embury II.

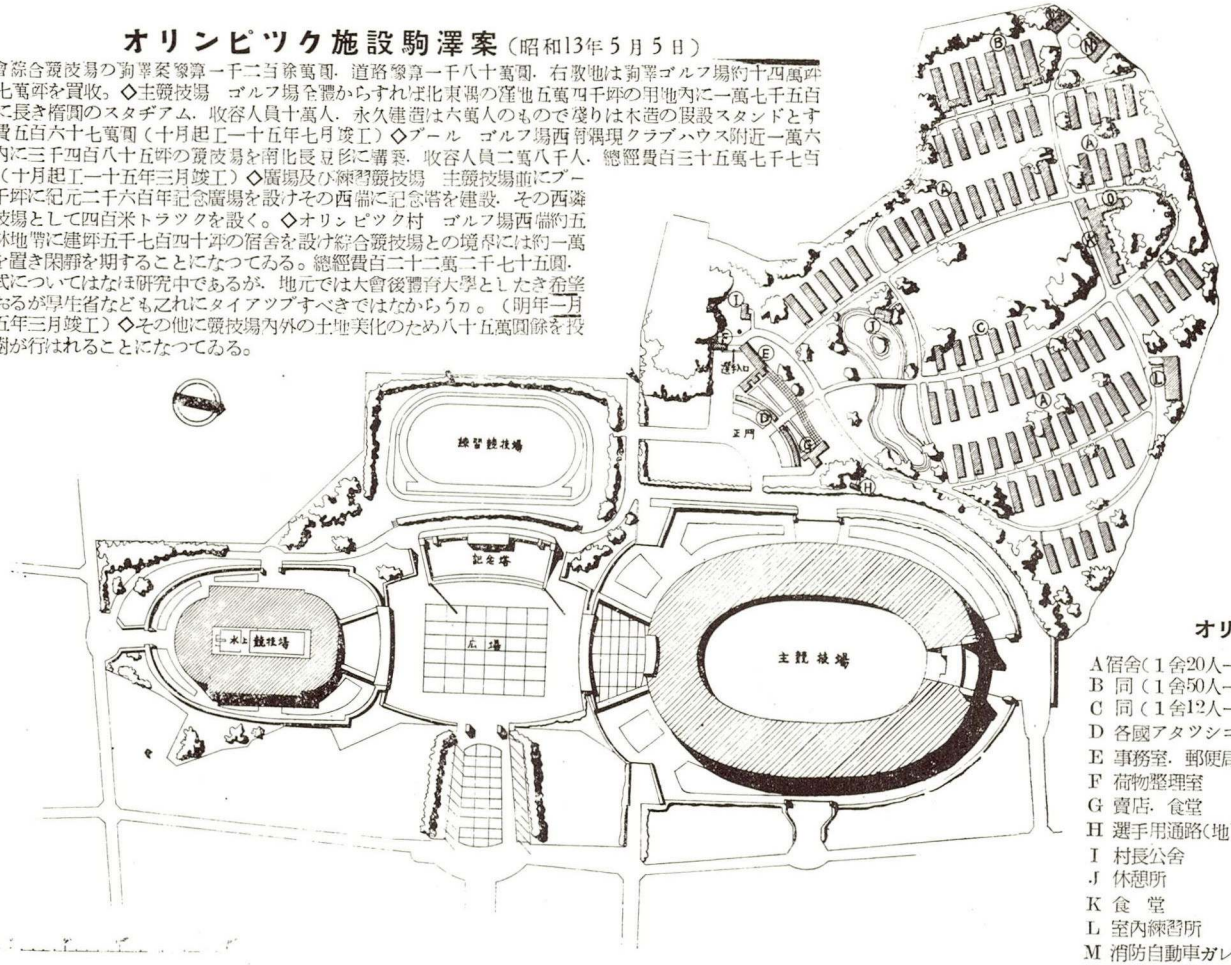
F Glen Head, N. Y. の消防署
建築家 Cherry Matz.

G Sand Point, N. Y. の建物
建築家 Ward and Walker.

(Architectural Record, March, 1938より)

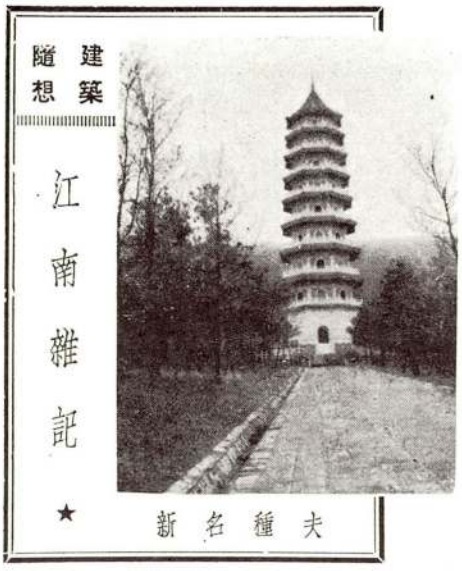
オリンピツク施設駒澤案（昭和13年5月5日）

東京大會綜合競技場の駒澤案總坪一千二百餘萬圓．道路總坪一千八十萬圓．右敷地は駒澤ゴルフ場約十四萬坪東半分の七萬坪を買收。◇主競技場　ゴルフ場全體からすれば北東端の窪地五萬四千坪の用地内に一萬七千五百坪の南北に長き楕圓のスタヂアム．收容人員十萬人．永久建造は六萬人のもので殘りは木造の假設スタンドとする．總經費五百六十七萬圓（十月起工—十五年七月竣工）◇プール　ゴルフ場西南端現クラブハウス附近一萬六千坪用地内に三千四百八十五坪の競技場を南北長方形に配置．收容人員二萬八千人．總經費百三十五萬七千七百三十五圓（十月起工—十五年三月竣工）◇廣場及び練習競技場　主競技場前にプール中間八千坪に紀元二千六百年記念廣場を設けその西端に記念塔を建設．その西隣に練習競技場として四百米トラツクを設く。◇オリンピツク村　ゴルフ場西端約五萬坪の草林地帶に建坪五千七百四十坪の宿舍を設け綜合競技場との境界には約一萬坪の間隔を置き閑靜を期することになつてゐる。總經費百二十二萬二千七十五圓．宿舍の樣式についてはなほ研究中であるが．地元では大會後體育大學としたき希望を有しておるが厚生省なども之れにタイアツプすべきではなからうか。（明年一月起工—十五年三月竣工）◇その他に競技場内外の土地美化のため八十五萬圓餘を投じ造園植樹が行はれることになつてゐる。



オリンピツク村

A 宿舍（1舍20人—66戶—1.320人）
B 同（1舍50人—3戶—　150人）　1.530人
C 同（1舍12人—5戶—　60人）
D 各國アタツシユ詰所
E 事務室．郵便局．銀行
F 荷物整理室
G 賣店．食堂
H 選手用通路（地下道ニテ主競技場ヘ連絡）
I 村長公舍
J 休憩所
K 食　堂
L 室内練習所
M 消防自動車ガレーヂ仝掛員詰所
N 洗濯物其他物品納入所
O 食堂使用人警備員宿室



まへがき

これは江南旅行中に僕の受けた個人的雜感である。

建築協會が僕達を派遣した目的である所の、防空施設の調査に就いては追つて本誌上に報告の筈である。

江南といつても、僕達の廻つた範圍は上海と杭州と南京と、及びそれ等を結ぶ滬杭甬鐵道と京滬鐵道との沿線だけだから、見聞の範圍も亦それ以上に出てゐない。

殊に、出發から歸阪まで大略三週間の日子の中、實際の視察日數は上海で二日、杭州で一日南京で三日の合計六日だけで、殘餘は全て船車の中だつたから、觀察は瞥見であり、感想は偶感でしかあり得ない。

が、メモの中からその二、三を拾ひあげて、本月號の原稿の依頼に「諾」を出した責を塞ぐこととする

1、大　塲　鎭

大塲鎭の戰跡を訪ねたのは三月二七日の午後四時半頃であつた。日本時間の四時半であるから上海時間にすると三時三〇分である。

慘憺たる豊田紡績の焼け跡から大塲鎭へ向ふ上海の郊外は、水の溫む田圃の間、楊柳の若芽の上に長閑な春の陽ざしがあつた

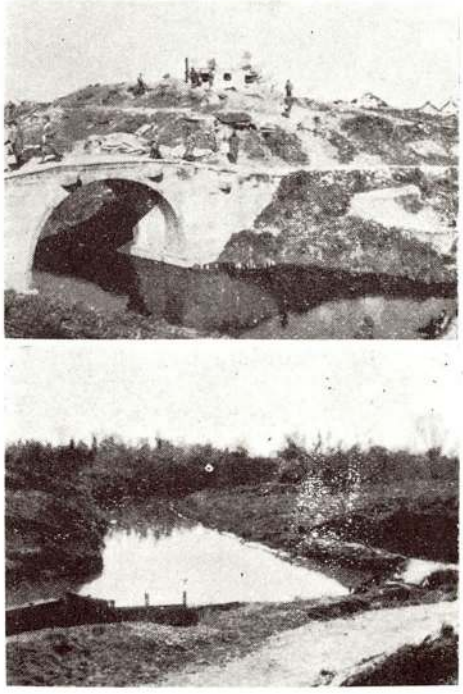
上海の占領を千秋の思ひで待ちに待つた國民の前に大塲鎭陷落の嬉報の齎らされた昨年の秋から僅かに四箇月、皇軍は既に二〇〇里の彼方の徐州に迫り、上海の外廓一帶は、大塲鎭も亦春の陽ざしが一杯である

大塲鎭の中心部、塹壕とトーチカとに滿ち滿ちた丘陵は、今、戰勝を紀念し、戰沒將兵の英靈を慰むべき神社を建立する爲に切取工事の最中である。

ここを去る數キロの地點こそ皇軍血戰の地であり、三、四米毎に掘られた塹壕の平行線の間に、當時の激戰を物語る生々しい跡がその儘に殘されてゐるといふ。

だが、村に近いこの丘は綺麗に取片附けられて、今茜色に傾く夕陽の中に靜まり返つてゐる。

風は死んで、丘陵を繞るクリークの水には小波も立たず、焼け崩れた村の竹籔の蔭に不思議にも殘された民家が一軒、その庭



大　塲　鎭

に土民の子供が二、三人戯れ遊んでゐる。

これは皇軍占領後の何處にも見られる平和な風景であらう。

それにしても、これが四箇月前に砲聲轟き煙霧の渦巻いた大激戦の地であらうとは

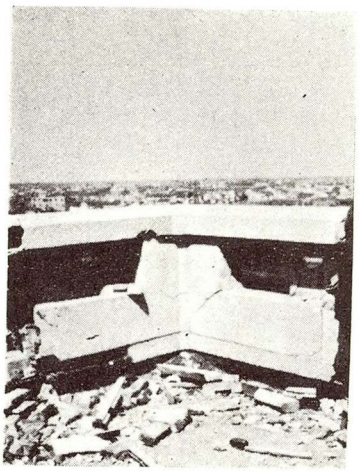
丘の頂の、未完成の儘に鐵筋を露出したトーチカの前に立つて、案内の將校から當時の激戦の物凄い實話を聞く。

ひややかに水を湛へてかくあれば
人は知らじな火を噴きし山の跡とも

磐梯山（？）の火口湖を歌つた歌、僕はふとこうした歌を思ひ出した。ここ一面若草に覆ばれた綠の丘、その丘の裳に波もなく淀んだクリークの水に、否、それよりも以上に、穩かな口調で當時の戦況を物語る將校の物靜かな物腰の中に、この歌の心を感じたからである。

2、銃眼と石像

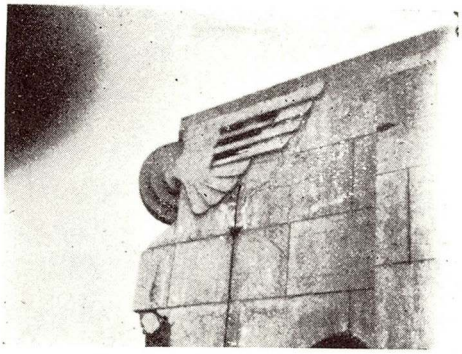
上海視察の第二日、鐵路管理局の屋上に登つて、そのパラペツトの外側の浮彫の裏に隱された銃眼を見た。



鐵路管理局パラペットの銃眼（裏）

コーナー・オーナメントの鳥の翼の間に數條の横長い間隙が作られてあつて、裏側の鐵扉を開くと直に機銃の銃眼となる様に工夫せられてゐる。

恒久的建造物に常設の銃眼を設けたものは、上海ばかりではなく、南京に於ても至る所に見出され、文化施設にまで軍備の一部を織り込むことを忘れなかつた抗日支那の悽しさに一驚を喫せないわけには行かなかつた。



同　上　（表）

所で、南京は、明孝陵を訪れると、何れも淡いエメラルド・グリーンに僞裝せられてゐるとは言へ、これは亦何と平和な顔をした石像の行列であらう。



明　孝　陵

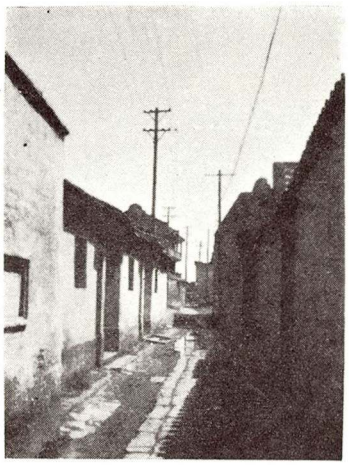
參道の兩側に、人や獅子や象や羊や駱駝の石像が、立つたり座つたり、如何にものんびりと自由なポーズを樂しんでゐるではないか。

この石像を作り出したものが、あの恒久的銃眼を建築物に取附けた同じ人種であらうか。石像に表現せられた長閑さこそ、年代の相異こそあれ、支那人本來の面目ではないであらうか。

だが、僕は思ふ、この兩者の對比的存在こそ、蔣介石の兩面外交の由つて來る所以を說明するものではないかと。

3、建　　築

建築に就いては、我國の建築の多數が今日多少ともその影響を受けてゐる所の、窓幅の廣い、所謂モダン型の建築が非常に少ないといふことが第一に僕の注意を引いた



煉瓦造の民家（常州）

これは一つは建築の主要材料が主に煉瓦で、鐵筋コンクリート造のものも、地震のない氣安さには、その危かしい程に細い骨組のほかは全て煉瓦のカーテン・ウオールを用ひてゐるから、幅の廣い窓が構造上作り憎い爲であらう。

その上、見渡す限り茫漠たる江南の平野は楊柳のほか樹木に惠まれてゐないといふことも、この地方の建築を木造よりも煉瓦造たらしめた所以である。

所で、江南方面は緯度では我九州の南部の邊りに位し、その上大陸性の氣候の爲に夏季の暑さは大變なものであるらしいが、濕氣が少い爲に、日蔭は日本の様に蒸暑いことはなく、割合に凌ぎ易い爲に、部屋の中は空氣の流通をよくするよりも日光の直射を避けることさへ考へればいゝといふわけで、自然、建築に廣い窓を必要としなくなつたといふことも他の原因の一つであらう。

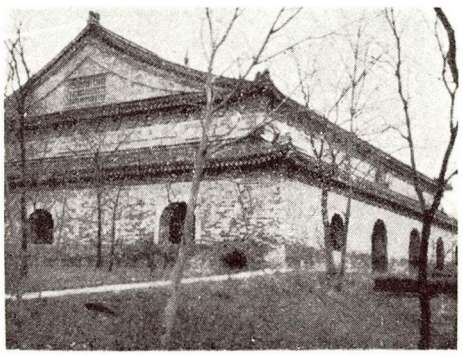
杭州でも南京でも、それから途中の鐵道沿線にも、建物の前面一杯にベランダを廻らした建築が數多く見受けられた、が折角のベランダに面して、日本ならば部屋一杯に窓を開く所を、何れも普通の大いさの窓しか開かれてゐないのは、ベランダが單に大陸性の日光の直射を避ける目的に作られたものだからであらう。

上海の市政府、圖書館、博物館又は南京の鐵路總局や國立中央研究院の諸建築など



南京國立中央研究院地質研究所

何れも近代的材料と構造法との上に、反りの附いた色の濃い支那風の瓦屋根と極彩色のデイテイルとで裝つた建築であるが、不思議にも愛知縣廳や名古屋市役所や軍人會館などの建築に見られる様な一種不自然なぎごちなさが感じられないのは、支那の建



石造の正氣堂

築が煉瓦造又は石造の上に發達したものであり、細部も亦そうした素材の上に生れたものであるからであらう。

彼我の行方は似てゐるが、得られた効果には可成の距りがある様である。様式は材料の上に發展するといふ一つの例であり得る。

4、水　　道

水道と言へば、日本人が支那へ進出する爲に何よりも必要なことは、支那の衞生狀態の改良であらう。

種痘を行ひ、コレラと赤痢の豫防注射を受け、チブスのビリワクチンを飲み、更にクレオソート丸の相當量を仕入れた上でないと渡支出來ない様な狀態では、日本人の大量進出は望まれない。

田舍の民家では何れもクリークに面して便所の溜めを作り、汚物のオーバー・フローはどんどんクリークに流れ込む、そのクリークの水で洗濯し飯を煮く。

何よりも先づこうした狀態より支那の民衆を引上げて行かねば支那の衞生施設は救はれないであらう。

都會に於ても、主要な建物の窓には大抵蠅除けの金網が嵌込まれてゐて、建物自體のみから見れば衞生設備に留意してゐる様に思はれるが、反面に於て都市の衞生施設の不完全を物語る證左ともなる。

そこで、何よりも先づ完全な水道を作るといふことが第一の急務になる。

南京には水道があるが、その水は揚子江の色をその儘に黄色である。飲むことは愚か、その儘では顔を洗ふことも躊躇する代物である。

南京の水道は沈澱裝置があるだけで濾過裝置も消毒裝置もないと、同行の京大近藤教授の話であつた。水道のことを支那では「自來水」といふそうであるが、誠に「自來水」とは謂ひ得て妙なりと感心する。

南京の宿で手洗にも洗面にもその水を煮沸してくれたが、僕は滯在中の三日間、遂にその水で嗽ひをする勇氣が出ず、上海から持參した水筒の水を虎の子の様にして含嗽に使つてゐた。

蔣介石があれだけ力瘤を入れてゐた南京にして然り、他の小都市は推して知るべしであらう。

衞生施設の改良、就中完全なる水道の敷設こそ、日本進出の爲に、否それ以上に支那民衆の爲に全てに先驅してなさるべき事業である筈だ。

5、道　　路

ニュース映畫で戰闘區域から避難する支那の民衆が二輪車を使はないで、眞中に一つ車の附いた一輪車を肩で擔ぐ様にしてよちよちと歩いて行くのを不思議に思つてゐた。

江南を旅行して見て初めてその由つて來る所以を知つた。支那の田舍には二輪車が通れる程度の道路がないのである。

京滬鐵道に沿ふて上海南京を貫く幹線道路は別として、江南旅行中汽車の窓から充分注意をしてゐたに關らず、「小心火車（きしやにちういすべし）」など書いた踏切りすら殆んど見當らなかつた様に思ふ。

道と名の附くものも一本の畦道に過ぎな



蘇州の塔遠望

い。その代り網の目の様に縦横自在なクリークを悠々と船で辿つて行く。

汽車に乗つて行く道すがら、楓涇鎭、臨平鎭、南翔鎭、眞義鎭、長安鎭等々、鎭と名の附く以上の町には必ず、釋迦牟尼の骨を納めたといふ高塔がある。丘陵や山の頂上などに設けられたものもある。

渺茫たる長江流域の平原を、恰も僕達が火の見櫓に依つて村の存在を知る如く、この高塔を遠い町の目標としながら、支那の民衆は久しくこのクリークの交通に慣れ親んで來たことであらう。

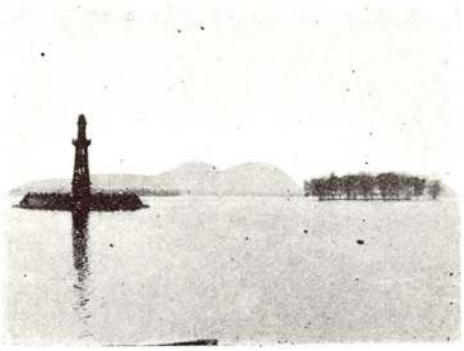
だが僕は思ふ。道路計畫も亦、支那經營に當つて最初に行ふべき事業の一つであるそして南船北馬とはガソリンの無かつた時代の古き言葉ではないかと。

6、味　噌　汁

朝日新聞から皇軍の前線慰問に派遣せられた「わらわし隊」の歸つてからの報告興行に、「エンタツ」だつたか、兵站部で御馳走になつたといふ味噌汁の話を放送してゐた。

味噌汁に浮んだ「み」をやれ嬉しやと箸で挾むと本當の「み」は無くて自分の鼻の影であつたといふのである。

杭州での僕達の宿舍は美しい西湖の風光を一望の中に收め得る西湖飯店といふ大きな旅館であつた。平和の時には窈窕たる佳人の宿ともなつたであらうが、今は皇軍兵站部の男世帶である



西　　湖



西　湖　飯　店

僕達はその兵站部のお世話になつた。御馳走は全て兵隊さんの料理である。

扨、食事の時に味噌汁が出た。「エンタツ」の味噌汁には鼻の影が浮んでゐたが、僕達の味噌汁には麩が入つてゐた。だがそれを噛むと齒の上でガリガリツと音を立てて碎けたといふのが「落」である。水が中まで充分に浸み込んでゐなかつたのであつた。

共に食卓に並んだ將校達は何れもそうした味噌汁を旨そうに飮み、固い胚芽米の飯をむしやくしやと喰つて元氣よく食卓を離れて行つた。

この程度は決して困苦缺乏といふ中には入らないかも知れない。だが、充足した內地の生活を思ひ浮べ、將校達のこの所に滿足し切つた態度に僕は目頭の熱くなるのを禁じ得なかつた。

便　　所

西湖飯店で印象に殘つたものに便所がある。

三階建の、一〇〇近くもベツトを持つた堂々たるホテルであるが、便所と言つては階段の一階躍場下に洋風大便器一個、小便所一箇所あるのみで、而も此の上もなく不潔である。

南京の宿も元大東飯店と言つたといふ可

成のホテルであつたが、こゝにも洋風便所が二箇所あるほかに小便所は階段の躍場の目抜の場所にむき出しに一箇所ある切りである。

日本の旅館の便所の不潔を歐米人は非常に氣にするといふ。便所の不潔には可成免疫になつた僕達であるが、ここに於て歐米人の氣持がいささか分らないでもない。

旅行中に讀んだ上海日報だつたかに「糞の南京」といふ樣なことが書いてあつた。

實際南京でも杭州でも脫糞の多いのは一つの驚異であつた。殊に公共防空濠は誠に格好の辻便所である。實際公共防空壕といふ。

防空壕は何れも足の踏み所もない程に、肉附きの豐かな、いかにも健康な糞がもりもりと盛り上つてゐて、支那人の消化器の健全と、その如何にも悠々たる脫糞の態度とを物語つてゐた。

糞に對する無神經、これは支那人の傳統的特性であらうか。或は支那の縹渺として限りない自然が一塊の汚物の臭氣など無限の彼方に、けし飛ばせてしまふのであらうか。それとも亦、土から出て土に還る因果の理を東洋人特有の直觀を以て、糞の臭ひの中に感得してゐる爲であらうか。

話は糞まで來れば打ち切らねばならぬ。

（二五九八・五・二〇）



藤口甚吉

〔I〕コンクリート及鐵筋コンクリート集覽Ⅱ（昭和11年、12年）日本ポルトラレドセメント同業會編纂及發行。昭和13年5月版標準規格A5判、243頁。80錢。

本書はコンクリート及び鐵筋コンクリートに對し常に有益適切なる事業及出版をなされてゐる日本ポルトランドセメント同業會の編纂で、主として同會技師中村猪市氏の編されたものである。中村技師には鐵筋コンクリート便覽（成美堂發行）（513頁、價5圓）があつて、コンクリート及鐵筋コンクリートに關する昭和9年迄に世界各國に發表されたる文獻の抄錄が系統的に集覽されてゐるのである。その後同業會よりコンクリート叢書の23篇として昭和9年10年分のコンクリート集覽が發刊された。これは前著と同じ系統で、兩年度の文獻を抄錄系統づけられたものである。

今回御發表になつたのは、このⅡ篇で、昭和11年12年に發刊された內外の諸雜誌其の他の刊行物及び書籍により集錄されたものである。

その分類は

第Ⅰ篇コンクリート
- Ⅱセメント
- Ⅰ骨材
- Ⅲ水
- Ⅲモルタル
- Ⅴコンクリート—配合及水量
- Ⅵコンクリート—混合
- Ⅶコンクリート—塡充
- Ⅷコンクリート—養生
- Ⅸコンクリート—水中コンクリート工
- Ⅹコンクリート—寒中コンクリート工
- Ⅺコンクリート—水密コンクリート
- Ⅻコンクリート—コンクリート及其強度
- XIIIコンクリート—熱、膨脹、收縮、
- XIV　コンクリート—彈性係數、ポアソン比
- XV　コンクリート—表面仕上
- XVI　コンクリート—コンクリートに及ぼす有害作業
- XVII　コンクリート—防水劑
- XVIII 型枠
- XIX　經費

第2篇鐵筋コンクリート
- Ⅰ鐵筋
- Ⅱ鐵筋コンクリート一般
- Ⅲ計算規準
- Ⅲ計算及設計—般及梁
- Ⅴ計算及設計—柱及び其の他部材
- Ⅵ計算及設計—鐵筋コンクリート引張材
- Ⅶ計算及設計—ラーメン
- Ⅷ計算及設計—曲梁
- Ⅸ基　礎
- Ⅹ擁　壁
- Ⅺ管
- Ⅻコンクリート—舖裝セメントコンクリート道路
- XIII簡易コンクリート—舖裝セメントマカダム舖裝
- XIV 各種構造物
- XV　製　品

以上の分類は第1著の鐵筋コンクリート便覽以來採用されてゐて、本書の附錄には第1著、Ⅰ篇Ⅱ篇の總目次が附せられてゐる故、最新のコンクリート及鐵筋コンクリートの傾向を知るには極めて便利である。

その抄錄は原文の意を極めて要領よくなされてゐるので、抄錄の往々陷りがちな原文をみなければ要を得ないといふやうな缺點は少しもない。最近論ぜられてゐる竹筋コンクリートに對しても本書には、Stutgart で Datta が行つた實驗と印度に於て行はれた實驗が紹介されてゐる。コンクリート工事、鐵筋コンクリート理論に興味を有する建築家の必讀の書である。

〔II〕設計施工實用建築材料　木野山照雄氏著菊判295頁昭和13年4月版工業書房。1.9圓

建築材料の工業學校用の教科書としては野呂長四郎氏の近世建築材料以來多くの著作があつた。

本書はその最新刊のものである。

本書は各材料の製法、性質、試験等を主眼とする理論材料學にも偏することなく、又、一般市場品の性能及使用法に重點を置く實用材料學にも偏することなく中庸の道を目ざして編されたもので、書中多くの鮮明なる圖を挿入され、その記述は極めて克明で了解しやすくなつてゐる。

氏が長年都島工業學校に於ける材料實驗室の主任をされてゐるので、その研究の片鱗もうかゞはれ、實驗的の記述は詳しい。セメント改正規格案に對する記述も、强度試驗改正の氣運と題して述べられ、明日の材料學の書としこの役目をもはたしてゐる。良教科書、良參考書としてその要求を充すであらう。價も極めて廉で、工業書房の努力を多とする。

〔III〕**材料及施工** アルス鐵筋コンクリート工學講座、1 宮本武之輔氏著 昭和13年4月版 アルス 2.5圓 本書はアルスの鐵筋コンクリート講座の第1卷である。宮本博士は土木の方の鐵筋コンクリート研究家として著名である。博士は信濃川改修工事に從事されて、各種の鐵筋コンクリート構造物の設計及施工に關係された。當時日本文化協會の土木講義錄に混凝土及鐵筋混凝土を連載され後この增訂されたものが上下2卷の書となつて發刊された。當時阿部美樹志氏の書と共に、土木並びに建築の方のコンクリートの設計、施工に大いに指導を與へられたものである。この書は後メートル法單位とし且內容も精選されて改訂版を出され、今に及んでゐる。この書の拔萃及び最近の趨勢を紹介されたのが4册本の「最新鐵筋コンクリート工學」であつて、本書は2册本より簡潔で、現在多く行はれてゐる。別に岩波全書にも鐵筋コンクリートに關するものを出され、ハンドブックとして重寶である。

今度出された材料及施工は此等舊著に最密なる檢討を加へられ、必要な改訂を施すと共に、鐵筋コンクリートの材料及び施工に關する最新の記述をされしものである。就中、セメントの水化熱、低熱セメント、輕骨材、鐵筋の熔接繼手、コンクリートの耐彈性、ウオーセクリーター、振動コンクリート、ポンプクリート等の記述は本書の特色である。

本書を第1卷とする鐵筋コンクリート工學講座は全8卷でその內容は

第1卷材料及施工、第2卷理論及實驗、第3卷道路鐵道及土木施工法、第4卷河海構造物第5卷桁橋及拱橋 第6卷ラーメン第7卷 水理構造物第8卷建築及特殊構造で鐵筋コンクリート講座といへども、主として土木方面のものゝみで、建築は日大教授河野輝夫氏が建築構造に對して記述されてゐる。ラーメンは土木の福田武雄氏が受持となつてゐる。要するに鐵筋コンクリート講座の如きは、建築方面にも相當の讀者を持つもの故、今少し建築方面への割當を多くしてもよいと思ふ。或は建築は建築で別の鐵筋コンクリート講座の發刊をも待ちたい。

〔IIII〕 **Hölzern Dachkonstruktion** Ihre Ausbildung und Berechnung. Jh. Gestechi 氏著大判235頁。圖351。 特價紙裝9.4RM, クロース裝10.5RM（1マークは大體1.45圓）本書ははるばる獨乙の Wilhelm Ernst & Sohn 社よりブツクレビユーのため寄贈あつたものである。近來鐵鋼の供給不足は、從來鐵骨構造或は鐵筋コンクリート構造とした建物をも、木造にて造る必要を生じた然るに構造力學上の木造建物の强度計算は、他の構造物より後れてゐる。これは經驗依存で從來やつて來たからである。米國、獨逸等には近來大スパンの木造建築の實施されることは雜誌等で多く見せられる所である。本著「木造小屋組の構造法とその計算法」は此等大木造建築等の强度計算及その構造に指針を與へるものである。

其の內容は

A．一般事項と屋根の荷重
B．棰と母屋
C．支持壁上にのる小屋組
D．滑節骨組
E．合成梁を用ふる小屋組
F．大スパンの建物

上記の目次にても判明するやうに、木造建築の强度計算及その構造法につき我々の知らんとする點は殆ど記載がある。

記述の方法は、數値の實際計算例を豐富にかゝげ、極めて實用的となつてゐる。邦書、英書にこの方面の良著書なき今日、又木造による大建築物設計の要求のある我國建築界の現狀にある日、本書は建築家の好指針として役立つだらう。

會　報

本協會員中軍務公用者氏名

其後に於ける本協會員中の軍務公用者は下記の通りであります（届出順）

會員	上西正敏君	會員	池野逸郎君
同	塚安治君	同	坪川忠君
普通賛助員	水谷饒多郎君	同	平原國雄君
會員	石橋逢吉君	地方會員	三宅貞藏君

常務會（第8回）

時　4月22日午後5時50分—7時30分
所　建築材料陳列場別室
出席者　理事　竹腰副會長　中澤副會長
監事　古塚　監事
常務　井上　主記　伊藤　主記
中西　主記　樋口　主記
山手　主記　松井　主計

議事
1. 鐵鋼使用承認票交附規程の件
2. 都市計畫委員會より委員1名增員依囑方の件
3. 靖國神社臨時大祭に付臨時休業の件
4.「建築と社會」寄贈に關する件

常務會（第9回）

時　4月30日午後6時20分—11時30分
所　建築材料陳列場別室
出席者　理事　竹腰副會長　中澤副會長
監事　古塚　監事
常務　井上　主記　伊藤　主記
山手　主記　鈴木　主計
吉田　編輯　堀口　編輯

議事
1. 鐵鋼使用統制に關する件
2. 鐵鋼使用統制委員會願問委囑に關する件
3. 建築關係各團體代表者會合に關する件
4. 建築工事請負規程改正要項案の件
5.「建築と社會」寄贈に關する件
6. 會員詮衡

倶樂部室幹事會（第3回）

時　5月3日午後5時—6時40分
所　建築材料陳列場別室
出席者　幹事長　須賀
幹事　今林、瀬川

協議事項
1. 倶樂部室懇親會の件は事局柄延期すること
2. 倶樂部室椅子張替の件は經費を常務會に要求すること

材料委員會（第8回）

時　5月5日午後7時—9時30分
所　協會倶樂部室
出席者　幹事　楠瀬、松久保
委員　小川、道田
木野山
理研鋼材　田中榮一氏

1. 理研鋼材見學に關する件
2. 東洋スレート工場見學に關する件
3. 銅使用制限規則に關する件

都市計畫委員會（第6回）

時　5月5日午後7時—9時
所　協會倶樂部室
出席者　委員長　鳥井
委員　匂坂、福知、村井、中井

協議事項
1. 第2回全國都市美協議會に出席の件

住宅委員會（第6回）

時　5月6日午後6時30分—9時
所　協會倶樂部室
出席者　委員長　石川
幹事　岡田、矢田
委員　内藤、田中

協議事項

1. 住宅讀本原稿執筆分擔の件
2. 委員會報告拔刷の件
3. 編輯幹事の原稿審議の件

工 場 見 學 會

時　　5月7日午後1時30分—5時

所　　武川ゴム株式會社工場
　　株式會社理研鋼材尼崎工場

出席者　相川兼一氏外299名

1. 當日天氣晴朗定刻午後 1時30分先づ武川ゴム株式會社に到り工場長の講演を聽取し夫れより工場内を順次見學

1. 次で午後2時30分頃株式會社理研鋼材尼崎工場に入り休憩室にて茶菓の饗應を受け休憩夫れより來會者は門脇に設けられし受付にて配付せられし見學順路の見取圖により隨意工場内に入り見學をなす現場には腕章を付せし社員の懇切なる說明あり午後5時10分一同の見學を終る
　本會は退社するに當り三浦常務材料委員會委員職員一同專務取締役三村和太郎氏外幹部と面談謝辭を述べて辭去す時に午後6時
　本日の兩工場見學は來會者一同大いに得る處あり兩工場に對し多謝する次第なり



理研見學の狀況

常　務　會（第10回）

時　　5月9日午後6時—7時30分

所　　建築材料陳列場別室

出席者　理　事　片岡　會長　　中澤副會長
　　監　事　清水　監主　　古塚　監事
　　常　務　井上　主記　　伊藤　主記
　　中西　主記　　樋口　主記
　　山手　主記　　三浦　主計
　　吉田　編輯

議　　事

1. 5月例會に關する件
2. 建築各團體懇談會に出席旅費支出の件
3. 都市計畫委員會より第2回全國都市美協議會出席委員並會費支出方要求の件
4. 住宅委員會より第2回全國都市美協議會出席委員並會費支出方要求の件
5. 住宅委員會より拔刷代金支出方要求の件
6. 滿洲建築協會外3會聯合大會に建築學會の參加を書面勸誘の件
7. 會員よりの希望申出の件
8. 建築學會に於建築關係各團體代表者會合の件
9. 鐵鋼使用統制委員會顧問委囑に關する件
10. 中華民國圖書館に會誌寄贈に關する件
11. 會員詮衡

報　　告

1. 3月分會計報告
2. 借室料値上に關する交涉顚末

災害强度委員會（第5回）

時　　5月10日午後6時30分—8時30分

所　　協會倶樂部室

出席者　委員長　渡　部
　　幹　事　山　田
　　委　員　菅、竹　花、西　島、平　野、藤　田

協議事項

1. ボーリング表の完成したるものに付檢査をなす

設備委員會（第3回）

時　　5月11日午後7時—9時

所　　協會倶樂部室

出席者　委員長　酒　井
　　幹　事　增　井
　　委　員　岩　尾

協議事項

1. 工場安全規則中建築に關係ある條項に註を附し會誌に發表の件
2. 消火設備の研究に關する件

法制委員會（第7回）

時　　5月13日午後6時30分—8時

所　　協會倶樂部室

出席者　委員長　玉　置
　　委　員　板　井、武　田

臨時委員　平　山、松　村、吉　田

1. 本夕は市街地建築物法令出版濟に付慰勞の意味に於てアラスカにて晩餐後倶樂部室にて懇談の上散會す

材料委員會（第10回）

時　　5月18日午後6時50分—8時20分
所　　建築材料陳列場別室
出席者　幹　事　楠　瀬、松久保
　　委　員　小　川、島　田、三　浦
　　道　田、木野山

協議事項

1. 銅類の代用品に關する講演會開催の件
1. スレートに關する研究を會誌に發表の件

常　務　會（第11回）

時　　5月23日午後5時45分—8時10分
所　　建築材料陳列場別室
出席者　理　事　中澤副會長
　　監　事　清水　監事
　　常　務　井上　主記、伊藤　主記
　　中西　主記、鈴木　主計
　　松井　主計、三浦　主計
　　堀口　編輯、八木　編輯
　　吉田　編輯

議　事

1. 常務、評議員八木憲一氏及村井進氏より辭任届出の件
2. 右に關し評議員會開會に關する件
3. 都市計畫委員會より委員1名補缺依嘱方要求の件
4. 會費滯納者處置に關する件
5. 倶樂部室椅子張替經費要求の件
6. 白濱に於ける實物住宅博覽會に關する件
7. 常務會定例日變更の件
8. 會員詮衡

報　告

1. 4月分會計報告
2. 5月例會準備報告
3. 建築學會より回答の鐵鋼使用承認票交附規程及鐵鋼使用統制委員會組織に關する件
4. 「セメント」規格改正案に關聯せる新試驗用機械器具標準型案の件に付災害强度委員會より報告

建築材料陳列場幹事會（第4回）

時　　5月24日午後6時30—8時
所　　建築材料陳列場別室
出席者　幹　事　小　川、中　西、三　浦
　　出品代表者　三機工業株式會社
　　西原衞生工業所
　　奥村重兵衞商店

協議事項

1. 二日會本年度春季懇親會開催の件

會　員　動　靜

入　會　者

會　　員

小西　　岬君　住吉區今川町671（長谷部竹腰建築事務所）
花輪　正虎君　住吉區田邊本町6ノ18（大阪府立今宮職工學校）
稗田　　治君　府下三島郡千里山169篠田方（大阪府建築課）
河原啓太郎君　住吉區播磨町西1ノ45（大阪市營繕課）
河田　明雄君　豐中市北屋敷 257（株式會社大林組）
塚本喜八郎君　府下濱寺町船尾 850（阪神電鐵株式會社建設課）
福井　　薫君　北區老松町2ノ20
增田　正司君　東成區片江町684ノ1（石川工務店）

地方會員

平岩　　堅君　新京永昌路411永昌アパート（滿洲房產株式會社技術課）

特別賛助員

高寺市之介君　西宮市中字三ノ坪（日本復合管株式會社）
小川　憲治君　東淀川區豐里町1758

普通賛助員

秋岡　忠典君　尼崎市神田南通6丁目蓬川畔（尼崎市營繕課）
鈴木　廣好君　廣島縣大竹町新興人絹株式會社增設事務所（池村建築事務所）
中野　健三君　浪速區霞町21（自營）

中野　尚俊君　滿洲國錦州省阜新縣海州滿炭代用社宅（滿洲炭礦株式會社阜新礦業所）

加地　義明君　此花區恩貴島南之町45ノ23（合資會社加上鐵工所）

退　會・者

會　員

芳野　寛一君　森山　義雄君

地方會員

清野瀰三郎君　後藤　武一君　香坂　茂三君

特別賛助員　長澤發太郎君　田口　清君

普通賛助員

駒澤　實君　土屋　昌三君　石川　清一君

轉　居　轉　勤

會　員

飯干　君美君　西宮市津門綾羽40

杉江　直己君　横須賀市公鄕町田戸2238

杉村榮次郎君　京都市上京區紫野上石龍町2

辻本　三郎君　奈良市奈良公園興福寺國寶建造物修理事務所

羽田勝三郎君　府下吹田町片山前2388

宮脇　晴美君　府下池田町西市場

麻野　俊定君　奈良縣郡山町洞泉寺内

平井　幸仁君　岡山縣玉島町船頭4146太陽レーヨン玉島工場

古井　康男君　兵庫縣武庫郡鳴尾村内荻島112

宮本市之亟君　住吉區桑津町3 45（長谷部竹腰建築事務所）

木村　進君　東京市世田谷區太子堂町 264（日本競馬會經理部營繕課）

瀬川　久維君　兵庫縣川西町小花字大畑5

西山　夏江君　府下中河内郡龍華町植松鐵道官舍

森口　清君　上海派遣畑部隊本部原田隊

地方會員

磯田　辰雄君　朝鮮忠北清州邑榮町99（朝鮮忠清北道廳内務部會計課）

久保　清盛君　旭區天王田町224ノ1（大阪市營繕課）

杉田新五郎君　富山縣下新川郡宇奈月日電社宅

丹下　敏行君　奉天市八幡町奉天信託ビル 123號

富士原宗行君　富山市神通町1082

森川　義雄君　尼崎市潮江町シイレ29

森野　和夫君　兵庫縣明石郡垂水町大西町

久保　宗雄君　青島市外滄口同興紗廠内

江藤　眞親君　滿洲國間島省琿春縣土門子第19師團經理部土門子派出所

增田　八郎君　東京市杉並區阿佐谷6ノ126

吉村　辰夫君　上海派遣畑部隊本部原田隊

特別賛助員

岡田　昌二君　兵庫縣川邊郡稻野村南野589

普通賛助員

安孫子三雄君　神戸市兵庫區會下山町3ノ123古家方

井奥　進君　名古屋市熱田區千年町愛知時計研究室建築場竹中工務店作業所

上原　三郎君　廣島市皆實町2ノ466

金井　洋三君　西宮市馬場町17田村工務所

河合　康治君　東淀川區豐里町1758淀の水ハウス

河淵元三郎君　兵庫縣武庫郡精道村打出字三反田12ノ1

北岡　俊次君　新京市昌平街 705（滿洲拓植公社建設部建築課）

田村　幸一君　東京市淀橋區西大久保1401藤井一雄方

吉田光太郎君　北海道札幌郡下手稻村星置三菱鑛業星置選鑛場工事場大林組出張所

河部　茂君　滿洲國牡丹江市牡丹江鐵道局工務課建築

田中　彌君　長崎市伊良林町1ノ45

中尾　重雄君　松江市南田町中ノ町99ノ4

伊東　一郎君　京都市左京區淨土寺眞如町41

改　姓

普通賛助員

水谷饒多郎君　（舊姓大西）

死　亡

地方會員

瀧野輔太郎君　昭和13年4月23日逝去

普通賛助員

櫻藤　貢君　昭和12年12月2日戰死

沖　盛君　昭和13年1月3日逝去

（謹んで哀悼の意を表す）



編輯後記

★ 無敵皇軍の相次いでの戰捷を祝福するかの如く、澑溂たる新緑の候が訪れた。我等國民たるもの建築家たるもの、銃後の護の完璧を期すべく、絕大の努力を傾注し奮闘邁進しなければならぬ。

★ 本號には御覽の通、大阪府下に於ける都市計畫、堺、布施、地下鐵道等に關する新鮮な研究報告が盛られてゐる。何れも時機に適した興味ある諸問題で、是非各位の御讀破をわずらはし度い。

★ 又內外の文獻資料並に防毒資材取締規則銅使用制限に關する規則等を卷末に添えた。防空法、同施行令、官廳防空令、臨時資金調整法、鐵鋼工作物築造許可規則、燈火管制規則等の發令、將又、市街地建築物法の改正等、時局を多分に反映せる法規類は其の都度既報の通である。併せ御參照せられんことを。

★ 本會編輯常務として多大の努力を惜まれなかつた八木憲一氏が今回都合に依り役員を辭任された。從來の御努力に對し深謝すると同時に、將來共一層の御援助を賜り度いと願ふ次第である。其の後任者として棚橋諒氏が就任されることゝなつた。

★ 本誌來月號には、先般中支方面を視察して歸られた中澤、清水、新名3氏の報告が滿載される豫定である。興味ある多大の參考資料である故、期して待たれんことを。

★ 時局柄本誌編輯に當つても出來得る限りの冗費節約を行ひ、國策に順應しつゝある。紙質、頁數等に其の趣旨があらはれてゐるのであるが、其の內容に於ては益々大躍進を行はんとするものである。大いに諒とせられ度い。

（吉田信武）

建築と社會

第21輯 第6號

毎月1回1日發行　定價　1冊 50錢（郵稅3錢）　12冊 6圓（〆36錢）

昭和13年5月25日印刷　昭和13年6月1日發行

發行・編輯　小板常男

印刷人　大阪市北區朝日ビル日本建築協會內

印刷所　プラトン印刷社　大阪市西區江戸堀南通2丁目13番地

發行所　財團法人　日本建築協會　大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル　電話長北濱(23)4501番(9)　振替口座大阪39975番

特約販賣店　柳々堂書店　大阪市西區京町堀羽子板橋西　電話土佐堀2440番　振替口座大阪2084番

禁轉載

本號に揭載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣告揭載料金

普通	1頁	1回	15,00
普通	½頁	1回	8,00
普通（前附第1頁）	1頁	1回	45,00
普通（前附第2頁）	1頁	1回	40,00
普通（後附第1及最終頁）	1頁	1回	25,00
アート（中挿）	½頁	1回	20,00
表紙2	1頁	1回	60,00
表紙3	1頁	1回	45,00
表紙4	1頁	1回	80,00
建築事務所錄	1欄	1回	1,50
（建築關係業者案內）	1欄	1回	5,00

廣告揭載御申込は本會へ直接願ひます。
本誌購讀御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ、振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます。郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

建築と社會第21輯第6號　廣告索引

ア　旭硝子株式會社……35
　　有田製陶所……39
　　淺野スレート株式會社……20
イ　岩元工業株式會社……30
エ　榮進社……9
　　英進商會……26
　　荏原製作所……前附 2
オ　大阪窯業セメント株式會社……中挿
　　大阪伊丹商店……28
　　大阪組立コンクリート製作所……34
　　大野製作所……表紙 2
　　奥村重兵衛商店……27
　　岡田建材店……21
カ　關城化學工業株式會社……表紙 4
キ　桐田商會……26
ク　久保商店……22
コ　小林式盜難豫報機製作所……39
サ　佐渡島英祿商店……10
　　佐久間パブコ工業株式會社……25
　　佐藤產業株式會社……41
　　坂本商會大阪支店……29
　　坂田ベンチレーター製作所……40
ス　須賀商會……7
セ　政正合資會社……32
　　清光社……18
タ　田島應用化工株式會社……中挿
　　大和工業株式會社……15
　　大洋組建材部……28
ト　東洋リノリユーム株式會社……表紙 3
　　東京電氣株式會社……12
ナ　內外土木建築材料合資會社……21
　　南滿鑛業建材合資會社……23
ニ　日本建築紙工株式會社……30
　　日本放熱器商會大阪支店……36
　　日本陶織社……前附 3
　　日本ドアーチエツフ製作所……37
　　日本機械工業株式會社……38
　　日本金具株式會社……中挿
　　日東物產株式會社……19
　　西原衛生工業所……33
　　西孫南店建築金物部……14
　　西村福治商店……40
ノ　野澤幸三郎商店……42
ヒ　平松釣戶車製作所……18
ホ　邦光化學工業所……16
マ　松井商店……34
　　松下電器株式會社コンヂツト部……17
ミ　三井物產株式會社……31
ヤ　矢橋大理石商店……14
　　大和鐵鐵製作所……13
ヨ　横河橋梁製作所……24
　　米本商店……22
　　米原商店……32
　　吉田鹿之助商店……11
リ　理研鋼材尼崎工場……前附 1
ラ　ライトラバー工業合資會社……8
レ　玲光社(木內眞太郎)……23